Student Life Report
私立大学学生生活白書
2026

進学目的・理由／充実度／期待
経済
ライフ（大学生活）
正課教育
正課外活動
不安・悩み
進路・就職
身についたこと

一般社団法人 日本私立大学連盟

STUDENT LIFE REPORT　2026

私立大学 学生生活白書 2026

まえがき

日本私立大学連盟の学生委員会が令和７年９月から10月に実施した「第17回学生生活実態調査」の分析結果として『私立大学学生生活白書2026』を、ここにお届けいたします。

本書の分析に用いた『第17回学生生活実態調査』は、前回の「第16回調査」（令和３年９月～10月実施）以降の変化の把握を重視しつつも、時代の趨勢をふまえるとともに調査項目を見直し、合計61の質問項目を設定しました。また、この4年の間には多子世帯や私立大学の理工農系学部で学ぶ中間所得層に対する修学支援新制度が開始されたことなどに伴い、国の法改正や実態に合わせるべく、各設問の選択項目も再検討を行いました。調査の実施にあたっては、各加盟大学のご協力のもと、加盟116大学（令和7年度当時、休会2校除く）、47,054人の学生諸君から貴重な回答（調整後有効サンプル数6,732人、有効回答率14.3%）をいただくことができました。厚く御礼申し上げます。

各加盟大学へはすでに集計報告書（『第17回学生生活実態調査集計報告書』）をお届けしておりますが、本書は、加盟大学の学生諸君の生活実態に関する分析結果として、今回調査を含む４回分の時系列比較を中心にとりまとめています。

今回の調査結果の主要な特徴としては、2014年以降減少傾向にあった「学生生活の充実度」が上昇に転じたこと、コロナ禍において低下していた「キャンパス滞在時間」「ボランティア活動への参加率」「心身の健康度」などの値が改善したことが挙げられます。いまだコロナ前の水準に戻っていないものもあるとはいえ、次第にその影響から脱しつつあるようです。学生の経済状態としては、1か月の総収入の増加や奨学金受給の拡大など、家計の負担感が減少しており、国の修学支援新制度や各大学の奨学金などの効果が表れ始めています。他方、「所属学部・学科の満足度」と「正課教育の満足度」の増加傾向が続いていますが、学業と就職活動とが「両立できている」と感じる学生が半数弱に留まっていることは課題の一つでしょう。また、大学生活で大切なこととして「単位取得・卒業」や「専門知識の習得」が増加する一方で「友人・先輩を得ること」や「人脈づくり」といった対人関係の項目は減少傾向にあります。このことから、実利志向の強化と人間関係の希薄化は、引き続き進行していると考えられます。

そこで本書の冒頭には、「奨学金制度の浸透状況と評価」「就職活動と学業の両立」「実利志向の増加、あるいは対人関係への期待と評価の低下」といった特集ページを設けています。現状を的確に把握し、大学教育と学生支援の諸課題をご検討いただくことで、各加盟大学がよりきめ細かな学習支援・学生生活支援をおこなう上でご活用いただければ幸いです。

最後に、調査にご協力いただいた各加盟大学の教職員ならびに学生諸君に重ねて厚く御礼申し上げます。また、特に本調査初の試みとなる英語版の設問構築にあたり、多大なるご尽力を賜った川端朋広教授（愛知大学経済学部、私大連国際連携委員会委員）をはじめ、調査の実施や分析にかかわられたすべての皆様にも、心より感謝を申し上げます。

令和８年８月

学生生活実態調査分科会
分科会長　　**北條　英勝**

目次

まえがき

各章まとめ・総括 1

テーマ１～４ 2

調査概要 11

基本事項（プロフィール） 12

１章：進学目的・理由／充実度／期待 13

２章：経済 21

３章：ライフ（大学生活） 29

４章：正課教育 37

５章：正課外活動 49

６章：不安・悩み 63

７章：進路・就職 71

８章：身についたこと 77

私大連創立75周年　巻末特別企画 81
第1回学生生活実態調査から現在へ　～学生生活の変化を辿る～

学生委員会委員名簿 85

一般社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覧 86

各章まとめ

1章：進学目的・理由／充実度／期待

- ［所属学部・学科の満足度］が大きく伸び、過去最高値となった。
- ［学生生活の充実度］も、2014年以降の減少傾向から反転、大きく伸びた。

2章：経済

- 自分の経済状況は「余裕がある」層は横ばいだが、家計の負担感が大幅に減少。1か月の総収入は前回から1万円以上伸びて過去最高。
- 奨学金受給率は前回の38.0%を大きく超え約半数に。
- アルバイト・就労している学生は前回から増加。平均就労時間も増加している。

3章：ライフ（大学生活）

- キャンパス滞在時間の平均は5.28時間で、前回より2時間以上増加。
- 興味・関心事では「大学の勉強」がトップ。大学生活で大切なことでも「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」がトップであり、比率も上昇。一方、学外活動や人間関係に関する項目（「よい友人・先輩を得ること」など）は、前回から引き続き減少。
- 心身の状況は前回から大きく良化し、「良い」が57.4%に。

4章：正課教育

- 正課教育の満足度は、前回に引き続き大幅増。約8割が「満足」と回答。「教授陣」、「カリキュラムの構成」、「授業の内容」など、「ゼミなどの少人数教育」以外は着実に上昇している。
- 講義内容理解の難しさでは、64.2%が「困難を感じたことがある」と回答しているが、前回からは比率は低下している。

5章：正課外活動

- 課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティア）への参加率は54.2%で前回と同程度。課外活動参加の目的のトップは「友人を得る」だが、比率は前回から10ポイント以上減少して約4割に。「趣味と一致」、「知識、教養、技術、技能を身につける」などが増加。
- ボランティアへの参加率は、前回までの低下傾向から反転、今回は大幅に上昇し24%まで増加した。その目的として「就職に役立てる」などが伸びている。

6章：不安・悩み

- 不安・悩みの内容のトップは「就職や将来の進路」だが、比率は前回から減少している。2位の「授業など学業」も同様。
- ハラスメント・犯罪被害経験は全体に横ばいである。

7章：進路・就職

- 前回増加した、「就職できるかどうか」、「就職すること自体」への不安は、今回減少。
- 就職活動と学業の両立状況は、「両立できている」と「まあ両立できている」を合わせた比率は半数弱にとどまる。

8章：身についたこと

- 身についたと実感できる力は前回から全般的に横ばい。前回大きく伸びた「パソコンやインターネットを使いこなす力」は減少、「専門的知識をもとに論理的に考える力」が増加。

テーマ１　奨学金制度の浸透状況と評価

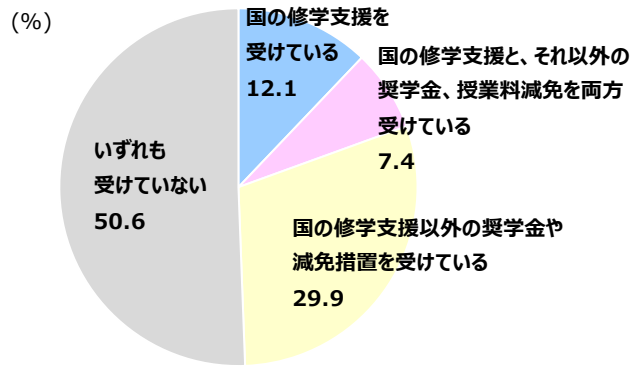
- **半数近くの学生が、何らかの奨学金を受けている。**
- **自身の経済状況に「余裕がある」（「余裕」+「やや余裕」）は、過去4回の調査を通じて上昇を続け、今回は36%。**
- **奨学金の負担感も減少傾向にあるが、「負担になっている」（「負担」+「やや負担」）はいまだ6割を超えている。**
  - アルバイトの有無をみても、「常時している」と「時々している」を合わせた比率は上昇傾向にある。

- **奨学金制度に求めることとして、「返済の必要のない奨学金制度」は今回もトップではあるものの、大幅に減少。**
  - 受給している奨学金種類別にみると、奨学金制度に求めること自体に大きな差があることがわかる。特に、「国の修学支援を受けている」学生は、「支給金額の増額」とともに、「手続きの簡素化」の比率が相対的に高い。

◆奨学金利用の進展が学生の経済的余裕を生み出しているとまでは言い切れないが、その利用率の上昇や経済判断の好転を踏まえれば、全体として適切に浸透しつつあり、ある程度の効果も生じているといえるのではないか。
◆なお、国の修学支援制度利用者の「手続きの簡素化」の比率が高いなど、個々の制度の改善の余地は残る。

■奨学金受給の有無（全体／複数回答）

Ｑ１９　奨学金や授業料減免を受けていますか。（すべて）



Q19_01

■経済状況の判断（全体／単一回答）

Ｑ１７　自分の経済状況についてどのように感じていますか。（１つだけ）

			余裕がある	やや余裕がある	ふつう	やや苦しい	苦しい	無回答	「余裕」+「やや余裕」
		●凡例							
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	7.7%	14.7	39.0	26.9	10.2	1.5	22.4
	全体【2017】	(n=12,369)	12.2	17.9	36.2	23.9	9.7	—	30.1
	全体【2021】	(n=20,205)	16.0	19.3	39.5	18.7	6.5	—	35.3
	全体【2025】	(n= 6,732)	16.0	20.2	37.4	19.9	6.4	—	36.3

Q17_01

■学費の負担感（全体／単一回答）

Ｑ１８　あなたの学費は負担になっていると思いますか。（１つだけ）

			負担になっている	やや負担になっている	それほど負担になっていない	まったく負担になっていない	わからない	無回答	「負担」+「やや負担」
		●凡例							
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	45.6%	27.0	10.8	2.9	13.2	0.5	72.6
	全体【2017】	(n=12,369)	47.1	32.5	12.5	2.7	5.2	—	79.6
	全体【2021】	(n=20,205)	38.5	35.9	15.3	3.3	7.0	—	74.4
	全体【2025】	(n= 6,732)	33.3	30.1	14.6	8.6	13.4	—	63.4

Q18_01

テーマ１　奨学金制度の浸透状況と評価

■就労（アルバイト）の有無（全体／単一回答）

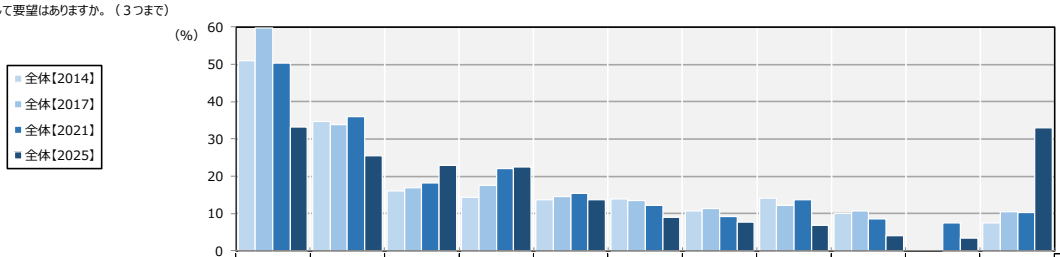
Ｑ２２＿①　就労（アルバイトを含む）について選んでください。（１つだけ）

			常時している	時々している	定職に就いている	これから始めようと思っている	未経験であり、これからもしようと思わない	無回答	「常時」＋「時々」＋「定職に就いている」	1ヶ月の平均就労時間（時間）
		●凡例								
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	41.4%	28.9	3.0	16.8	6.1	3.8	73.3	48.5
	全体【2017】	(n=12,369)	45.5	29.2	3.6	15.1	6.7	—	78.3	43.8
	全体【2021】	(n=20,205)	46.0	28.3	2.6	17.0	6.1	—	76.9	40.8
	全体【2025】	(n= 6,732)	49.8	29.7	2.6	12.4	5.6	—	82.1	43.6

Q22_1_01

■奨学金制度への要望（全体／複数回答）

Ｑ２１　奨学金や授業料減免に対して要望はありますか。（３つまで）



			返還の必要のない奨学金の充実	手続きの簡素化	支給金額の増額	家計基準の見直し	支給枠の拡大	経済状況の適正な評価	成績基準の見直し	急激な家計収入の減少への対応	困窮度の重視	自然災害や火災等の被害への対応	その他／特にない	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	51.0	34.7	16.0	14.4	13.8	13.9	10.6	14.2	10.0	—	7.4	12.6
	全体【2017】	(n=12,369)	59.7	33.9	17.0	17.5	14.6	13.4	11.3	12.2	10.8	—	10.4	—
	全体【2021】	(n=20,205)	50.4	36.0	18.1	22.0	15.4	12.1	9.1	13.7	8.6	7.4	10.3	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	33.1	25.4	23.0	22.4	13.7	8.9	7.8	6.8	4.0	3.5	32.9	—
全体【2025】		(n= 6,732)	33.1	25.4	23.0	22.4	13.7	8.9	7.8	6.8	4.0	3.5	32.9	—
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	26.3	42.9	48.2	19.5	11.2	7.1	9.0	4.9	3.6	2.2	18.7	—
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	47.1	41.0	44.2	21.6	10.5	10.9	10.3	6.3	6.9	1.2	16.2	—
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	44.3	31.3	28.8	23.1	12.0	10.3	8.2	6.1	4.6	2.3	21.5	—
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	26.1	15.5	10.5	22.7	15.7	8.1	6.9	7.7	3.3	4.8	45.5	—

※「全体【2025】」で降順ソート
※「自然災害や火災等の被害への対応」は2021年追加
※「その他・特にない」は2025年文言変更、2021年までは「その他」

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q21_01

テーマ2　就職活動と学業の両立

・ レポート本編では、就職活動と学業との両立状況の全体値を分析しているが、ここでは分析対象を3～4年生に絞って分析を行う。

- **3～4年生全体では、「両立できている」と「まあ両立できている」の合計（「両立・計」，以下同）は6割強。「どちらともいえない」を含めた4割弱の学生が両立状況についてポジティブではない反応を示している。**
- **この、就職活動と学業の両立状況別にみると、「中立・計」（「どちらともいえない」，以下同）にせよ「非両立・計」（「少し学業がおろそかになっている」と「学業に深刻な影響が出ている」の合計，以下同）にせよ、「両立・計」に比べると在籍満足度が低くなっており、課題のひとつであることがわかる。**

- **「両立・計」の、大学で身につけた力の各項目の比率が全般に高く、大学での学びが就職活動と学業との両立に一定寄与していることがうかがえる.**
- **ただし、「中立・計」の現在の興味・関心事の「大学の授業」が相対的に高い一方で、現在の悩みとしては「就職や将来の進路」が高い状況である点は看過できないといえよう。**
  - データは掲載しないが、「非両立・計」の「大学生活で大事なこと」のうち、「教養を高めること」の比率は相対的に高い。

- **「中立・計」、「非両立・計」の割合の大きさを考えれば、適切な両立のあり方を、学生・大学・就職先のそれぞれで検討を重ねることが重要である。**

■【3･4年生】就職活動と学業の両立状況（直近1年に就職活動をした者／単一回答）*2025年 新規質問

Q５９　就職活動と学業は両立できていますか。（１つだけ）

			両立できている	まあ両立できている	どちらともいえない	少し学業がおろそかになっている	学業に深刻な影響が出ている	両立・計
		●凡例						
3･4年生全体【2025】		(n= 2,496)	30.2	31.4	28.3	8.0	2.0	61.6
性別	男性	(n= 1,020)	29.2	29.7	30.9	7.8	2.4	58.9
	女性	(n= 1,442)	30.9	32.8	26.3	8.3	1.7	63.7
学部系統別	人文科学系	(n= 656)	30.2	32.0	27.0	8.8	2.0	62.2
	法律･政治･社会系	(n= 383)	29.5	36.8	21.7	8.9	3.1	66.3
	商･経済･経営系	(n= 431)	34.6	32.7	22.7	8.4	1.6	67.3
	理･工･農系	(n= 451)	24.4	33.0	30.8	8.6	3.1	57.4
	スポーツ･体育系	(n= 65)	36.9	23.1	35.4	4.6	—	60.0
	医･歯･薬･看護系	(n= 191)	37.2	22.0	37.7	2.6	0.5	59.2
	教養･芸術･学際その他	(n= 319)	28.2	26.6	36.1	7.8	1.3	54.9
学年別	3年	(n= 1,173)	22.1	32.9	36.3	7.1	1.6	55.0
	4年	(n= 1,323)	37.5	30.0	21.2	8.8	2.4	67.5

『3･4年生全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『3･4年生全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『3･4年生全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q59_3-4

テーマ2　就職活動と学業の両立

■【3･4年生】学部･学科入学満足度（全体／単一回答）

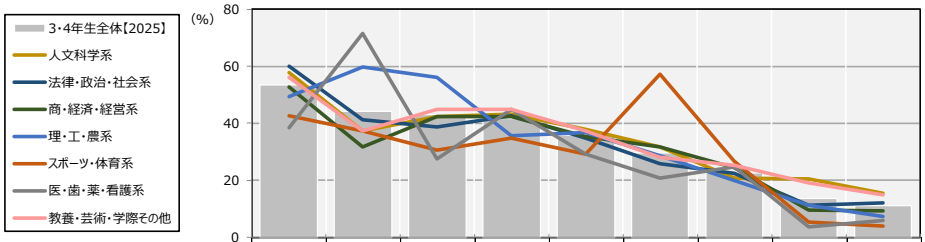
Ｑ１２＿所属する学部･学科に入学してよかったと思いますか。（１つだけ）

			よかった	よくなかった	どちらともいえない
		●凡例			
3･4年生全体【2025】		(n= 2,853)	82.5	2.0	15.5
性別	男性	(n= 1,174)	81.2	2.6	16.3
	女性	(n= 1,632)	83.9	1.5	14.6
学部系統別	人文科学系	(n= 749)	84.0	2.1	13.9
	法律･政治･社会系	(n= 425)	84.0	1.9	14.1
	商･経済･経営系	(n= 468)	80.1	2.6	17.3
	理･工･農系	(n= 537)	82.3	1.9	15.8
	スポーツ･体育系	(n= 75)	80.0	1.3	18.7
	医･歯･薬･看護系	(n= 239)	82.8	1.7	15.5
	教養･芸術･学際その他	(n= 360)	81.7	1.7	16.7
学年別	3年	(n= 1,388)	81.8	2.2	16.1
	4年	(n= 1,465)	83.3	1.8	14.9
就職活動と学業の両立状況別	両立･計	(n= 1,538)	86.4	1.4	12.2
	中立･計	(n= 707)	78.5	2.1	19.4
	非両立･計	(n= 251)	76.5	4.0	19.5

Q12_3-4

■【3･4年生】大学生活で身についた力（全体／複数回答）

Ｑ６０　大学生活で身についたと実感できる力はどれですか。（すべて）



			視野を広げ、ものごとを幅広く考える力	専門的知識をもとに論理的に考える力	パソコンやインターネットを使いこなす力	相手の状況や考え方を考慮して話をしたり、対応する力	自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力	趣味やスポーツ等によって生活を楽しむ力	計画を立て、目標に向かってリーダーシップをとる力	外国語の本を読んだり、外国語で話をする力	留学体験や留学生との交流等による異文化理解力
3･4年生全体【2025】		(n= 2,853)	53.5	44.1	43.2	41.7	35.8	29.6	22.5	13.6	11.2
性別	男性	(n= 1,174)	52.6	47.8	45.1	39.6	39.4	32.0	23.6	12.5	7.9
	女性	(n= 1,632)	54.5	41.7	42.0	43.6	33.5	27.8	22.1	14.2	13.7
学部系統別	人文科学系	(n= 749)	57.9	37.4	42.3	43.3	37.9	31.8	20.8	20.4	15.4
	法律･政治･社会系	(n= 425)	60.0	41.2	38.6	42.8	34.8	25.9	22.4	11.3	12.0
	商･経済･経営系	(n= 468)	52.8	31.8	42.3	42.5	35.5	31.6	24.4	9.6	9.2
	理･工･農系	(n= 537)	49.3	59.8	56.2	35.6	36.9	28.7	20.1	11.2	7.4
	スポーツ･体育系	(n= 75)	42.7	37.3	30.7	34.7	29.3	57.3	26.7	5.3	4.0
	医･歯･薬･看護系	(n= 239)	38.5	71.5	27.6	44.8	29.3	20.9	24.7	3.8	5.9
	教養･芸術･学際その他	(n= 360)	56.1	37.2	45.0	45.0	37.2	28.1	25.3	19.2	15.0
学年別	3年	(n= 1,388)	52.6	43.8	43.4	39.0	34.4	28.0	21.1	14.1	11.0
	4年	(n= 1,465)	54.4	44.4	42.9	44.4	37.2	31.1	23.9	13.1	11.4
就職活動と学業の両立状況別	両立･計	(n= 1,538)	55.9	41.9	44.8	44.5	38.0	31.6	25.2	12.3	11.0
	中立･計	(n= 707)	48.7	45.4	36.9	37.6	32.2	25.6	19.0	13.0	11.9
	非両立･計	(n= 251)	51.4	36.7	47.8	41.8	37.1	29.1	23.9	18.3	11.2

※「3･4年生全体【2025】」で降順ソート
※2025年質問文変更、2021年までは「大学生活でこれまでに身についたと実感できる力はどのようなことですか。」

+10　：『3･4年生全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『3･4年生全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『3･4年生全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q60_3-4

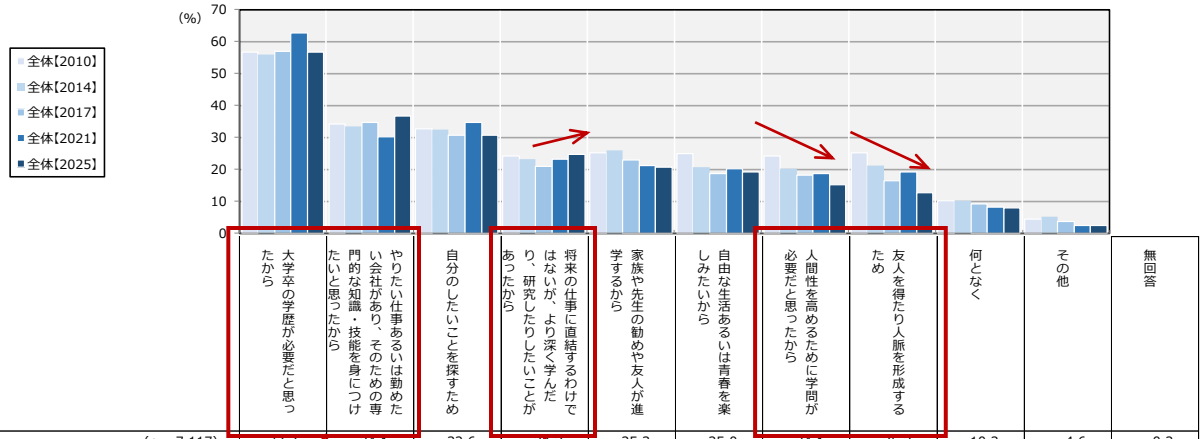
テーマ３　実利志向の増加、あるいは対人関係への期待と評価の低下

「実利志向の増加」は、第15回の本白書でも取り上げた。今回は2010年まで遡って時系列データを確認する。

- **『大学進学の目的』において、「友人を得ること」、「人間性の涵養」などが低下傾向にある。**
  - 『課外活動の参加状況』でも、コロナ禍中であった前回と比べれば「積極的に参加している」比率は上昇したが、2010年からは低落傾向にある。
- **過去確認してきた通り、「大学卒の学歴が必要」、「将来の仕事や会社のために必要な専門知識・技能を身につける」は増加傾向、もしくは高水準にある。**
  - 『大学生活の中で大切なこと』をみても、「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」が近年大きく伸びている。また、「専門的知識・技術を習得すること」や「講義・ゼミ・研究会などにきちんと出席すること」も、前回比で伸びている。
- **一方で、「将来の仕事に直結するわけではないがより深く学んだり、研究したりしたいことがある」も2017年を底として反転上昇している。**
  - 同様に、『大学選択理由』でも「専門の研究・教育の内容が充実していたから」、「就職に有利だと思ったから」などの“実利”関連項目や、「自宅からの通学が可能だったから」、「キャンパスがきれい・施設が充実しているから」などの環境面が高いのと同時に、「専門に限らず質の高い教養教育が充実していると思ったから」も高くなっている。
- **人間関係や人格涵養などへの期待が低下し、就職に役立つ／専門知識・技術を／きちんと出席して獲得する志向が強くなっている。“大学の手段化”が進んでいるとまとめることも可能だろう。**
  - 重要なのは、そうした学生の価値意識の変化の中で、私立大学の在籍満足度が着実に上昇し、期待に添ってきたことである。
  - 一方で、「高度な教育それ自体」への期待にも添う必要性もあるし、大学として交流や人格涵養を今一度訴求する余地があるとも考えられよう。

■大学進学の目的（全体／複数回答）

Ｑ１０　大学進学の目的は何ですか。（３つまで）



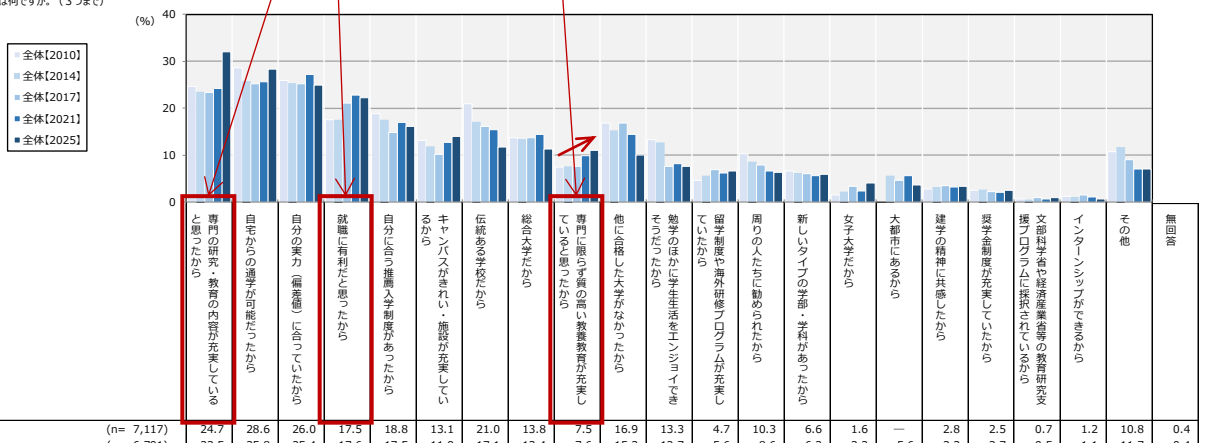
			大学卒の学歴が必要だと思ったから	やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから	自分のしたいことを探すため	将来の仕事に直結するわけではないが、より深く学んだり、研究したりしたいことがあったから	家族や先生の勧めや友人が進学するから	自由な生活あるいは青春を楽しみたいから	人間性を高めるために学問が必要だと思ったから	友人を得たり人脈を形成するため	何となく	その他	無回答
全体 時系列	全体【2010】	(n= 7,117)	56.6	34.1	32.6	24.3	25.3	25.0	24.1	25.2	10.2	4.6	0.2
	全体【2014】	(n= 6,791)	56.0	33.5	32.4	23.2	26.0	20.8	20.3	21.2	10.2	5.2	0.3
	全体【2017】	(n=12,369)	57.0	34.6	30.8	21.0	23.0	18.6	18.3	16.5	9.2	3.7	—
	全体【2021】	(n=20,205)	62.6	30.3	34.6	23.3	21.2	20.2	18.7	19.3	8.3	2.4	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	56.7	36.6	30.6	24.8	20.8	19.1	15.3	12.7	8.1	2.6	—

※「全体【2025】」で降順ソート

Q10_01

■大学選択理由（全体／複数回答）

Ｑ１１　在学中の大学を選択した理由は何ですか。（３つまで）



			専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから	自宅からの通学が可能だったから	自分の実力（偏差値）に合っていたから	就職に有利だと思ったから	自分に合う推薦入学制度があったから	キャンパスがきれい・施設が充実しているから	伝統ある学校だから	総合大学だから	専門に限らず質の高い教養教育が充実していると思ったから	他に合格した大学がなかったから	勉学のほかに学生生活をエンジョイできそうだったから	留学制度や海外研修プログラムが充実していたから	周りの人たちに勧められたから	新しいタイプの学部・学科があったから	女子大学だから	大都市にあるから	建学の精神に共感したから	奨学金制度が充実していたから	文部科学省や経済産業省等の教育研究支援プログラムに採択されているから	インターンシップができるから	その他	無回答
全体 時系列	全体【2010】	(n= 7,117)	24.7	28.6	26.0	17.5	18.8	13.1	21.0	13.8	7.5	16.9	13.3	4.7	10.3	6.6	1.6	—	2.8	2.5	0.7	1.2	10.8	0.4
	全体【2014】	(n= 6,791)	23.5	25.8	25.4	17.6	17.5	11.9	17.1	13.4	7.6	15.3	12.7	5.6	8.6	6.2	2.2	5.6	3.3	2.7	0.5	1.1	11.7	0.4
	全体【2017】	(n=12,369)	23.4	25.2	25.2	21.1	14.9	10.2	16.1	13.7	7.7	16.9	7.6	6.9	7.9	6.1	3.4	4.6	3.5	2.3	0.9	1.5	9.1	—
	全体【2021】	(n=20,205)	24.2	25.7	27.2	22.8	17.0	12.7	15.4	14.5	9.9	14.4	8.2	6.2	6.6	5.6	2.4	5.6	3.3	2.1	0.7	1.1	7.1	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	32.0	28.3	25.0	22.2	16.1	14.0	11.8	11.3	11.0	10.1	7.7	6.7	6.4	6.0	4.1	3.7	3.4	2.6	0.9	0.7	7.0	—

※「全体【2025】」で降順ソート

※「建学の精神に共感したから」は2014年文言変更、2010年までは「建学の精神に共鳴したから」／2014年から「大都市にあるから」が追加

Q11_01

テーマ３　実利志向の増加

■課外活動参加状況（全体／単一回答）

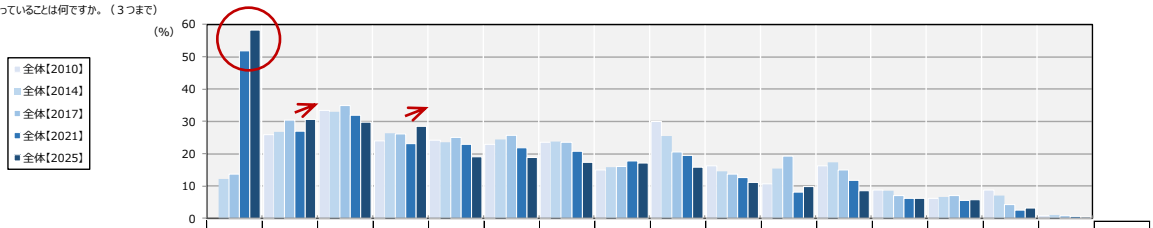
Ｑ３９　課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティア）に参加していますか。（１つだけ）

			積極的に参加している	参加しているが熱心ではない	参加しているが活動していない	参加していたがやめた	最初から参加していない	無回答	「積極参加」＋「熱心ではない」＋「参加しているが活動なし」
全体 時系列	全体【2010】	(n= 7,117)	49.5%	14.6	5.4	10.7	19.3	0.5	69.5
	全体【2014】	(n= 6,791)	51.4	14.2	4.6	12.7	16.7	0.5	70.2
	全体【2017】	(n=12,369)	42.8	15.3	4.9	14.8	22.2	—	63.0
	全体【2021】	(n=20,205)	28.7	12.5	12.5	13.6	32.7	—	53.7
	全体【2025】	(n= 6,732)	34.1	14.9	5.1	15.2	30.7	—	54.2

Q39_01

■大学生活の中で大切なこと（全体／複数回答）

Ｑ２６　大学生活の中で大切だと思っていることは何ですか。（３つまで）



			必要な単位を取得し、進級・卒業すること	専門的知識・技術を習得すること	経験を豊富にし、見聞を広めること	講義・ゼミ・研究会などにきちんと出席すること	将来の進路を見出すこと	教養を深めること	考える力を養うこと	自由な時間を楽しむこと	よい友人・先輩を得ること	自分に合った就職先を見つけること	良い成績をとること	人脈をつくること	趣味を生かし、才能を伸ばすこと	国家試験に合格すること	クラブ・サークル活動で活躍すること	その他	無回答
全体 時系列	全体【2010】	(n= 7,117)	—	25.8	33.3	23.9	24.1	23.0	23.6	14.9	29.9	16.2	10.8	16.2	8.8	6.3	8.7	0.8	0.5
	全体【2014】	(n= 6,791)	12.1	26.7	32.9	26.4	23.5	24.3	23.8	15.9	25.4	14.6	15.5	17.3	8.5	6.7	7.1	1.0	1.0
	全体【2017】	(n=12,369)	13.6	30.4	34.9	26.2	25.0	25.6	23.6	16.0	20.6	13.8	19.2	14.9	7.0	7.0	4.3	0.9	—
	全体【2021】	(n=20,205)	51.8	26.9	32.0	23.2	23.0	21.9	20.7	17.7	19.5	12.6	8.1	11.8	6.2	5.5	2.5	0.7	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	58.2	30.6	29.7	28.4	19.0	18.9	17.4	17.1	15.8	11.1	9.9	8.5	6.1	5.8	3.1	0.5	—

※「全体【2025】」で降順ソート

※「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」は2021年文言変更、2017年までは「進級・卒業すること」／「自分に合った就職先を見つけること」は2021年文言変更、2017年までは「よい就職先を見つけること」「良い成績をとること」は2021年文言変更、2017年までは「よい成績をとること」／「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」は2014年追加

Q26_01

■インターンシップ参加意向（全体／単一回答）

Ｑ３８　インターンシップに参加したいと思いますか。（１つだけ）

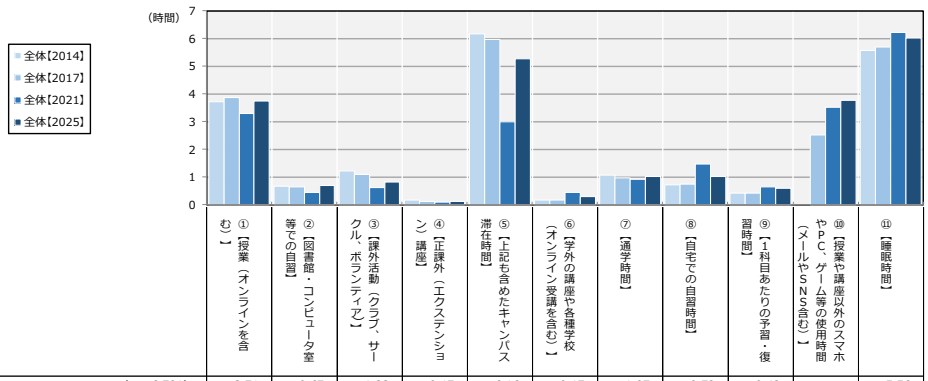
			すでに参加した	ぜひ参加したい	興味はある	興味はない	わからない	無回答	「すでに参加」＋「ぜひ参加したい」
全体 時系列	全体【2010】	(n= 7,117)	10.8%	11.9	45.2	14.0	16.7	1.5	22.7
	全体【2014】	(n= 6,791)	13.7	13.1	42.9	15.9	13.7	0.7	26.8
	全体【2017】	(n=12,369)	19.5	22.6	36.5	11.4	10.0	—	42.1
	全体【2021】	(n=20,205)	21.4	25.3	36.2	9.2	8.0	—	46.7
	全体【2025】	(n= 6,732)	22.6	23.8	34.7	10.7	8.2	—	46.4
学年別 時系列	4年【2010】	(n= 1,390)	21.0	4.7	36.8	22.6	13.5	1.3	25.8
	4年【2014】	(n= 1,365)	21.3	4.2	32.8	31.4	9.9	0.4	25.5
	4年【2017】	(n= 2,186)	45.2	4.8	19.2	21.1	9.7	—	50.0
	4年【2021】	(n= 3,960)	47.4	5.6	18.6	18.7	9.7	—	53.1
	4年【2025】	(n= 1,465)	47.1	7.0	17.5	18.4	10.0	—	54.1

Q38_01

テーマ４　コロナ禍の影響からどの程度脱したか

- **【授業（オンラインを含む）】、【図書館・コンピュータ室等での自習】、【課外活動（クラブ、サークル、ボランティア）】などは、コロナ禍中に平均時間が減少し、今回反転増加。結果として、【キャンパス滞在時間】は2時間以上伸びた。**
  - ただし、【キャンパス滞在時間】は2017年水準には及ばない。
- **前回からの減少幅が最も大きいのは、【自宅での自習時間】。**
  - そのほか、「睡眠時間」や「学外の講義や各種学校」なども減少。

■生活時間概算平均（時間）（全体／単一回答から概算平均）



			①【授業（オンラインを含む）】	②【図書館・コンピュータ室等での自習】	③【課外活動（クラブ、サークル、ボランティア）】	④【正課外（エクステンション）講座】	⑤【上記も含めたキャンパス滞在時間】	⑥【学外の講座や各種学校（オンライン受講を含む）】	⑦【通学時間】	⑧【自宅での自習時間】	⑨【1科目あたりの予習・復習時間】	⑩【授業や講座以外のスマホやPC、ゲーム等の使用時間（メールやSNS含む）】	⑪【睡眠時間】
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	3.71	0.67	1.23	0.17	6.16	0.17	1.07	0.72	0.42	—	5.56
	全体【2017】	(n=12,369)	3.88	0.64	1.09	0.12	5.96	0.18	0.98	0.76	0.43	2.52	5.70
	全体【2021】	(n=20,205)	3.29	0.46	0.61	0.10	3.01	0.46	0.91	1.48	0.65	3.52	6.23
	全体【2025】	(n= 6,732)	3.74	0.69	0.83	0.12	5.28	0.29	1.02	1.03	0.59	3.76	6.03

※【授業や講座以外のスマホやPC、ゲーム等の使用時間（メールやSNS含む）】は2021年文言変更、2017年に【メール・SNS・ゲームの使用時間】として追加

Q24_01_1

- **アルバイトの実施率も5ポイント以上伸びて2017年水準を超えている。その目的をみると、「遊び、旅行、趣味の活動」が5ポイント以上増加。**

■就労（アルバイト）の有無（全体／単一回答）

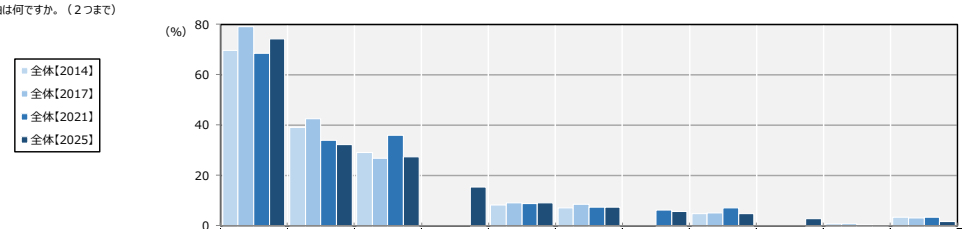
Q22_①　就労（アルバイトを含む）について選んでください。（1つだけ）

			常時している	時々している	定職に就いている	これから始めようと思っている	未経験であり、これからもしようと思わない	無回答		「常時」+「時々」+「定職に就いている」	1ヶ月の平均就労時間（時間）
	●凡例										
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	41.4%	28.9	3.0	16.8	6.1	3.8		73.3	48.5
	全体【2017】	(n=12,369)	45.5	29.2	3.6	15.1	6.7	—		78.3	43.8
	全体【2021】	(n=20,205)	46.0	28.3	2.6	17.0	6.1	—		76.9	40.8
	全体【2025】	(n= 6,732)	49.8	29.7	2.6	12.4	5.6	—		82.1	43.6

Q22_1_01

■アルバイトの動機（就労者・就労意向者／複数回答）

Q23　アルバイトをする動機・理由は何ですか。（2つまで）



			遊び、旅行、趣味の活動などにあてる	主に学費や生活費などにあてる	社会勉強として	貯蓄・資産運用にあてる	大学での課外活動の費用にあてる	アルバイトをするのが楽しいから	どうしても購入したいものがあるから	就職準備として	留学費用にあてる	友人などから頼まれた	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,117)	69.7	39.0	29.2	—	8.3	7.0	—	4.7	—	0.9	3.3	9.9
	全体【2017】	(n=11,541)	79.0	42.6	26.7	—	9.0	8.6	—	5.1	—	0.7	3.1	—
	全体【2021】	(n=18,982)	68.4	34.0	36.1	—	8.9	7.4	6.2	7.0	—	0.6	3.3	—
	全体【2025】	(n= 6,357)	74.3	32.3	27.5	15.3	9.0	7.3	5.6	4.7	2.7	0.3	1.7	—

※「全体【2025】」で降順ソート

※「留学費用にあてる」「貯蓄・資産運用にあてる」は2025年追加

「どうしても購入したいものがあるから」は2021年追加

※「主に学費や生活費などにあてる」「大学での課外活動の費用にあてる」「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」「社会勉強として」「就職準備として」「アルバイトをするのが楽しいから」は2021年文言変更。
2017年までは「主に生活費、学費などにあてる」「サークル活動にあてる」「ほしい物を購入したり、遊び、旅行、趣味などにあてる」「社会勉強」「就職準備」「アルバイトをするのが楽しい」だった。

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q23_01

テーマ４　コロナ禍の影響からどの程度脱したか

● クラブ、サークル活動参加率は上昇。ただし、コロナ禍以前の水準には戻っていない。

■課外活動参加状況（全体／単一回答）

Ｑ３９　課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティア）に参加していますか。（１つだけ）

			積極的に参加している	参加しているが熱心ではない	参加しているが活動していない	参加していたがやめた	最初から参加していない	無回答	「積極参加」＋「熱心ではない」＋「参加しているが活動なし」
	●凡例								
全体 時系列	全体【2010】	(n= 7,117)	49.5%			14.6	5.4	10.7	19.3	0.5	69.5
	全体【2014】	(n= 6,791)	51.4			14.2	4.6	12.7	16.7	0.5	70.2
	全体【2017】	(n=12,369)	42.8		15.3	4.9	14.8	22.2	—		63.0
	全体【2021】	(n=20,205)	28.7	12.5	12.5	13.6	32.7		—		53.7
	全体【2025】	(n= 6,732)	34.1	14.9	5.1	15.2	30.7		—		54.2

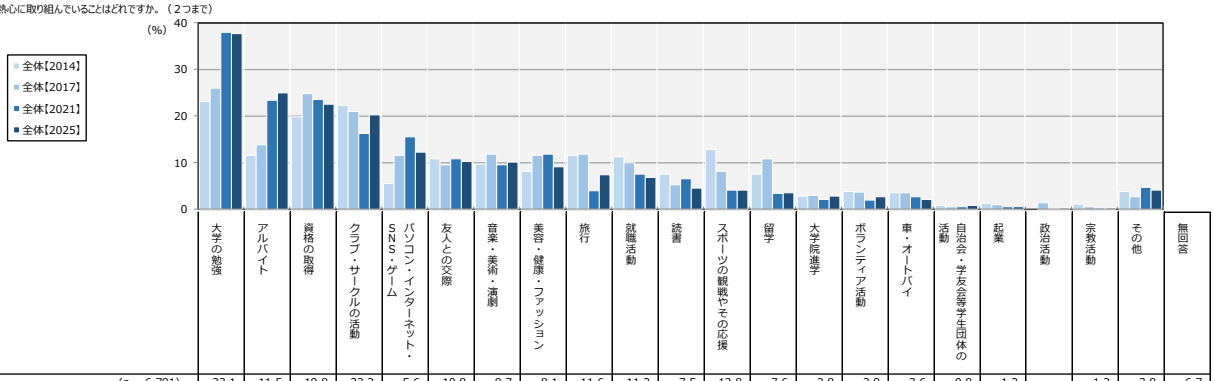
Q39_01

● 現在の関心事として、コロナ禍中に減少し、今回目立って増加に転じたのは、「クラブ・サークルの活動」であり、減少した項目の代表は「パソコン・インターネット・SNS・ゲーム」である。

- なお、「大学の勉強」がトップであり、「アルバイト」への興味は増加傾向が続く一方、「資格の取得」や「就職活動」への興味は減少傾向が続くが、これらの項目はコロナ禍前後での差はみられない。

■現在の関心事（全体／複数回答）

Ｑ２５　現在、興味や関心を持って熱心に取り組んでいることはどれですか。（２つまで）



			大学の勉強	アルバイト	資格の取得	クラブ・サークルの活動	パソコン・インターネット・SNS・ゲーム	友人との交際	音楽・美術・演劇	美容・健康・ファッション	旅行	就職活動	読書	スポーツの観戦やその応援	留学	大学院進学	ボランティア活動	車・オートバイ	自治会・学友会等学生団体の活動	起業	政治活動	宗教活動	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	23.1	11.5	19.8	22.2	5.6	10.8	9.7	8.1	11.6	11.3	7.5	12.8	7.6	2.8	3.9	3.6	0.8	1.3	—	1.2	3.8	6.7
	全体【2017】	(n=12,369)	26.0	13.8	24.8	21.0	11.5	9.5	11.9	11.5	11.8	10.0	5.3	8.1	10.8	3.0	3.7	3.5	0.6	1.0	1.4	0.6	2.7	—
	全体【2021】	(n=20,205)	38.0	23.4	23.6	16.2	15.6	10.9	9.5	11.8	4.0	7.6	6.6	4.1	3.4	2.2	2.0	2.7	0.6	0.5	0.2	0.3	4.7	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	37.7	25.0	22.5	20.3	12.2	10.2	10.1	9.1	7.4	6.9	4.6	4.2	3.6	2.9	2.7	2.1	0.9	0.5	0.3	0.3	4.2	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※「クラブ・サークルの活動」は2021年文言変更、2017年まで「クラブ・サークル活動」
「パソコン・インターネット・SNS・ゲーム」は2017年文言変更、2014年まで「パソコン・インターネット」
「自治会・学友会等学生団体の活動」は2021年文言変更「自治会・学友会活動」は2017年文言変更、2014年まで「自治会活動」
「スポーツの観戦やその応援」は2021年文言変更、2017年までは「スポーツ」／「政治活動」は2021年文言変更、2017年に追加した際は「政治」

Q25_01

● コロナ禍の影響とばかりはいえないが、心身の状況を「良い」と回答した者は9ポイント程度増加している。

■現在の心身の状況（全体／単一回答）

Ｑ２７　大学生になってからの自分の心身の状態をどう感じていますか。（１つだけ）

			良い	悪い	変わらない
	●凡例				
全体 時系列	全体【2021】	(n=20,205)	48.6	19.9	31.6
	全体【2025】	(n= 6,732)	57.4	14.8	27.9

※2025年質問文変更、2021年は「あなたは、大学生になってからの自分の心身の状態をどう感じていますか。」

Q27_01

調査概要

1．調査の目的

- 「第17回学生生活実態調査」（以下、本調査）は、本連盟加盟大学に在籍する学部学生の生活状況等を調査し、学生の生活実態を把握するとともに、時代の変化に応じた比較分析を行い、加盟大学並びに連盟の諸活動を検討する際の基礎的資料とすることを目的として実施した。

2．調査の対象

- 本調査の対象学部は、令和６年度に設置されている学部（令和７年度新設学部は除く）とし、現在、同設置学部に在籍している学生（留学生を含む）を調査の対象とした。
- 加盟大学への調査依頼数は、同設置学部の学部学生数（令和６年５月１日現在）の約５％の学生数を算出した（５％の学生数が20人以下の学部は、一定サンプル数を確保するため20人とした）。

3．調査方法

- 集計結果の客観性を高めるために、調査対象者（学部学生）の抽出には学年、性別等を配慮し、学部ごとにできる限り厳密な無作為抽出を依頼した。また、その他の方法によって（無作為抽出に依らない）調査対象者の抽出をされた場合には、その旨を実施結果報告フォームに入力願った。
- なお、調査の依頼にあたっては原則としてメールや学内ポータルサイト等を利用したオンラインでの周知を原則とし、以下いずれかの方法で調査してもらうよう依頼した。

◎学生向けのメール一括送信システムを利用し、予め無作為抽出しておいた対象学生にのみ回答用URLおよびQRコードが記載された調査協力依頼文書のPDFデータを送信。
◎学内情報を配信する学生向けポータルサイトを利用し、無作為抽出した対象学生にのみ回答用URLおよびQRコードが記載された調査協力依頼文書のPDFデータを通知。
◎回答用URLおよびQRコードを記載した調査協力依頼文書を、予め無作為抽出しておいた対象学生にのみ郵送または手渡し。（やむを得ない学内事情等で印刷を希望した場合のみ）

4．調査の基本設計・調査項目

1）調査の基本設計について

- 本調査の基本設計にあたっては次の点に留意した。
  - ●調査の継続性を重視し、客観的で数値化できる内容設定によって経年変化の比較分析を可能とする。
  - ●年々さまざまな変化をみせる学生生活の実態をより具体的に、また、より的確に把握できるようにする。
  - ●学生生活が営まれている大学の諸改革や社会の動きとの関連にも意を注ぎ、新しい環境の変化と学生生活との関連についても分析を試みる。

2）調査項目について

- 調査項目は、これまでに実施された調査において採用された調査項目を検討し、それらをⅠ基本事項、Ⅱ 大学等の選択理由、入学後の満足度、大学への期待・要望、Ⅲ経済、Ⅳライフ（大学生活）、Ⅴ正課教育、Ⅵ正課外活動、Ⅶ不安・悩み、Ⅷ進路の８分野の質問群として質問項目を設定した。

5．調査の実施時期

- 調査実施期間：令和7（2025）年9月1日～10月31日（8月25日付調査依頼）

6．回答回収結果

- （１）調査対象大学数　116大学（休会2校を除く）
- （２）回答提出大学数　116大学
- （３）調査依頼数　47,054人
- （４）有効回答数　6,732人
- （５）回収率（（４）／（３））　14.3%

基本事項（プロフィール）

■性別（全体／単一回答）

Q４　ご自身の性自認をお答えください。（１つだけ）

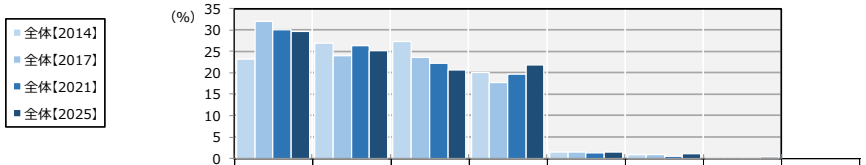
			男性	女性	回答しない	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	51.8%	48.1	—	0.1
	全体【2017】	(n=12,369)	44.6	55.4	—	—
	全体【2021】	(n=20,205)	43.3	54.6	2.1	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	40.2	57.8	2.0	—

※2025年質問文変更、2021年までは「あなたの性別をお答えください」　※「回答しない」は2021年追加

Q04_01

■入学してからの年数（学年）（全体／単一回答）

Q６　入学してから何年目ですか。（１つだけ）

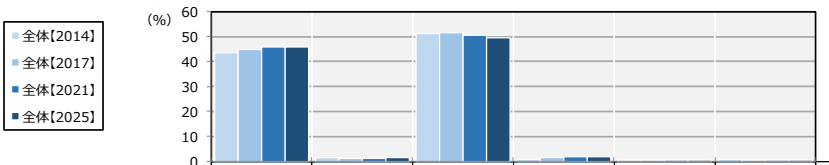


			１年目	２年目	３年目	４年目	５年目	６年目	７年目以上	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	23.2	27.0	27.4	20.1	1.4	0.8	0.1	0.1
	全体【2017】	(n=12,369)	32.0	24.1	23.6	17.7	1.5	0.9	0.2	—
	全体【2021】	(n=20,205)	30.0	26.4	22.2	19.6	1.2	0.5	0.1	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	29.7	25.1	20.6	21.8	1.5	1.0	0.3	—

Q06_01

■出身高校（全体／単一回答）

Q７　出身高校等は次のどれですか。（１つだけ）



			私立	国立	公立	海外	高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	43.6	1.5	51.1	0.9	0.5	0.7	1.8
	全体【2017】	(n=12,369)	44.8	1.2	51.5	1.4	0.4	0.6	—
	全体【2021】	(n=20,205)	45.8	1.1	50.5	1.7	0.4	0.4	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	46.0	1.6	49.4	2.0	0.4	0.5	—

Q07_01

■現在の住まい（全体／単一回答）

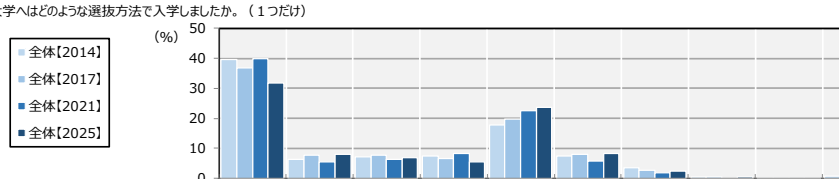
Q８　現在の住まいはどちらですか。（１つだけ）

			自宅	自宅外	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	63.8%	35.4	0.8
	全体【2017】	(n=12,369)	64.8	35.2	—
	全体【2021】	(n=20,205)	71.3	28.7	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	68.7	31.3	—

Q08_01

■選抜方法（全体／単一回答）

Q９　在学中の大学へはどのような選抜方法で入学しましたか。（１つだけ）



			一般選抜（個別学力試験）	一般選抜（個別学力試験・大学入学共通テスト併用）	一般選抜（大学入学共通テストのみ）	学校推薦型選抜（附属・系列校推薦）	学校推薦型選抜（指定校推薦）	学校推薦型選抜（公募推薦）	学校推薦型選抜（スポーツ・課外活動等推薦）	帰国生徒入試	社会人入試	編入学・転入学	総合型選抜	留学生入試	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	39.6	6.3	7.1	7.4	17.9	7.5	3.5	0.3	0.2	0.6	7.7	0.6	0.9	0.3
	全体【2017】	(n=12,369)	36.8	7.7	7.7	6.5	19.7	7.9	2.8	0.3	0.1	0.8	7.6	1.0	1.2	—
	全体【2021】	(n=20,205)	39.8	5.6	6.4	8.3	22.6	5.8	1.8	0.2	0.1	0.8	6.4	1.4	0.9	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	31.8	8.1	6.8	5.4	23.7	8.3	2.5	0.3	0.2	0.7	10.1	1.1	0.9	—

※「一般選抜（個別学力試験）」「大学入学共通テスト」「総合型選抜」は2025年文言変更、2021年までは「一般入試」「センター試験（大学入学共通テスト）」「ＡＯ・自己推薦入試」「学校推薦型選抜」は2025年文言追加、2021年まではそれぞれ（）内のみ

Q09_01

1章：進学目的・理由／充実度／期待

- **大学進学の目的**

  前回同様、「大学卒の学歴が必要だと思ったから」が1位だが、スコアは減少。2014、2017年と同水準。

  「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」は増加。

- **大学選択理由**

  「専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから」のスコアが前回より増加し、1位に。

- **学部・学科入学満足度**

  「所属学部・学科の満足度」は前回から増加傾向が続き、約8割が「よかった」と回答。

- **大学に入ってよかった点**

  「学びたい（学問）分野が学べたこと」が1位。前回からスコアも増加。

  コロナ禍以前まで1位だった「信頼できる友人を得たこと」は今回比率は上昇したが、2014年、2017年の水準には遠く及ばない。

- **学生生活充実度**

  学生生活が「充実している」と回答した学生の割合は、36.9%。前回を大きく上回り、2014年と同水準。

- **施設・サービスへの期待や要望**

  「学生食堂の充実」が１位。以下、「Wi-Fi、トイレ、更衣室等の整備、生活面でのインフラの充実」「図書館や情報センター設備の充実」が続く。いずれも前回からスコアが増加。

コメント

所属学部・学科の満足度は、今回大きく伸びて8割近くになった。過去最高値である。前回調査では3回連続で減少していた**学生生活の充実度**も2ポイント近く伸び、2014年の水準を上回った。

大学進学の目的では「大学卒の学歴が必要」が前回同様の1位だが比率は減少。「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたい」が増加。

大学に入ってよかった点では、コロナ禍以前まで1位だった「信頼できる友人を得たこと」の比率は上昇したが、2014年、2017年の水準には遠く及ばない。

大学進学の目的

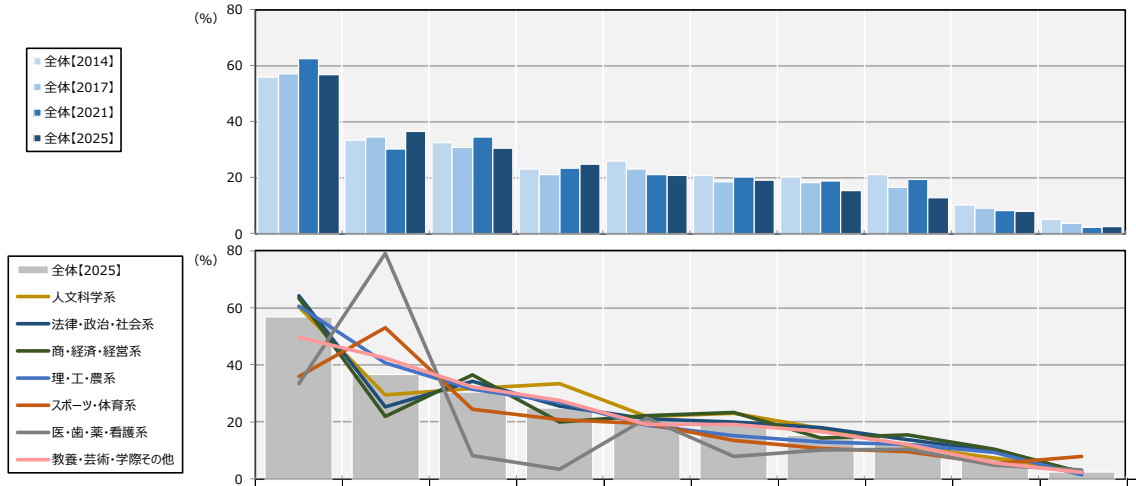
◆前回同様、「大学卒の学歴が必要だと思ったから」が1位だが、スコアは減少。2014、2017年と同水準。
◆「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」は増加。

- 全体では「大学卒の学歴が必要だと思ったから」が56.7%と突出。
- 「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」「自分のしたいことを探すため」が、30%台でこれに続く。
- 「自分のしたいことを探すため」「人間性を高めるために学問が必要だと思ったから」「友人を得たり人脈を形成するため」は前回から減少。

- 学部系統別にみると、「人文科学系」は「将来の仕事に直結するわけではないが、より深く学んだり、研究したりしたいことがあったから」、「法律・政治・社会系」「商・経済・経営系」は「大学卒の学歴が必要だと思ったから」、「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」は「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」が他学部系統に比べ高い。
- 学年別にみると、「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」は、学年が下がるほどスコアが高くなる傾向がみられる。また、「4年生」は「将来の仕事に直結するわけではないが、より深く学んだり、研究したりしたいことがあったから」が他の学年に比べて高い。
- 入試方法別にみると、「一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用」は「大学卒の学歴が必要だと思ったから」、「AO・自己推薦入試」は「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」が他の入試方法に比べて高い。

■大学進学の目的（全体／複数回答）

Q１０　大学進学の目的は何ですか。（３つまで）



			大学卒の学歴が必要だと思ったから	やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから	自分のしたいことを探すため	将来の仕事に直結するわけではないが、より深く学んだり、研究したりしたいことがあったから	家族や先生の勧めや友人が進学するから	自由な生活あるいは青春を楽しみたいから	人間性を高めるために学問が必要だと思ったから	友人を得たり人脈を形成するため	何となく	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	56.0	33.5	32.4	23.2	26.0	20.8	20.3	21.2	10.2	5.2	0.3
	全体【2017】	(n=12,369)	57.0	34.6	30.8	21.0	23.0	18.6	18.3	16.5	9.2	3.7	—
	全体【2021】	(n=20,205)	62.6	30.3	34.6	23.3	21.2	20.2	18.7	19.3	8.3	2.4	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	56.7	36.6	30.6	24.8	20.8	19.1	15.3	12.7	8.1	2.6	—
全体【2025】		(n= 6,732)	56.7	36.6	30.6	24.8	20.8	19.1	15.3	12.7	8.1	2.6	—
性別	男性	(n= 2,707)	57.0	33.9	30.7	23.1	20.4	18.8	14.6	14.5	11.0	3.3	—
	女性	(n= 3,893)	56.7	38.5	30.6	26.1	21.2	19.3	15.7	11.5	6.0	2.0	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	60.2	**29.4**	31.6	33.5	21.8	23.0	17.7	11.7	7.4	2.9	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	64.2	**25.4**	34.2	25.7	21.0	19.9	18.1	13.9	9.9	2.3	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	63.4	**22.0**	36.6	19.9	22.3	23.4	14.3	15.6	10.4	2.4	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	60.7	40.7	31.5	27.1	18.9	15.2	13.0	12.1	9.4	1.5	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	**36.0**	**52.9**	**24.4**	20.7	19.4	**13.6**	10.7	9.5	5.4	7.9	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	**33.3**	**79.1**	**8.3**	**3.4**	21.4	**8.0**	**10.2**	10.4	4.9	3.2	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	**49.8**	42.5	32.3	27.4	19.1	19.2	16.7	12.2	5.8	2.2	—
学年別	1年	(n= 2,000)	55.1	39.6	31.7	23.2	18.5	21.1	16.2	15.2	6.6	3.3	—
	2年	(n= 1,689)	56.3	37.5	31.9	23.7	20.8	18.8	14.4	11.7	9.2	2.2	—
	3年	(n= 1,388)	59.4	33.6	29.6	24.6	22.3	17.9	14.2	12.3	8.7	2.4	—
	4年	(n= 1,465)	58.8	31.7	30.2	30.4	22.0	18.8	16.1	11.1	7.6	2.4	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	61.4	35.1	29.7	24.8	19.7	21.3	15.2	13.7	8.9	2.2	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	66.4	32.3	31.2	22.9	16.4	19.0	15.7	13.3	10.3	2.0	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	**44.7**	44.9	29.9	29.7	20.3	15.9	16.9	13.1	5.6	3.2	—
	推薦入試	(n= 2,688)	54.9	36.4	31.8	23.2	22.8	17.3	14.0	11.5	7.7	2.9	—
	その他	(n= 216)	**37.5**	39.4	26.9	34.7	20.4	22.7	**27.3**	11.6	6.5	2.8	—
大学生活充実度別	学生生活は充実している	(n= 5,258)	55.3	38.9	29.7	26.7	20.5	20.9	16.6	14.7	5.8	2.2	—
	学生生活は普通である	(n= 1,143)	60.3	**30.3**	35.3	**18.6**	21.3	**12.2**	10.8	**5.9**	14.3	3.8	—
	学生生活は充実していない	(n= 331)	66.8	**21.8**	27.5	**16.0**	22.7	**13.6**	10.6	**3.3**	**22.4**	4.8	—
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	56.5	40.0	31.1	28.6	18.3	17.1	17.5	12.8	5.7	2.3	—
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	57.3	36.8	31.1	25.0	20.1	20.7	15.3	13.0	7.3	2.7	—
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	55.6	**30.6**	28.5	**18.5**	26.4	18.1	11.8	11.7	13.7	3.0	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q10_01

大学選択理由

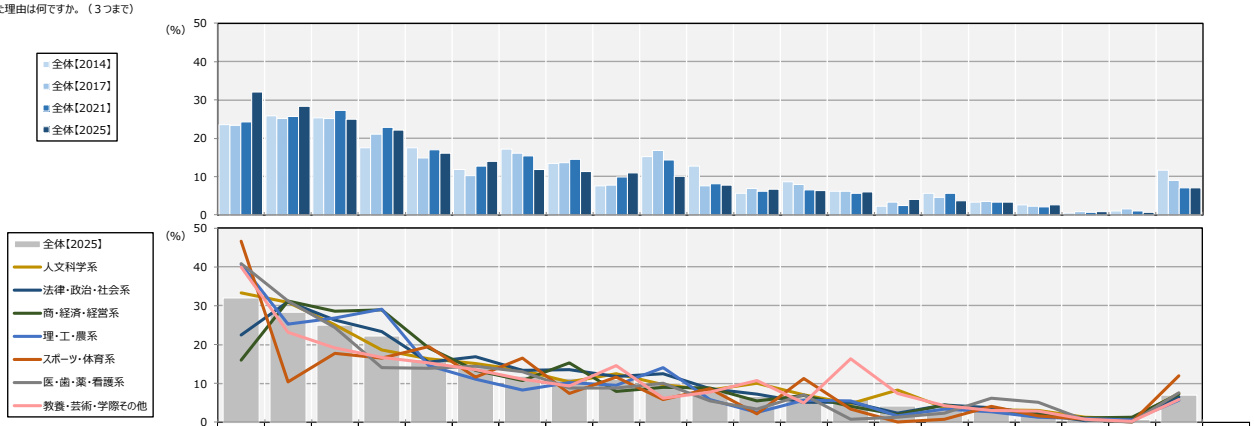
◆「専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから」のスコアが前回より増加し、1位に。

- 全体では、「専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから」が3割を超えて選択理由の1位となった（前回24.2%→今回32.0%）。また「自宅からの通学が可能だったから」も前回よりスコアが微増し、2位となった（前回25.7%→今回28.3%）。
- 上位ではないが「キャンパスがきれい、施設が充実しているから」はゆるやかな増加傾向。

- 学部系統別にみると、「商・経済・社会系」は「就職に有利だと思ったから」、「理・工・農系」は「就職に有利だと思ったから」「専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから」、「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」は「専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから」、「教養・芸術・学際その他」は「専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから」「新しいタイプの学部・学科があったから」が高い点が特徴。
- 学年別による違いはあまりみられない。
- 入試方法別にみると、「一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用」「大学入学共通テスト（センター試験）のみ」では「自分の実力（偏差値）に合っていたから」「他に合格した大学がなかったから」、「AO・自己推薦入試」では「専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから」、「推薦入試」では「自分に合う推薦入学制度があったから」が、他の入試方法に比べて高い。

■大学選択理由（全体／複数回答）

Q１１　在学中の大学を選択した理由は何ですか。（３つまで）



			専門の研究・教育の内容が充実していると思ったから	自宅からの通学が可能だったから	自分の実力（偏差値）に合っていたから	就職に有利だと思ったから	自分に合う推薦入学制度があったから	キャンパスがきれい・施設が充実しているから	伝統ある学校だから	総合大学だから	専門に限らず質の高い教養教育が充実していると思ったから	他に合格した大学がなかったから	勉学のほかに学生生活をエンジョイできそうだったから	留学制度や海外研修プログラムが充実していたから	周りの人たちに勧められたから	新しいタイプの学部・学科があったから	女子大学だから	大都市にあるから	建学の精神に共感したから	奨学金制度が充実していたから	文部科学省や経済産業省等の教育研究支援プログラムに採択されているから	インターンシップができるから	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	23.5	25.8	25.4	17.6	17.5	11.9	17.1	13.4	7.6	15.3	12.7	5.6	8.6	6.2	2.2	5.6	3.3	2.7	0.5	1.1	11.7	0.4
	全体【2017】	(n=12,369)	23.4	25.2	25.2	21.1	14.9	10.2	16.1	13.7	7.7	16.9	7.6	6.9	7.9	6.1	3.4	4.6	3.5	2.3	0.9	1.5	9.1	—
	全体【2021】	(n=20,205)	24.2	25.7	27.2	22.8	17.0	12.7	15.4	14.5	9.9	14.4	8.2	6.2	6.6	5.6	2.4	5.6	3.3	2.1	0.7	1.1	7.1	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	32.0	28.3	25.0	22.2	16.1	14.0	11.8	11.3	11.0	10.1	7.7	6.7	6.4	6.0	4.1	3.7	3.4	2.6	0.9	0.7	7.0	—
全体【2025】		(n= 6,732)	32.0	28.3	25.0	22.2	16.1	14.0	11.8	11.3	11.0	10.1	7.7	6.7	6.4	6.0	4.1	3.7	3.4	2.6	0.9	0.7	7.0	—
性別	男性	(n= 2,707)	29.4	27.0	28.2	24.8	15.1	11.8	12.6	12.2	9.8	11.6	7.2	3.5	6.5	5.4	0.1	4.1	3.8	2.7	1.2	0.7	6.9	—
	女性	(n= 3,893)	34.0	29.2	22.9	20.7	17.1	15.4	11.5	10.5	11.8	9.0	8.0	9.1	6.3	6.3	6.8	3.4	3.2	2.6	0.7	0.8	6.8	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	33.3	30.8	25.1	18.6	16.3	15.1	13.4	10.3	12.4	9.6	8.3	10.1	7.0	4.8	8.2	3.7	3.2	3.1	1.2	0.9	7.4	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	22.5	31.1	26.4	23.4	15.5	16.9	13.3	13.6	11.8	12.4	8.6	7.2	5.1	5.2	2.3	4.4	3.8	2.2	0.4	1.0	6.6	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	15.9	31.3	28.6	28.9	19.2	13.4	10.8	15.2	7.9	8.9	8.8	5.4	6.9	4.0	2.0	4.4	2.9	2.2	1.1	1.3	7.3	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	40.6	25.2	26.8	29.1	14.6	11.0	8.3	10.2	9.5	14.0	5.9	2.5	5.7	5.5	1.6	3.4	2.7	1.2	0.9	0.5	5.7	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	46.7	10.3	17.8	16.5	19.4	11.6	16.5	7.4	11.6	5.8	8.7	2.1	11.2	3.3	—	0.8	4.1	1.7	0.8	—	12.0	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	40.9	31.2	24.4	14.1	13.8	14.4	13.0	8.8	8.8	10.1	5.4	3.4	7.1	0.8	1.3	2.3	6.2	5.2	0.6	—	7.6	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	40.0	23.2	19.1	16.7	15.2	13.6	11.1	9.4	14.6	6.2	7.8	10.8	4.9	16.3	7.4	4.2	3.1	2.8	0.8	0.3	5.9	—
学年別	1年	(n= 2,000)	31.0	26.8	22.0	24.3	17.4	17.7	12.1	10.5	12.4	11.9	9.0	8.4	4.9	6.2	3.3	3.2	4.5	2.7	0.8	1.1	6.7	—
	2年	(n= 1,689)	31.1	29.0	26.2	21.2	15.4	15.5	10.2	11.0	10.1	10.1	7.5	6.6	7.1	5.3	5.0	3.5	3.4	2.7	0.9	0.8	6.5	—
	3年	(n= 1,388)	31.3	29.5	26.4	22.0	15.8	12.3	11.9	12.1	9.7	8.7	7.0	5.5	6.3	8.2	3.5	4.2	2.3	2.8	0.6	0.5	7.2	—
	4年	(n= 1,465)	35.6	28.9	25.9	21.3	16.5	9.4	12.6	12.2	11.9	8.9	7.2	5.9	7.2	4.8	4.9	4.2	2.9	2.3	1.1	0.5	7.1	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	31.2	31.2	35.7	23.7	0.4	13.5	13.2	13.1	10.6	15.7	8.2	5.7	5.3	5.2	2.6	4.0	1.9	2.5	0.6	0.5	6.1	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	27.1	23.6	30.8	19.9	0.2	9.6	10.0	10.7	7.0	28.2	7.2	7.4	6.8	5.5	3.7	5.7	1.7	2.4	0.4	0.4	8.1	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	39.6	25.6	18.2	16.8	19.6	15.3	9.0	9.3	12.5	4.3	6.6	8.4	6.8	9.9	7.1	3.7	4.7	4.3	0.9	0.4	8.2	—
	推薦入試	(n= 2,688)	31.7	27.6	15.8	22.9	33.6	14.8	11.3	9.9	11.4	3.0	7.7	7.0	6.7	5.8	5.0	3.1	4.4	2.1	1.1	1.0	7.1	—
	その他	(n= 216)	31.5	19.0	15.7	15.3	18.5	15.3	14.4	13.0	13.0	7.9	5.6	9.3	13.4	6.5	2.8	4.2	10.2	5.1	3.2	2.3	8.3	—
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	32.7	27.6	24.6	24.0	17.0	14.3	14.1	11.7	11.1	9.5	8.3	7.3	6.3	6.2	4.2	3.7	3.2	1.8	0.8	0.8	5.7	—
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	30.1	27.1	25.5	21.9	16.0	12.8	9.7	10.8	9.8	11.2	7.4	6.3	6.9	6.3	4.0	4.1	3.1	3.6	1.0	0.6	7.9	—
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	28.3	29.0	24.4	22.1	15.2	12.6	11.4	12.0	11.7	10.2	7.2	7.6	4.9	5.0	4.5	2.8	4.3	2.9	1.2	1.2	8.3	—
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	31.1	26.7	24.6	23.6	17.6	13.9	9.7	8.1	12.9	9.7	7.9	7.9	6.3	4.6	3.0	3.0	4.2	8.5	1.6	0.4	8.3	—
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	32.7	26.9	24.5	20.8	16.2	14.0	10.2	10.4	10.3	9.9	7.5	6.0	7.4	5.4	4.3	3.9	3.5	5.1	1.1	0.7	8.0	—
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	32.5	29.1	25.6	22.8	16.1	14.3	13.2	12.1	10.9	10.2	7.9	6.8	6.1	6.8	4.0	3.9	3.1	0.2	0.6	0.7	5.8	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q11_01

学部・学科入学満足度

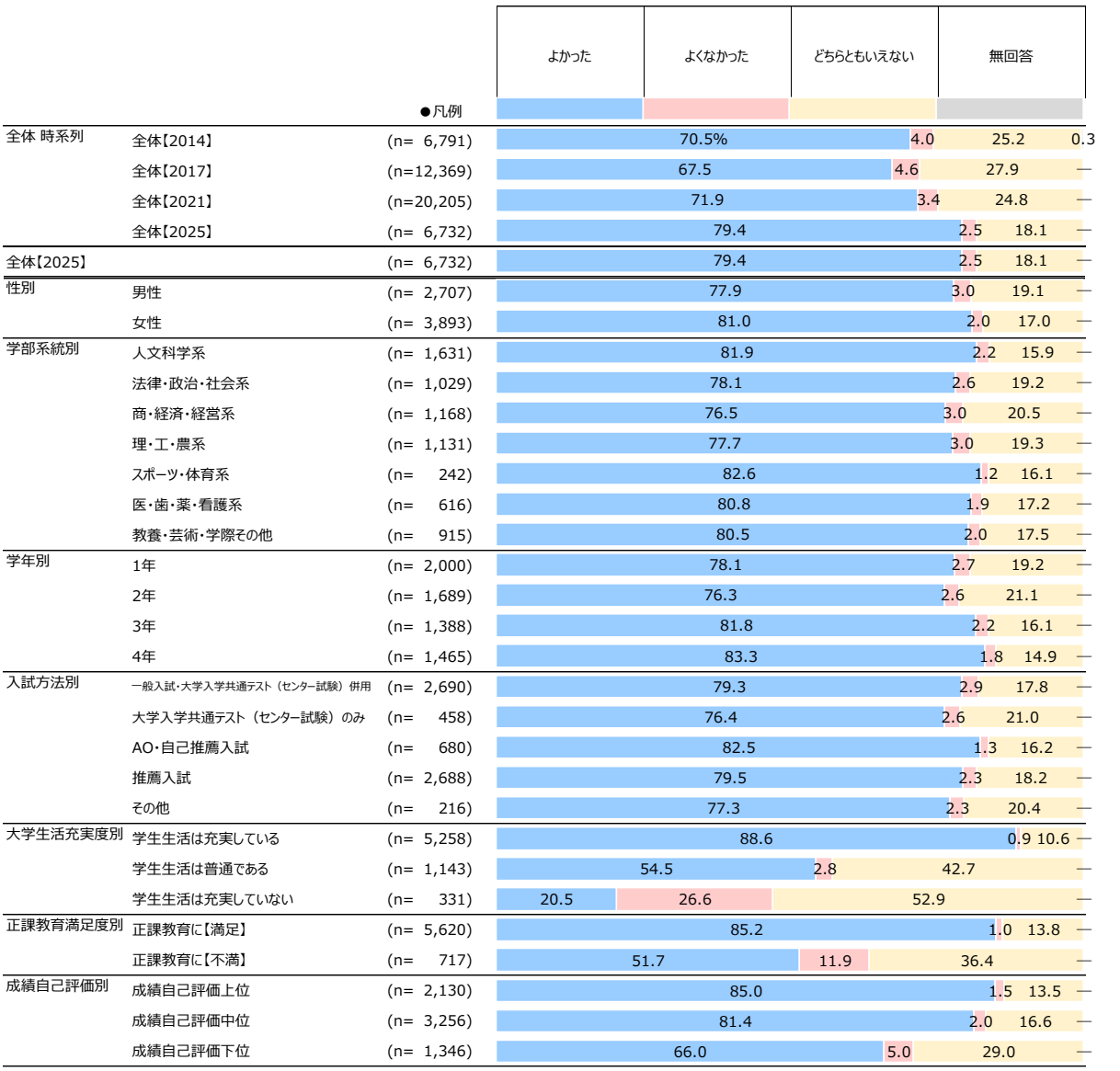
◆「所属学部・学科の満足度」は前回から増加傾向が続き、約8割が「よかった」と回答。

- 全体では79.4%が現在所属する学部・学科に入学して「よかった」と回答。

- 学年別にみると、「よかった」の割合は1・2年生に比べて3・4年生の方がやや高い。
- 入試方法別にみると、「よかった」の割合は「AO・自己推薦入試」が82.5%と他の入試方法に比べてやや高い。
- 大学生活充実度別にみると、充実度が高い層ほど「よかった」の割合は高く、「充実している」では88.6%が「よかった」と回答。
- 正課教育満足度別にみると、満足層の「よかった」の割合は85.2%と、不満層（51.7%）を大きく上回る。
- 成績自己評価別にみると、「よかった」の割合は自己評価下位層のみ66.0%と、中・上位層に比べ低い。

■学部・学科入学満足度（全体／単一回答）

Q１２　所属する学部・学科に入学してよかったと思いますか。（１つだけ）



Q12_01

大学に入ってよかった点

◆「学びたい（学問）分野が学べたこと」が1位。前回からスコアも増加。

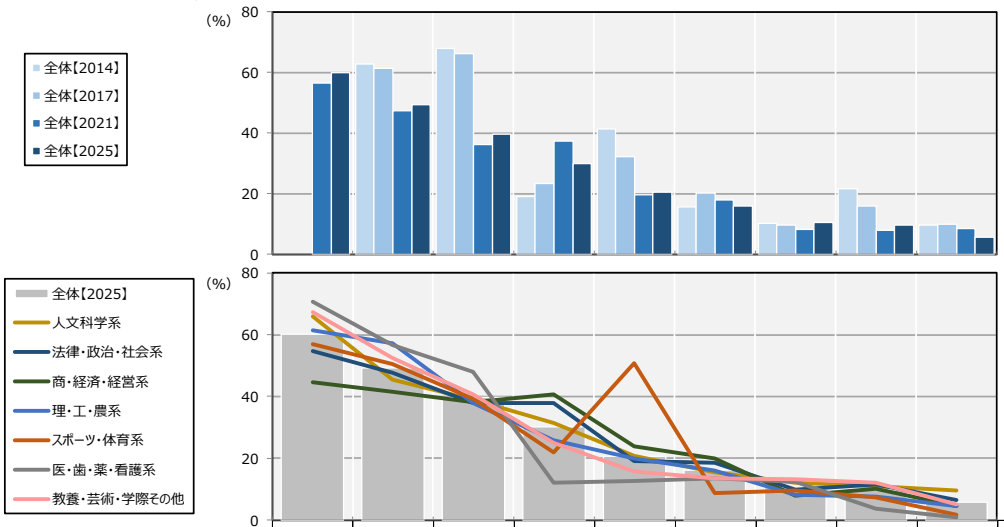
◆コロナ禍以前まで1位だった「信頼できる友人を得たこと」は今回比率は上昇したが、2014年、2017年の水準には遠く及ばない。

- 全体では、「学びたい（学問）分野が学べたことが前回に続きトップでスコアも増加。前回スコアが大幅に下がった「知識や技術が身についたこと」「信頼できる友人を得たこと」は微増。一方、「自由な時間が持てたこと」はスコアが減少した。

- 学部系統別にみると、「人文科学系」「教養・芸術・学際その他」は「学びたい（学問）分野が学べたこと」、「法律・政治・社会系」「商・経済・経営系」は「自由な時間が持てたこと」、「理・工・農系」は「知識や技術が身についたこと」、「スポーツ・体育系」は「趣味やスポーツを楽しめること（クラブ・サークル等）」が、他学部系統に比べ高い。「医・歯・薬・看護系」は「学びたい（学問）分野が学べたこと」「知識や技術が身についたこと」「信頼できる友人を得たこと」の高さが目立つ。
- 学年別にみると、「信頼できる友人を得たこと」「信頼できる先生と出会えたこと」「他人と協力して何かを達成できたこと（大学祭などの行事運営・ボランティア活動）」は、1・2年に比べ3・4年のほうが高い。反対に、1・2年の方が高めなのは「趣味やスポーツを楽しめること（クラブ・サークル等）」。
- 入試方法別にみると、「AO・自己推薦入試」は「学びたい（学問）分野が学べたこと」「知識や技術が身についたこと」が他の入試方法に比べてやや高い。

■大学に入ってよかった点（全体／複数回答）

Ｑ１３　大学に入ってよかったと思うのは、どういう点ですか。（３つまで）



			学びたい（学問）分野が学べたこと	知識や技術が身についたこと	信頼できる友人を得たこと	自由な時間が持てたこと	趣味やスポーツを楽しめること（クラブ・サークル等）	アルバイトができたこと	信頼できる先生と出会えたこと	他人と協力して何かを達成できたこと（大学祭などの行事運営・ボランティア活動）	本を読む機会が増えたこと	とくにない	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	—	62.9	68.1	19.2	41.4	15.6	10.2	21.6	9.7	—	0.7
	全体【2017】	(n=12,369)	—	61.4	66.3	23.3	32.3	20.3	9.7	15.9	9.9	—	—
	全体【2021】	(n=20,205)	56.4	47.3	36.3	37.5	19.6	18.1	8.4	8.0	8.5	—	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	60.1	49.3	39.6	30.1	20.6	16.1	10.5	9.7	5.8	2.6	—
全体【2025】		(n= 6,732)	60.1	49.3	39.6	30.1	20.6	16.1	10.5	9.7	5.8	2.6	—
性別	男性	(n= 2,707)	56.4	50.7	38.4	32.4	23.4	15.1	10.3	7.8	7.5	3.2	—
	女性	(n= 3,893)	62.8	48.3	40.4	28.7	18.8	17.2	10.5	11.2	4.6	2.1	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	66.0	45.4	39.1	31.4	20.7	15.4	12.0	11.0	9.7	1.8	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	54.8	47.6	37.8	38.0	19.0	18.6	9.9	11.7	6.6	2.3	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	44.7	41.6	38.3	40.8	24.0	20.0	8.0	10.1	4.6	3.0	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	61.5	57.2	37.8	25.8	19.9	16.1	8.1	7.6	4.5	3.8	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	57.0	50.4	39.3	21.9	50.8	8.7	9.5	7.4	1.7	2.9	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	70.6	56.8	47.9	12.2	12.7	13.5	12.3	3.7	1.0	3.2	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	67.2	52.6	40.8	25.0	15.8	13.6	13.3	12.0	5.0	1.9	—
学年別	1年	(n= 2,000)	60.1	44.5	35.8	33.8	23.6	16.1	6.5	6.7	5.6	3.4	—
	2年	(n= 1,689)	58.5	50.2	40.0	29.2	21.6	17.2	7.8	8.5	6.7	2.8	—
	3年	(n= 1,388)	60.6	52.1	41.6	28.4	18.4	16.2	12.7	12.0	5.8	1.9	—
	4年	(n= 1,465)	61.2	51.5	42.5	28.9	18.8	15.5	16.3	13.7	5.1	1.5	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	60.8	48.8	40.1	31.6	20.4	17.2	10.0	8.9	6.7	2.9	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	56.8	48.5	38.2	34.1	22.3	16.4	9.2	7.9	7.2	3.3	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	63.5	51.2	40.3	27.8	18.5	12.6	12.4	10.6	4.7	1.5	—
	推薦入試	(n= 2,688)	58.2	48.7	40.0	29.2	22.0	16.3	9.7	10.0	4.5	2.5	—
	その他	(n= 216)	71.8	58.8	26.9	23.1	7.4	10.6	22.7	16.7	10.2	1.4	—

※「全体【2025】」で降順ソート

※「とくにない」は2025年追加

「学びたい（学問）分野が学べたこと」は2021年追加

※「自由な時間が持てたこと」「信頼できる友人を得たこと」「信頼できる先生と出会えたこと」は2021年文言変更、2017年までは「遊べる時間が持てたこと」「友人を得たこと」「先生と親しくなれたこと」

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け

+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け

-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q13_01

学生生活充実度

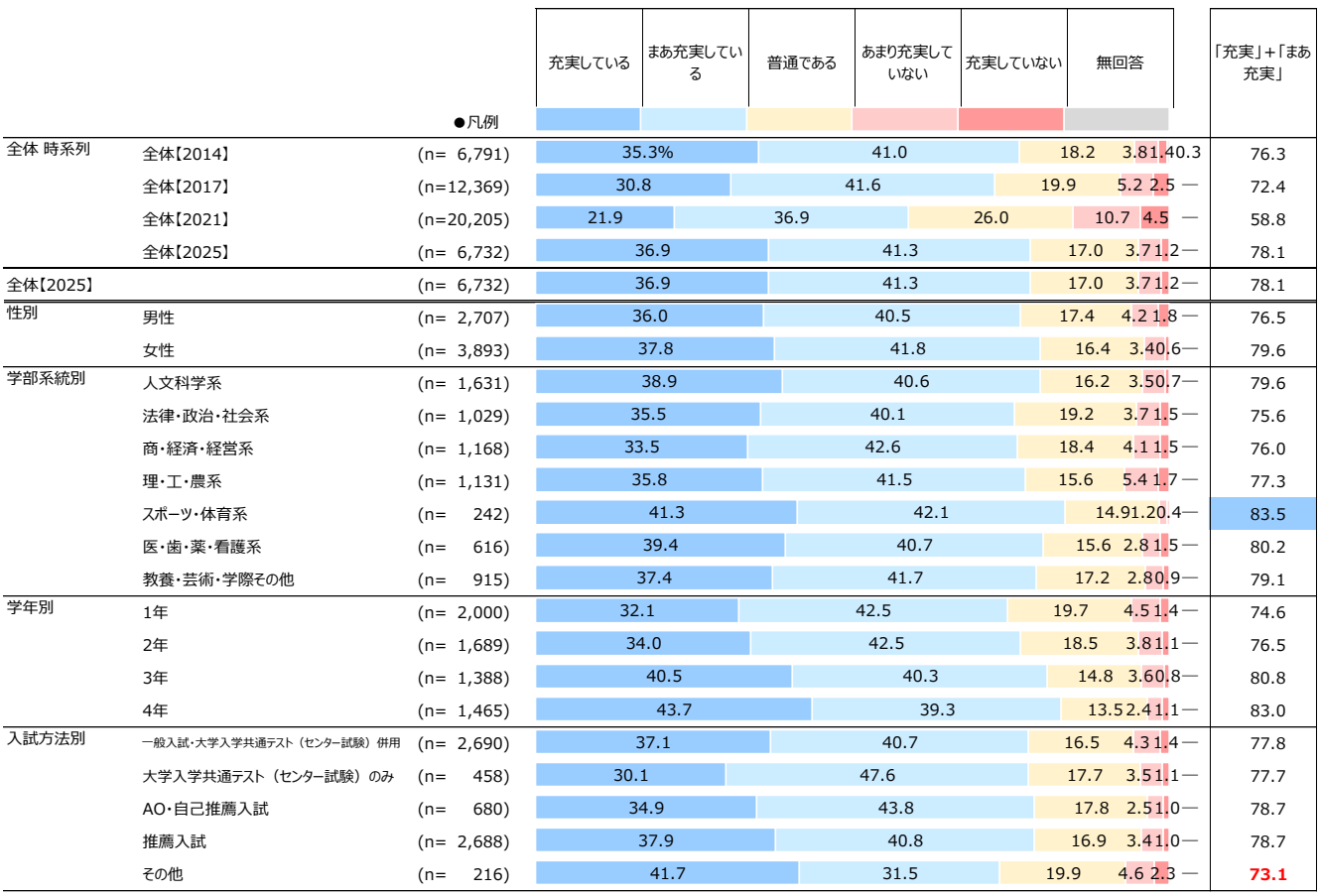
◆学生生活が「充実している」と回答した学生の割合は、36.9%。前回を大きく上回り、2014年と同水準。

- 学生生活について、36.9%が「充実している」、41.3%が「まあ充実している」と回答。「充実している」の割合は前回から大きく増加（前回21.9%→今回36.9%）。

- 学部系統別にみると、充実度は、「スポーツ・体育系」が他の学部系統に比べて高め。
- 学年別にみると、充実度は、学年が上がるほどスコアが高くなっている。
- 入試方法別にみると、「大学入学共通テスト（センター試験）のみ」は「充実している」のスコアが他の入試方法に比べて低い。

■学生生活充実度（全体／単一回答）

Q１４　あなたの学生生活は充実していますか。（１つだけ）



『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q14_01

施設・サービスへの期待や要望

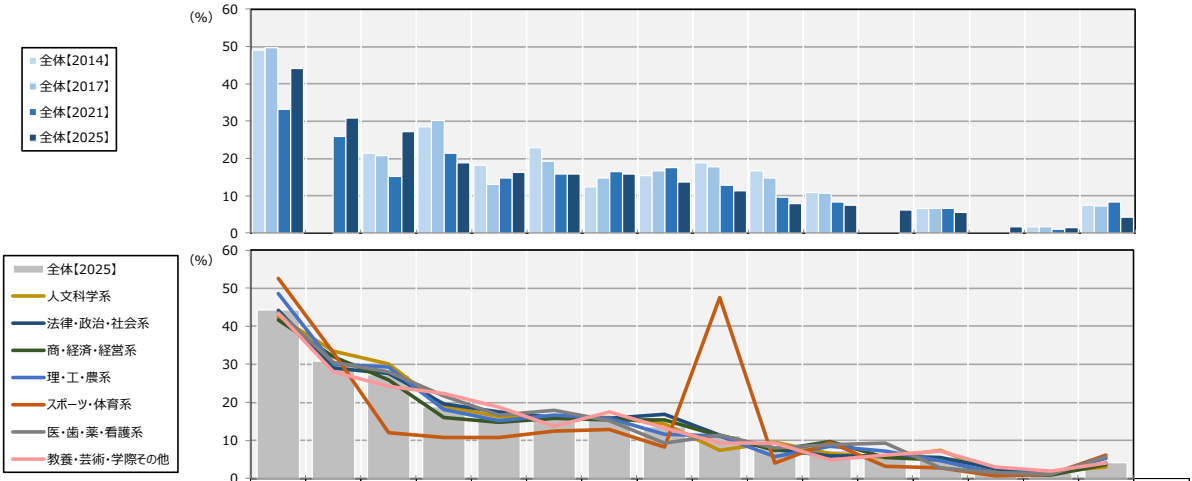
◆「学生食堂の充実」が１位。以下、「Wi-Fi、トイレ、更衣室等の整備、生活面でのインフラの充実」「図書館や情報センター設備の充実」が続く。いずれも前回からスコアが増加。

- 全体では、「学生食堂を充実してほしい」が前回に続きトップでスコアも前回から大きく増加。「Wi-Fi、トイレ、更衣室等の整備、生活面でのインフラの充実」「図書館や情報センター設備の充実」もスコアが増加している。一方、「ロッカー等荷物置き場の整備」「スポーツ施設の充実」「親切かつ迅速な窓口対応」の減少傾向が続く。

- 性別にみると、男性では「学生食堂の充実」「スポーツ施設の充実」、女性では「ロッカー等荷物置き場の整備」が高いことが特徴である。
- 学部系統別では、「スポーツ・体育系」は「学生食堂を充実してほしい」「スポーツ施設の充実」のスコアが高い。
- 学年別にみると、1・2年生は「Wi-Fi、トイレ、更衣室等の整備、生活面でのインフラの充実」、3・4年生は「ロッカー等荷物置き場の整備」がやや高い。

■施設・サービスへの期待や要望（全体／複数回答）

Ｑ１５　大学の施設・サービスに対する期待や要望にはどのようなものがありますか。（３つまで）



			学生食堂の充実	Ｗｉ－Ｆｉ、トイレ、更衣室等インフラの充実	図書館や情報センター設備の充実	ロッカー等荷物置き場の整備	自由に使える交流スペースの整備	学生ホール、サークル・ルーム等の充実	奨学金、アルバイト紹介、保健医療等、学生生活の福利厚生の充実	進路指導の充実	スポーツ施設の充実	親切かつ迅速な窓口対応	駐車（輪）場施設の充実	学習支援の仕組みの充実	文化施設の充実	多様性に配慮した施設整備（トイレや更衣室等）	障がい者への支援の充実	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	49.0	—	21.3	28.4	18.2	23.0	12.4	15.4	18.8	16.6	10.9	—	6.6	—	1.7	7.5	1.3
	全体【2017】	(n=12,369)	49.7	—	20.8	30.1	13.1	19.2	14.8	16.6	17.8	14.8	10.8	—	6.6	—	1.8	7.2	—
	全体【2021】	(n=20,205)	33.2	25.9	15.1	21.3	14.7	15.9	16.4	17.6	12.8	9.6	8.4	—	6.7	—	1.0	8.4	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	44.2	30.9	27.2	18.8	16.2	15.8	15.8	13.6	11.4	7.9	7.4	6.2	5.6	1.8	1.4	4.2	—
全体【2025】		(n= 6,732)	44.2	30.9	27.2	18.8	16.2	15.8	15.8	13.6	11.4	7.9	7.4	6.2	5.6	1.8	1.4	4.2	—
性別	男性	(n= 2,707)	47.7	29.2	28.3	**12.8**	14.4	17.0	14.0	12.1	17.4	6.7	9.5	6.1	5.4	1.6	1.3	5.1	—
	女性	(n= 3,893)	41.9	32.1	26.3	22.9	17.6	15.1	17.2	14.8	7.5	8.7	6.0	6.4	5.7	1.8	1.4	3.5	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	42.6	33.5	30.0	18.9	16.2	16.1	16.1	14.3	7.5	9.5	6.6	5.5	7.4	1.7	1.8	3.1	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	44.1	29.0	27.6	19.7	17.4	16.0	15.8	16.8	11.5	7.6	5.9	5.9	5.5	2.6	1.1	4.1	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	41.6	31.9	25.9	16.1	14.8	15.8	15.4	15.4	11.2	7.4	9.7	5.5	5.0	1.1	0.9	3.7	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	48.5	30.2	29.3	18.1	15.1	16.7	15.8	11.7	11.3	5.7	8.4	7.3	4.6	1.5	1.3	5.4	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	52.5	33.1	**12.0**	**10.7**	**10.7**	12.4	12.8	**8.3**	**47.5**	4.1	9.5	3.3	2.9	0.8	1.2	6.2	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	43.5	30.5	28.1	21.8	16.7	17.9	15.1	9.4	11.4	8.1	8.8	9.4	2.9	1.5	1.1	5.8	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	43.4	28.1	24.3	22.3	18.8	13.8	17.4	13.2	9.4	9.3	4.9	6.1	7.2	3.0	1.9	4.0	—
学年別	1年	(n= 2,000)	43.8	32.0	23.4	20.3	16.6	16.8	15.6	11.3	13.0	5.6	6.6	6.7	5.5	2.3	1.4	4.6	—
	2年	(n= 1,689)	45.7	33.7	26.3	19.4	16.5	15.0	16.6	15.6	12.2	7.2	6.5	5.7	4.8	1.7	1.5	3.6	—
	3年	(n= 1,388)	41.4	29.8	29.2	19.7	16.3	15.5	16.7	16.1	10.5	9.4	7.7	5.9	5.8	1.9	1.4	4.5	—
	4年	(n= 1,465)	45.8	28.3	31.1	16.2	15.5	16.0	14.7	12.5	9.1	10.4	9.0	5.8	7.1	1.2	1.3	4.2	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	44.0	30.1	30.2	19.1	15.0	16.8	15.9	14.2	9.7	8.2	7.4	6.4	6.4	1.4	1.1	4.3	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	45.0	30.3	31.9	19.9	14.8	13.8	16.8	15.5	10.7	5.5	7.0	7.4	5.7	1.5	1.5	3.5	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	45.6	31.2	24.0	21.6	15.6	15.4	15.4	13.2	11.2	8.5	7.6	7.6	6.2	2.4	1.9	3.8	—
	推薦入試	(n= 2,688)	44.0	31.8	23.5	18.0	17.8	15.4	15.3	12.4	13.9	7.8	7.5	5.4	4.3	1.9	1.4	4.3	—
	その他	(n= 216)	43.1	31.0	35.6	14.8	15.3	15.3	21.3	18.5	**5.1**	6.9	6.9	7.9	10.2	5.1	2.3	5.1	—

※「全体【2025】」で降順ソート
※「学習支援の仕組みの充実」「多様性に配慮した施設整備（トイレや更衣室等）」は2025年追加
「Ｗｉ－Ｆｉ、トイレ、更衣室等インフラの充実」は2021年追加

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※「図書館や情報センター設備の充実」「学生ホール、サークル・ルーム等の充実」「学生食堂の充実」「スポーツ施設の充実」「文化施設の充実」「駐車（輪）場施設の充実」「ロッカー等荷物置き場の整備」「自由に使える交流スペースの整備」「奨学金、アルバイト紹介、保健医療等、学生生活の福利厚生の充実」「親切かつ迅速な窓口対応」「進路指導の充実」「障がい者への支援の充実」「Ｗｉ－Ｆｉ、トイレ、更衣室等インフラの充実」は2025年文言変更。
2021年までは「図書館、情報センターなどにおける設備を充実してほしい」「学生会館、サークル・ルームなどの施設を充実してほしい」「学生食堂を充実してほしい」「スポーツ施設を充実してほしい」「文化施設を充実してほしい」「駐車（輪）場施設を充実してほしい」「ロッカー等の荷物置き場を作ってほしい」「キャンパス内で自由に使える交流スペースを作ってほしい」「奨学金、アルバイト紹介、保健医療等、学生生活の福利厚生を充実してほしい」「就職などの進路指導を充実してほしい」「窓口対応をもっと親切に、かつ迅速にしてほしい」「障がい者への支援を充実してほしい」「Ｗｉ－Ｆｉ、トイレ、更衣室等の整備、生活面でのインフラを充実してほしい」だった。

Q15_01

2章：経済

- **１か月の収入／支出、奨学金受給の有無**

  １か月の「総収入額」は前回から10,700円増で過去最高。

  学生の49.4%が給付奨学金・授業料免除を受けている。

  その内訳は、「JASSO（日本学生支援機構）貸与奨学金（第一種・第二種）を受けている」の27.2%がトップ、「国の修学支援（給付奨学金・授業料減免）を受けている」19.5%が続く。

- **経済状況の判断**

  経済的に「余裕がある」「やや余裕がある」と回答したのは全体の36.3%で、前回から横ばい。

- **学費の家計の負担感**

  学費について家計の「負担になっている」と回答した学生の割合は63.4%で、前回から大きく減少。

- **奨学金制度への要望／奨学金未受給の理由**

  奨学金制度への要望トップは「返還の必要のない奨学金の充実」だが、割合は大きく減少。

  奨学金を受けていない理由のトップは「受ける必要がなかった」でスコアの増加傾向が続いている。

- **就労（アルバイト）の有無**

  アルバイト・就労している学生は前回から増加。平均就労時間も増加している。

- **アルバイトの動機**

  アルバイトの動機は、「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」が突出。前回からスコアも増加。

コメント

自分の経済状況は「余裕がある」層は横ばいだが、**家計の負担感**が大幅に減少。**1か月の総収入**は前回から1万円以上伸びて過去最高。

約半数の学生が何らかの奨学金や授業料減免を受けており、**奨学金受給率**は前回の38.0%を大きく超え約半数に。巻頭テーマ別分析でみた通り、国の修学支援について「手続きの簡素化」を求める声が多いなど、まだ改善の余地は残るが、支援が必要な学生にいきわたりつつある状況。

なお、**アルバイト・就労**している学生は前回から増加。平均就労時間も増加している。

１か月の収入／支出、奨学金受給の有無

◆ １か月の「総収入額」は前回から10,700円増で過去最高。

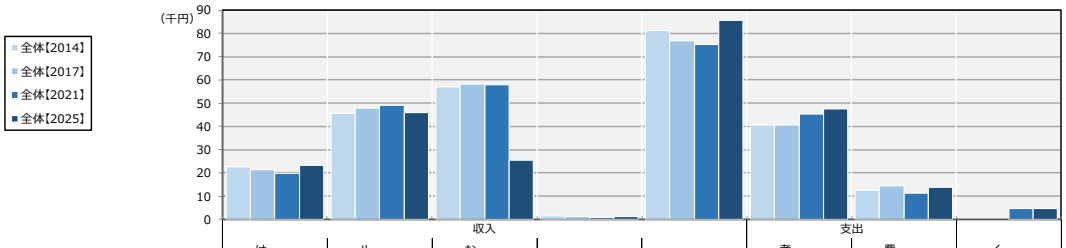
- 全体で１か月の「総収入額」は85,800円、前回と比べると10,700円増加した。

◆学生の49.4%が給付奨学金・授業料免除を受けている。
◆その内訳は、「ＪＡＳＳＯ（日本学生支援機構）貸与奨学金（第一種・第二種）を受けている」27.2%がトップ、「国の修学支援（給付奨学金・授業料減免）を受けている」19.5%が続く。

- 全体でみると、いずれかの給付奨学金・授業料免除を「受けている」と回答したのは約半数。「経済状況は余裕がある」とする学生でも34.9%が受けている。金額（月額）の平均は25,500円。

- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」は「ＪＡＳＳＯ（日本学生支援機構）貸与奨学金（第一種・第二種）を受けている」が他の学部系統に比べて高い。
- 経済状況別にみると、「経済状況は苦しい」層の「給付奨学金・授業料免除を受けている・計」は65.6%。

■収入／支出（月額）（全体／単一回答から概算平均）

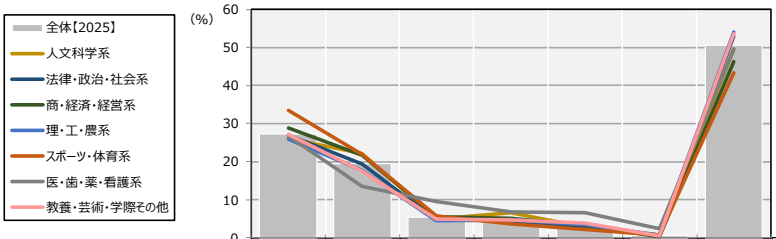


			【家族などからの援助（学費は除く）】	【自分で働いて得た収入（アルバイトも含む）】	【奨学金（給付・貸与を問わない）】	【その他の収入】	【総収入額】	【家賃／光熱水費（自宅通学者は回答不要）】	【食費（自宅通学者は外食費）】	【通信費（スマートフォン・インターネット）】
全体 時系列	全体【2014】	(n= 7,117)	22.7	45.7	56.9	1.4	81.2	40.6	12.5	—
	全体【2017】	(n=12,369)	21.4	47.9	58.3	1.3	76.7	40.7	14.5	—
	全体【2021】	(n=20,205)	19.9	49.0	57.9	0.9	75.1	45.3	11.4	4.7
	全体【2025】	(n= 6,732)	23.3	45.9	25.5	1.3	85.8	47.7	13.7	4.6

※各項目は該当者のみ集計しており、総収入とは一致しない　※【通信費（スマートフォン・インターネット）】は2021年追加　Q16_01

■奨学金受給の有無（全体／複数回答）

Ｑ１９　奨学金や授業料減免を受けていますか。（すべて）



			ＪＡＳＳＯ（日本学生支援機構）貸与奨学金（第一種・第二種）を受けている	国の修学支援（給付奨学金・授業料減免）を受けている	大学独自の授業料減免を受けている	大学独自の給付奨学金・貸与奨学金を受けている	上記以外から給付奨学金・貸与奨学金を受けている	上記以外から授業料減免を受けている	いずれも受けていない	無回答	給付奨学金・授業料減免を受けている・計	給付奨学金・授業料減免を受けていない・計
全体【2025】		(n= 6,732)	27.2	19.5	5.4	5.3	3.4	0.7	50.6	—	49.4	50.6
性別	男性	(n= 2,707)	27.8	20.5	5.8	5.7	3.0	0.6	49.7	—	50.3	49.7
	女性	(n= 3,893)	26.9	18.8	5.1	5.1	3.8	0.7	51.1	—	48.9	51.1
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	26.1	22.2	4.8	6.6	2.9	0.6	49.5	—	50.5	49.5
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	26.9	19.3	4.6	4.5	2.5	0.7	52.9	—	47.1	52.9
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	28.9	21.6	5.6	5.1	3.3	0.3	46.2	—	53.8	46.2
	理・工・農系	(n= 1,131)	26.0	17.8	4.5	4.7	3.4	0.7	54.1	—	45.9	54.1
	スポーツ・体育系	(n= 242)	33.5	21.9	5.8	3.7	2.1	0.8	43.4	—	56.6	43.4
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	26.8	13.5	9.6	6.8	6.5	2.3	49.7	—	50.3	49.7
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	27.2	17.5	5.0	4.7	3.9	0.4	53.7	—	46.3	53.7
学年別	1年	(n= 2,000)	25.8	23.5	4.2	3.7	2.8	1.0	50.7	—	49.4	50.7
	2年	(n= 1,689)	28.9	19.1	5.4	5.4	4.0	0.8	48.5	—	51.5	48.5
	3年	(n= 1,388)	27.0	18.0	6.1	6.5	3.3	0.4	51.2	—	48.8	51.2
	4年	(n= 1,465)	28.1	17.4	6.4	6.3	3.6	0.5	50.6	—	49.4	50.6
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	25.2	18.6	4.2	5.0	3.0	0.8	53.9	—	46.1	53.9
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	26.4	19.4	4.1	8.1	1.5	0.4	54.4	—	45.6	54.4
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	29.6	17.5	4.3	4.3	4.4	0.4	52.1	—	47.9	52.1
	推薦入試	(n= 2,688)	29.4	21.5	6.1	5.2	3.6	0.7	46.4	—	53.6	46.4
	その他	(n= 216)	16.7	12.0	17.1	9.3	8.3	0.5	49.1	—	50.9	49.1
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	15.0	14.0	3.8	4.8	2.7	0.8	65.1	—	34.9	65.1
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	39.3	27.6	6.8	6.7	4.2	1.0	34.4	—	65.6	34.4

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q19_01

経済状況の判断

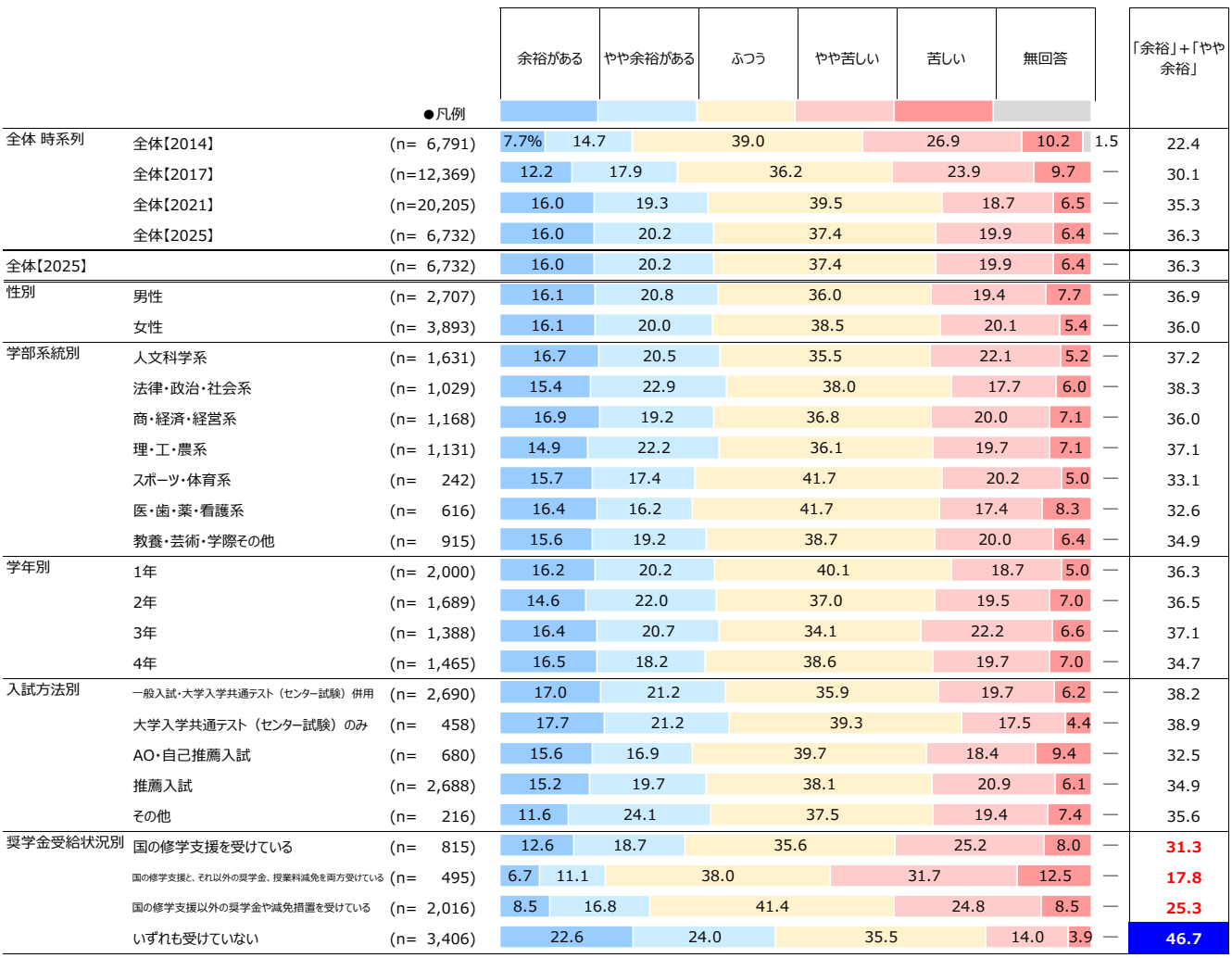
◆経済的に「余裕がある」「やや余裕がある」と回答したのは全体の36.3%。

- 全体では、「余裕がある」「やや余裕がある」は36.3%で前回から横ばい。

- 入試方法別にみると、「AO・自己推薦入試」は「余裕」＋「やや余裕」が32.5%と、他の入試方法に比べ低い。
- 奨学金受給状況別にみると、「国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている」では、「余裕」＋「やや余裕」が17.8%と他に比べて著しく低く、経済的に苦しい状況がうかがえる。

■経済状況の判断（全体／単一回答）

Q１７　自分の経済状況についてどのように感じていますか。（１つだけ）



			余裕がある	やや余裕がある	ふつう	やや苦しい	苦しい	無回答	「余裕」＋「やや余裕」
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	7.7%	14.7	39.0	26.9	10.2	1.5	22.4
	全体【2017】	(n=12,369)	12.2	17.9	36.2	23.9	9.7	—	30.1
	全体【2021】	(n=20,205)	16.0	19.3	39.5	18.7	6.5	—	35.3
	全体【2025】	(n= 6,732)	16.0	20.2	37.4	19.9	6.4	—	36.3
全体【2025】		(n= 6,732)	16.0	20.2	37.4	19.9	6.4	—	36.3
性別	男性	(n= 2,707)	16.1	20.8	36.0	19.4	7.7	—	36.9
	女性	(n= 3,893)	16.1	20.0	38.5	20.1	5.4	—	36.0
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	16.7	20.5	35.5	22.1	5.2	—	37.2
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	15.4	22.9	38.0	17.7	6.0	—	38.3
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	16.9	19.2	36.8	20.0	7.1	—	36.0
	理・工・農系	(n= 1,131)	14.9	22.2	36.1	19.7	7.1	—	37.1
	スポーツ・体育系	(n= 242)	15.7	17.4	41.7	20.2	5.0	—	33.1
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	16.4	16.2	41.7	17.4	8.3	—	32.6
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	15.6	19.2	38.7	20.0	6.4	—	34.9
学年別	1年	(n= 2,000)	16.2	20.2	40.1	18.7	5.0	—	36.3
	2年	(n= 1,689)	14.6	22.0	37.0	19.5	7.0	—	36.5
	3年	(n= 1,388)	16.4	20.7	34.1	22.2	6.6	—	37.1
	4年	(n= 1,465)	16.5	18.2	38.6	19.7	7.0	—	34.7
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	17.0	21.2	35.9	19.7	6.2	—	38.2
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	17.7	21.2	39.3	17.5	4.4	—	38.9
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	15.6	16.9	39.7	18.4	9.4	—	32.5
	推薦入試	(n= 2,688)	15.2	19.7	38.1	20.9	6.1	—	34.9
	その他	(n= 216)	11.6	24.1	37.5	19.4	7.4	—	35.6
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	12.6	18.7	35.6	25.2	8.0	—	31.3
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	6.7	11.1	38.0	31.7	12.5	—	17.8
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	8.5	16.8	41.4	24.8	8.5	—	25.3
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	22.6	24.0	35.5	14.0	3.9	—	46.7

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q17_01

学費の負担感

◆学費について“負担に感じている”（「負担」+「やや負担」）と回答した学生の割合は、63.4%で前回から大きく減少。

- 今回「負担になっている」は33.3%と、前回（38.5%）から約5ポイント減少。
- 「負担」+「やや負担」のスコアは減少傾向が続いている（前々回79.6%→前回74.4%→今回63.4%）。

- 性別にみると、女性に比べて男性の方が「負担になっている」の割合が高い。
- 学部系統別にみると、「負担になっている」の割合が比較的高いのは「理・工・農系」「医・歯・薬・看護系」。
- 入試方法別にみると、「大学共通テスト（センター試験）のみ」の「負担になっている」の割合が比較的高い。
- 経済状況別にみると、「経済状況は苦しい」層では54.9%が「負担になっている」と回答。
- 奨学金受給状況別にみると、「負担になっている」の割合が最も高いのは「国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている」（46.3%）。ついで「国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている」（42.6%）、「国の修学支援を受けている」（36.9%）。一方、「いずれも受けていない」では25.0%で奨学金受給者との差が大きいことがわかる。

■学費の負担感（全体／単一回答）

Q１８　あなたの学費は負担になっていると思いますか。（１つだけ）

			負担になっている	やや負担になっている	それほど負担になっていない	まったく負担になっていない	わからない	無回答		「負担」+「やや負担」
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	45.6%	27.0	10.8	2.9	13.2		0.5	72.6
	全体【2017】	(n=12,369)	47.1	32.5	12.5	2.7	5.2		—	79.6
	全体【2021】	(n=20,205)	38.5	35.9	15.3	3.3	7.0		—	74.4
	全体【2025】	(n= 6,732)	33.3	30.1	14.6	8.6	13.4		—	63.4
全体【2025】		(n= 6,732)	33.3	30.1	14.6	8.6	13.4		—	63.4
性別	男性	(n= 2,707)	36.5	29.0	13.6	8.3	12.6		—	65.5
	女性	(n= 3,893)	30.8	31.0	15.3	8.9	14.1		—	61.8
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	29.1	30.4	16.5	9.3	14.7		—	59.5
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	29.9	31.5	16.1	9.4	13.0		—	61.4
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	33.0	29.7	14.4	9.3	13.5		—	62.8
	理・工・農系	(n= 1,131)	39.1	28.5	12.5	7.9	12.1		—	67.6
	スポーツ・体育系	(n= 242)	35.5	33.1	12.0	8.3	11.2		—	68.6
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	41.6	28.6	11.7	6.0	12.2		—	70.1
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	31.3	30.8	14.9	8.6	14.4		—	62.1
学年別	1年	(n= 2,000)	33.0	31.4	14.9	6.3	14.5		—	64.4
	2年	(n= 1,689)	33.3	30.6	13.7	9.0	13.4		—	63.9
	3年	(n= 1,388)	33.1	29.5	15.1	9.7	12.5		—	62.7
	4年	(n= 1,465)	32.4	29.2	15.1	10.4	12.9		—	61.6
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	34.3	29.5	13.9	9.1	13.2		—	63.8
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	38.0	28.8	14.2	9.8	9.2		—	66.8
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	30.0	33.7	14.3	9.3	12.8		—	63.7
	推薦入試	(n= 2,688)	32.6	30.0	15.1	7.6	14.7		—	62.6
	その他	(n= 216)	28.2	31.0	17.6	12.5	10.6		—	59.3
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	21.9	28.2	20.8	14.4	14.8		—	50.0
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	54.9	23.8	7.2	6.0	8.1		—	78.6
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	36.9	32.3	14.7	4.8	11.3		—	69.2
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	46.3	30.5	14.9	3.2	5.1		—	76.8
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	42.6	32.6	12.1	4.5	8.2		—	75.2
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	25.0	28.0	15.9	12.8	18.2		—	53.0

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q18_01

奨学金制度への要望／奨学金未受給の理由

◆奨学金制度への要望トップは「返還の必要のない奨学金の充実」だが、割合は大きく減少。

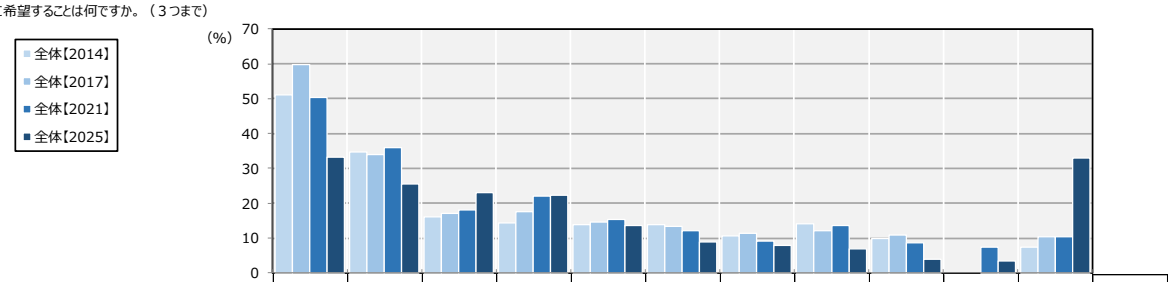
- 「返還の必要のない奨学金の充実」が33.1%で依然１位ではあるものの、前回（50.4%）から15ポイント以上スコアが減少。
- 2位の「手続きの簡素化」も前回よりスコアが減少。一方、「支給金額の増額」「家計基準の見直し」はスコアの増加傾向が続く。

◆奨学金を受けていない理由のトップは「受ける必要がなかった」。

- 奨学金を受けていない理由のトップは「受ける必要がなかった」が半数を超えて突出。スコアの増加傾向が続いている。次いで「家計基準に合わなかった」（20.4%）。スコアの増加傾向が続き2割を超えた。
- 一方、「返済義務がある」は、前回からさらにスコアが減少した。

■奨学金制度への要望（全体／複数回答）

Ｑ２１　奨学金制度に希望することは何ですか。（３つまで）

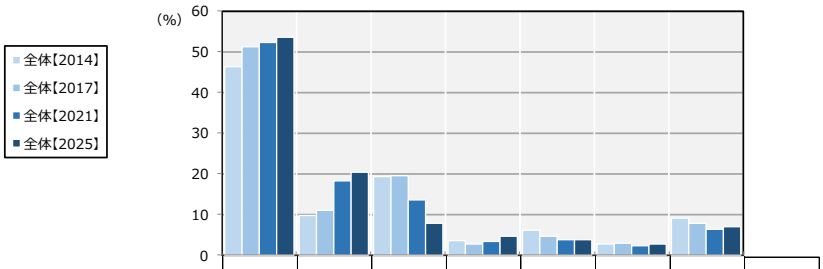


			返還の必要のない奨学金の充実	手続きの簡素化	支給金額の増額	家計基準の見直し	支給枠の拡大	経済状況の適正な評価	成績基準の見直し	急激な家計収入の減少への対応	困窮度の重視	自然災害や火災等の被害への対応	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	51.0	34.7	16.0	14.4	13.8	13.9	10.6	14.2	10.0	—	7.4	12.6
	全体【2017】	(n=12,369)	59.7	33.9	17.0	17.5	14.6	13.4	11.3	12.2	10.8	—	10.4	—
	全体【2021】	(n=20,205)	50.4	36.0	18.1	22.0	15.4	12.1	9.1	13.7	8.6	7.4	10.3	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	33.1	25.4	23.0	22.4	13.7	8.9	7.8	6.8	4.0	3.5	32.9	—

※「全体【2025】」で降順ソート　※「自然災害や火災等の被害への対応」は2021年追加　※「その他・特にない」は2025年文言変更、2021年までは「その他」　Q21_01

■奨学金未受給の理由（奨学金未受給者／単一回答）

Ｑ２０　奨学金や授業料減免を受けていない理由を選んでください。（１つだけ）



			受ける必要がなかった	家計基準に合わなかった	返済義務がある	申請したが受けられなかった	応募の機会を逃した	成績基準に合わなかった	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 3,871)	46.4	9.8	19.3	3.5	6.1	2.7	9.2	3.0
	全体【2017】	(n= 7,460)	51.3	11.0	19.6	2.7	4.6	3.0	7.8	—
	全体【2021】	(n=12,534)	52.4	18.3	13.5	3.3	3.8	2.3	6.4	—
	全体【2025】	(n= 3,406)	53.6	20.4	7.9	4.6	3.7	2.8	7.0	—

※「全体【2025】」で降順ソート　※質問文は2025年文言変更、2021年までは「奨学金を受けていない理由を選んでください。」　Q20_01

就労（アルバイト）の有無

◆アルバイト・就労している学生は前回から増加。平均就労時間も増加している。

- 全体のうちアルバイト・就労している学生は82.1%で、その内訳は「常時している」49.8%、「時々している」29.7%、「定職に就いている」2.6%となっている。

- 性別にみると、「常時している」の割合は女性の方が約7ポイント高い。1か月の平均就労時間は、性別差はほとんどない。
- 学部系統別にみると、アルバイト・就労している割合は「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」が他の学部系統に比べて低い。
- 学年別にみると、「1年」の「常時している」の割合が他の学年に比べて低く、「これからしようと思っている」が24.1%と高い。
- 入試方法別にみると、「AO・自己推薦入試」は「常時している」の割合が他の入試方法に比べて高い。
- 経済状況別にみると、「経済状況は余裕がある」学生も「経済状況は苦しい」と回答した学生もほぼ同程度がアルバイト・就労している。
- 奨学金受給状況別にみると、「いずれも受けていない」はアルバイト・就労している割合が低い。

■就労（アルバイト）の有無（全体／単一回答）

Q２２__① 就労（アルバイトを含む）について選んでください。（１つだけ）

			常時している	時々している	定職に就いている	これから始めようと思っている	未経験であり、これからもしようと思わない	無回答	「常時」＋「時々」＋「定職に就いている」	1ヶ月の平均就労時間（時間）
	●凡例									
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	41.4%	28.9	3.0	16.8	6.1	3.8	73.3	48.5
	全体【2017】	(n=12,369)	45.5	29.2	3.6	15.1	6.7	—	78.3	43.8
	全体【2021】	(n=20,205)	46.0	28.3	2.6	17.0	6.1	—	76.9	40.8
	全体【2025】	(n= 6,732)	49.8	29.7	2.6	12.4	5.6	—	82.1	43.6
全体【2025】		(n= 6,732)	49.8	29.7	2.6	12.4	5.6	—	82.1	43.6
性別	男性	(n= 2,707)	46.1	29.9	2.9	14.1	7.0	—	78.9	44.7
	女性	(n= 3,893)	53.0	29.3	2.4	10.9	4.3	—	84.7	43.1
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	51.7	28.0	2.9	13.0	4.4	—	82.6	43.0
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	55.0	27.8	2.2	11.6	3.4	—	85.0	44.8
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	51.9	29.2	2.5	11.8	4.6	—	83.6	48.3
	理・工・農系	(n= 1,131)	48.5	30.1	3.1	12.9	5.5	—	81.6	42.3
	スポーツ・体育系	(n= 242)	38.4	36.0	1.7	16.5	7.4	—	76.0	39.5
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	40.3	35.9	1.6	10.4	11.9	—	77.8	35.4
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	49.0	29.0	2.8	12.5	6.8	—	80.8	44.7
学年別	1年	(n= 2,000)	38.8	28.9	2.9	24.1	5.4	—	70.6	40.1
	2年	(n= 1,689)	53.8	28.7	2.8	9.6	5.1	—	85.3	44.6
	3年	(n= 1,388)	55.6	30.0	2.2	7.1	5.0	—	87.9	44.2
	4年	(n= 1,465)	56.3	30.1	2.3	5.7	5.7	—	88.7	46.5
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	51.8	28.6	2.3	12.5	4.9	—	82.7	43.9
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	52.6	25.8	2.2	14.4	5.0	—	80.6	43.0
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	45.7	30.3	2.9	14.7	6.3	—	79.0	41.7
	推薦入試	(n= 2,688)	50.0	30.9	2.8	11.2	5.2	—	83.6	43.8
	その他	(n= 216)	29.2	34.3	4.2	14.8	17.6	—	67.6	41.8
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	50.7	28.3	2.8	11.6	6.5	—	81.9	42.7
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	54.2	29.0	2.2	10.6	4.0	—	85.4	46.5
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	53.6	28.6	1.8	11.5	4.4	—	84.0	43.9
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	51.1	29.3	3.0	12.9	3.6	—	83.4	46.9
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	52.4	28.5	2.5	11.0	5.6	—	83.4	45.6
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	47.1	30.7	2.8	13.3	6.1	—	80.6	41.7

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q22_1_01

アルバイトの動機

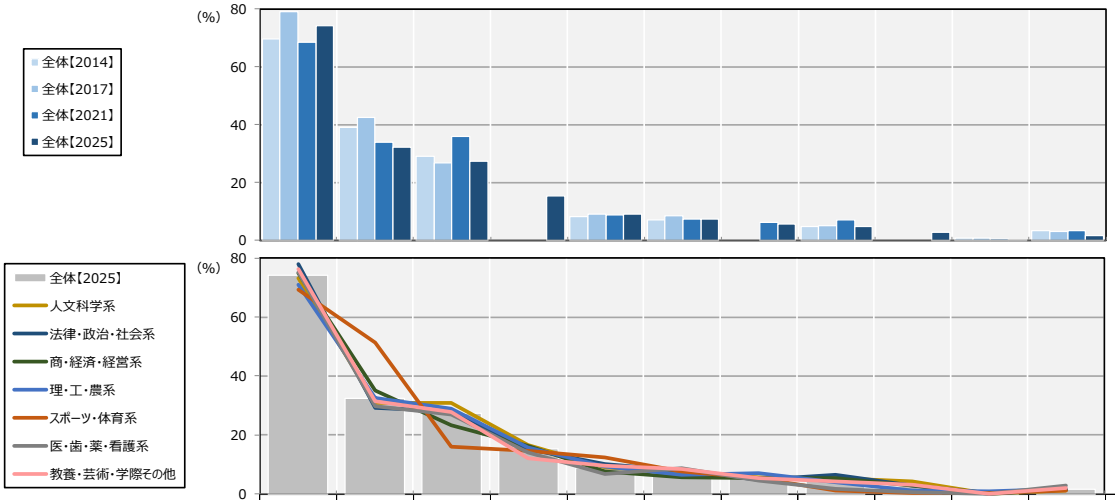
◆アルバイトの動機は、「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」が突出。前回からスコアも増加。

- アルバイトをする動機としては「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」が74.3%と突出して高く、前回からスコアが増加。次いで「主に学費や生活費などにあてる」（32.3%）、「社会勉強として」（27.5%）。

- 性別にみると、男性は「主に学費や生活費などにあてる」、女性は「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」が高い。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」は「主に学費や生活費などにあてる」の割合が高い。
- 経済状況別にみると、「経済状況に余裕がある」は「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」「社会勉強として」「貯蓄・資産運用にあてる」、「経済状況は苦しい」は「主に学費や生活費などにあてる」「大学での課外活動の費用にあてる」が高い。
- 奨学金受給状況別にみると、「国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている」は「主に学費や生活費などにあてる」が高い。

■アルバイトの動機（就労者・就労意向者／複数回答）

Q２３　アルバイトをする動機・理由は何ですか。（２つまで）



			遊び、旅行、趣味の活動などにあてる	主に学費や生活費などにあてる	社会勉強として	貯蓄・資産運用にあてる	大学での課外活動の費用にあてる	アルバイトをするのが楽しい	どうしても購入したいものがあるから	就職準備として	留学費用にあてる	友人などから頼まれた	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,117)	69.7	39.0	29.2	—	8.3	7.0	—	4.7	—	0.9	3.3	9.9
	全体【2017】	(n=11,541)	79.0	42.6	26.7	—	9.0	8.6	—	5.1	—	0.7	3.1	—
	全体【2021】	(n=18,982)	68.4	34.0	36.1	—	8.9	7.4	6.2	7.0	—	0.6	3.3	—
	全体【2025】	(n= 6,357)	74.3	32.3	27.5	15.3	9.0	7.3	5.6	4.7	2.7	0.3	1.7	—
全体【2025】		(n= 6,357)	74.3	32.3	27.5	15.3	9.0	7.3	5.6	4.7	2.7	0.3	1.7	—
性別	男性	(n= 2,518)	68.9	38.1	25.8	15.4	9.0	6.5	6.8	5.4	1.3	0.5	2.1	—
	女性	(n= 3,724)	78.4	28.5	28.6	15.2	9.1	7.8	4.7	4.1	3.7	0.2	1.3	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,560)	73.3	30.9	30.8	16.5	9.0	7.4	5.7	5.3	4.4	0.2	1.3	—
	法律・政治・社会系	(n= 994)	78.0	29.1	28.2	15.1	10.1	8.0	4.9	6.4	2.8	—	1.4	—
	商・経済・経営系	(n= 1,114)	74.8	35.2	23.2	16.4	7.7	5.7	5.4	5.4	3.0	0.4	1.5	—
	理・工・農系	(n= 1,069)	71.0	32.6	29.0	15.7	9.4	6.5	7.0	3.9	1.1	1.0	1.7	—
	スポーツ・体育系	(n= 224)	69.2	51.3	16.1	14.7	12.5	7.6	5.4	1.3	0.4	0.4	1.3	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 543)	75.1	29.8	27.1	14.2	6.8	8.7	4.6	1.8	0.6	0.2	2.9	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 853)	76.2	31.4	27.9	12.2	9.6	8.4	5.3	4.2	3.3	0.1	2.0	—
学年別	1年	(n= 1,893)	75.1	30.0	29.9	15.8	8.4	6.6	6.5	3.1	4.1	0.4	1.3	—
	2年	(n= 1,603)	73.2	31.4	26.7	17.3	10.0	6.4	6.9	4.4	3.5	0.1	1.7	—
	3年	(n= 1,319)	74.1	33.8	26.1	14.9	10.2	8.9	4.7	5.9	1.4	0.4	1.5	—
	4年	(n= 1,382)	75.9	34.6	26.5	13.2	8.0	7.8	3.9	5.9	1.4	0.4	1.9	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,559)	74.4	32.0	29.0	14.6	9.7	7.2	5.8	5.0	2.2	0.4	1.6	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 435)	72.2	31.7	31.7	15.6	10.6	8.7	5.3	3.2	3.4	0.2	1.1	—
	AO・自己推薦入試	(n= 637)	73.5	31.4	27.9	15.1	9.6	6.3	6.4	4.1	3.8	0.5	1.9	—
	推薦入試	(n= 2,548)	75.9	32.5	25.5	16.1	7.8	7.3	5.3	4.8	2.7	0.3	1.6	—
	その他	(n= 178)	57.9	39.3	22.5	14.6	11.2	9.0	5.1	2.8	5.6	—	2.8	—
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,283)	76.6	17.9	34.4	18.6	7.1	10.4	5.0	4.9	3.0	0.6	1.9	—
	経済状況は苦しい	(n= 1,699)	68.2	52.3	18.0	11.3	12.1	5.9	6.5	3.2	2.8	0.1	1.4	—
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 779)	71.8	38.9	26.1	13.2	10.1	6.8	5.3	4.4	2.7	0.4	1.5	—
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 477)	70.0	51.6	22.4	13.4	9.2	4.2	4.4	3.8	2.5	0.2	1.3	—
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 1,904)	69.8	44.1	22.8	13.6	10.5	7.0	4.7	4.5	2.7	0.3	1.5	—
	いずれも受けていない	(n= 3,197)	78.2	20.9	31.4	17.1	7.9	8.0	6.3	5.0	2.8	0.3	1.8	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10	：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5	：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5	：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※「留学費用にあてる」「貯蓄・資産運用にあてる」は2025年追加
「どうしても購入したいものがあるから」は2021年追加

※「主に学費や生活費などにあてる」「大学での課外活動の費用にあてる」「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」「社会勉強として」「就職準備として」「アルバイトをするのが楽しいから」は2021年文言変更。
2017年までは「主に生活費、学費などにあてる」「サークル活動にあてる」「ほしい物を購入したり、遊び、旅行、趣味などにあてる」「社会勉強」「就職準備」「アルバイトをするのが楽しい」だった。

Q23_01

3章：ライフ（大学生活）

- **平均的な１日の生活時間／メール･SNS･ゲームの使用時間**

  「キャンパス滞在時間」の平均は5.28時間で前回（3.01時間）から大きく増加。

- **現在の関心事**

  「大学の勉強」がトップ。「アルバイト」への興味は増加傾向が続く一方、「資格の取得」「就職活動」への興味は減少傾向が続く。

- **大学生活の中で大切なこと**

  「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」が前回に続きトップでスコアも増加。また、「専門知識・技術を習得すること」、「講義・ゼミ・研究会などにきちんと出席すること」は前回よりやや増加しており、きちんと勉強することを大切にしている傾向。

- **現在の心身の状況**

  自分の心身の状態を「良い」と感じているのは57.4%で、前回から大きく増加。

- **読書冊数（１か月）**

  １か月に本を「ほぼ読まない」が54.4%で前回から増加。

- **SNSトラブルの有無**

  SNSトラブルに巻き込まれた経験が「ある」は6.3%で前回から横ばい。

- **薬物使用への考え方**

  薬物について、90.1%は「どのような理由であれ、絶対に使うべきではない」と考えており、前回からやや増加。

コメント

キャンパス滞在時間の平均は5.28時間で、前回より2時間以上増加。

興味・関心事では「大学の勉強」がトップ。**大学生活で大切なこと**でも「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」がトップであり、比率も上昇。一方、学外活動や人間関係に関する項目（「よい友人・先輩を得ること」など）は、前回から引き続き減少しており、“明確なメリット”のみを求める者が増加。

心身の状況は前回から大きく良化し、「良い」が57.4%に。

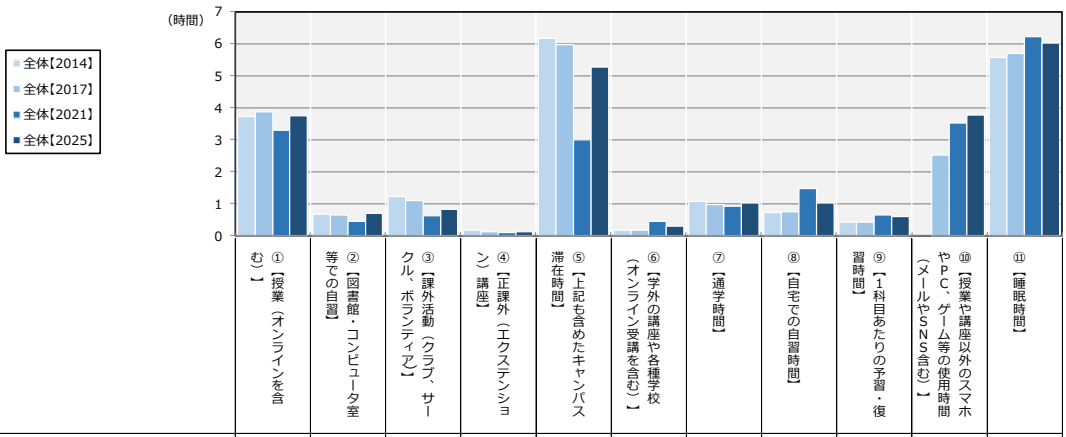
平均的な１日の生活時間／メール･SNS･ゲームの使用時間

◆「キャンパス滞在時間」の平均は5.28時間で前回（3.01時間）から大きく増加。

- 全体では、「キャンパス滞在時間」が前回から大きく増加。また、「授業（オンラインを含む）」「授業や講座以外のスマホやPC、ゲーム等の使用時間（メール･SNS含む）」など、前回からは微増している項目が多い。一方、「自宅での自習時間」「睡眠時間」はやや減少。

- 学部系統別にみると、「スポーツ･体育系」は「課外活動（クラブ、サークル、ボランティア）」、「医･歯･薬･看護系」は「授業（オンラインを含む）」「キャンパスの滞在時間」が他の学部系統に比べて長い。

■生活時間概算平均（時間）（全体／単一回答から概算平均）



			①【授業（オンラインを含む）】	②【図書館・コンピュータ室等での自習】	③【課外活動（クラブ、サークル、ボランティア）】	④【正課外（エクステンション）講座】	⑤【上記も含めたキャンパス滞在時間】	⑥【学外の講座や各種学校（オンライン受講を含む）】	⑦【通学時間】	⑧【自宅での自習時間】	⑨【1科目あたりの予習・復習時間】	⑩【授業や講座以外のスマホやPC、ゲーム等の使用時間（メールやSNS含む）】	⑪【睡眠時間】
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	3.71	0.67	1.23	0.17	6.16	0.17	1.07	0.72	0.42	—	5.56
	全体【2017】	(n=12,369)	3.88	0.64	1.09	0.12	5.96	0.18	0.98	0.76	0.43	2.52	5.70
	全体【2021】	(n=20,205)	3.29	0.46	0.61	0.10	3.01	0.46	0.91	1.48	0.65	3.52	6.23
	全体【2025】	(n= 6,732)	3.74	0.69	0.83	0.12	5.28	0.29	1.02	1.03	0.59	3.76	6.03
全体【2025】		(n= 6,732)	3.74	0.69	0.83	0.12	5.28	0.29	1.02	1.03	0.59	3.76	6.03
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	3.63	0.74	0.81	0.10	5.14	0.23	1.05	1.03	0.60	3.92	6.05
	法律･政治･社会系	(n= 1,029)	3.53	0.66	0.80	0.12	4.92	0.36	1.06	1.03	0.56	3.91	6.08
	商･経済･経営系	(n= 1,168)	3.36	0.61	0.88	0.17	4.67	0.38	0.95	0.84	0.51	3.87	6.10
	理･工･農系	(n= 1,131)	3.74	0.77	0.74	0.12	5.77	0.24	1.15	1.16	0.69	3.58	6.05
	スポーツ･体育系	(n= 242)	3.60	0.23	2.06	0.11	5.73	0.26	0.66	0.46	0.36	3.51	6.26
	医･歯･薬･看護系	(n= 616)	4.91	0.91	0.65	0.07	6.37	0.24	0.90	1.27	0.72	3.12	5.84
	教養･芸術･学際その他	(n= 915)	3.89	0.59	0.76	0.14	5.24	0.27	1.00	1.11	0.58	3.89	5.93

※【授業や講座以外のスマホやPC、ゲーム等の使用時間（メールやSNS含む）】は2021年文言変更、2017年に【メール･SNS･ゲームの使用時間】として追加

Q24_01_1

現在の関心事

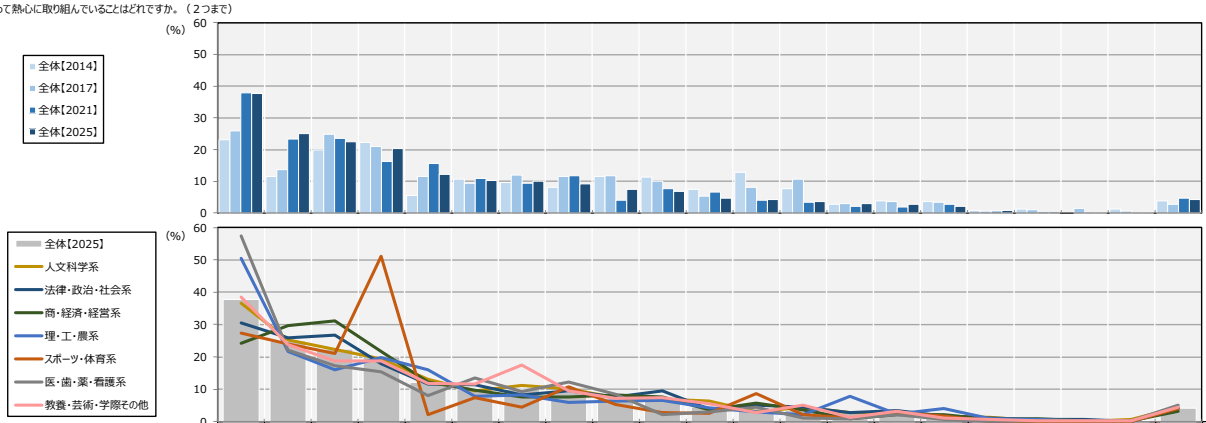
◆「大学の勉強」がトップ。「アルバイト」への興味は増加傾向が続く一方、「資格の取得」「就職活動」への興味は減少傾向が続く。

- 全体では「大学の勉強」（37.7%）が前回と同水準で最も高い。「アルバイト」（25.0%）、「資格の取得」（22.5%）、「クラブ・サークルの活動」（20.3%）が2割台で続く。
- 「アルバイト」の増加傾向が続くほか、「クラブ・サークルの活動」「旅行」といった外での活動も前回からスコアが増加。一方、「資格の取得」「就職活動」は減少傾向。
- 「パソコン・インターネット・SNS・ゲーム」は前回からスコアがやや減少。

- 性別にみると、女性は「アルバイト」「音楽・美術・演劇」「美容・健康・ファッション」が男性よりも高い。
- 学部系統別にみると、理系（「理・工・農系」「医・歯・薬・看護系」）の「大学の勉強」が高く、「スポーツ・体育系」の「クラブ・サークルの活動」が他の学部系統に比べて高い。また、「商・経済・経営」は「資格の取得」が他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「3年」で「就職活動」が顕著に高い。

■現在の関心事（全体／複数回答）

Q２５　現在、興味や関心を持って熱心に取り組んでいることはどれですか。（２つまで）



			大学の勉強	アルバイト	資格の取得	クラブ・サークルの活動	パソコン・インターネット・SNS・ゲーム	友人との交際	音楽・美術・演劇	美容・健康・ファッション	旅行	就職活動	読書	スポーツの観戦やその応援	留学	大学院進学	ボランティア活動	車・オートバイ	自治会・学友会等学生団体の活動	起業	政治活動	宗教活動	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	23.1	11.5	19.8	22.2	5.6	10.8	9.7	8.1	11.6	11.3	7.5	12.8	7.6	2.8	3.9	3.6	0.8	1.3	—	1.2	3.8	6.7
	全体【2017】	(n=12,369)	26.0	13.8	24.8	21.0	11.5	9.5	11.9	11.5	11.8	10.0	5.3	8.1	10.8	3.0	3.7	3.5	0.6	1.0	1.4	0.6	2.7	—
	全体【2021】	(n=20,205)	38.0	23.4	23.6	16.2	15.6	10.9	9.5	11.8	4.0	7.6	6.6	4.1	3.4	2.2	2.0	2.7	0.6	0.5	0.2	0.3	4.7	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	37.7	25.0	22.5	20.3	12.2	10.2	10.1	9.1	7.4	6.9	4.6	4.2	3.6	2.9	2.7	2.1	0.9	0.5	0.3	0.3	4.2	—
全体【2025】		(n= 6,732)	37.7	25.0	22.5	20.3	12.2	10.2	10.1	9.1	7.4	6.9	4.6	4.2	3.6	2.9	2.7	2.1	0.9	0.5	0.3	0.3	4.2	—
性別	男性	(n= 2,707)	39.9	22.9	22.3	21.8	14.9	8.8	6.9	3.3	6.6	7.5	4.8	6.5	2.8	4.0	2.2	3.9	0.7	1.0	0.4	0.4	4.6	—
	女性	(n= 3,893)	36.0	27.0	22.8	19.4	10.1	11.3	12.3	13.2	8.1	6.5	4.5	2.5	4.3	2.1	3.1	0.7	1.0	0.2	0.2	0.1	3.7	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	36.7	25.3	22.4	19.3	13.1	9.6	11.3	10.2	7.4	6.9	6.4	3.1	4.5	2.7	2.9	1.8	1.3	0.2	0.1	0.6	4.4	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	30.5	26.0	26.8	17.9	11.7	11.5	8.3	9.5	7.7	9.6	3.9	5.2	4.5	2.9	3.4	1.8	1.2	0.6	0.7	0.1	4.1	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	24.2	29.6	31.2	21.7	12.3	9.8	7.7	7.7	8.3	7.6	3.7	5.7	3.6	0.9	2.2	2.1	0.8	0.9	0.3	0.2	3.2	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	50.5	21.8	16.0	19.9	16.0	7.9	8.2	5.9	6.4	6.5	4.2	3.0	2.1	7.9	2.4	4.0	1.0	0.6	0.3	0.1	4.2	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	27.3	24.0	21.1	51.2	2.1	7.4	4.5	10.7	5.4	2.9	2.5	8.7	2.1	1.2	2.9	1.7	—	—	—	—	4.1	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	57.5	22.1	17.2	15.3	8.1	13.5	9.3	12.3	8.4	2.1	3.1	4.5	1.1	1.0	2.1	0.8	—	0.3	0.2	0.2	5.2	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	38.6	23.9	18.8	18.7	11.8	11.6	17.6	9.6	7.2	7.5	5.6	2.8	5.1	1.4	3.2	1.2	0.7	0.3	0.3	0.2	4.4	—
学年別	1年	(n= 2,000)	39.4	25.0	20.4	26.0	13.5	10.0	9.7	11.4	5.7	0.6	5.2	4.0	4.6	0.7	2.6	2.2	0.7	0.6	0.5	0.3	4.4	—
	2年	(n= 1,689)	38.8	25.4	24.6	23.5	12.6	9.6	10.4	8.2	7.3	2.7	4.1	5.3	5.4	1.2	2.5	2.3	0.6	0.2	0.1	0.4	3.6	—
	3年	(n= 1,388)	36.5	24.8	20.6	19.1	12.5	8.6	10.1	7.2	6.0	20.5	3.4	2.7	2.4	3.5	3.2	1.9	1.3	0.6	0.2	0.2	4.0	—
	4年	(n= 1,465)	33.0	26.4	24.8	11.6	10.1	12.6	10.6	9.2	11.3	7.2	5.4	4.6	1.6	7.2	2.9	1.9	1.2	0.5	0.3	0.1	4.4	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	39.3	24.3	23.1	19.0	12.6	9.6	9.5	7.4	7.7	7.2	5.7	4.0	3.7	3.5	2.7	1.7	1.0	0.6	0.3	0.1	4.7	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	39.5	22.5	23.6	22.3	14.8	9.0	13.5	6.6	4.8	7.9	4.4	2.8	3.3	3.9	2.6	2.2	1.1	0.7	0.4	—	3.3	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	36.3	24.1	20.1	18.8	11.5	9.6	13.5	11.6	6.9	7.9	5.0	3.1	4.1	2.5	2.8	2.8	0.9	0.3	0.6	0.4	4.0	—
	推薦入試	(n= 2,688)	35.0	27.2	22.7	22.4	11.9	11.2	9.3	10.8	7.4	5.9	3.6	4.8	3.3	1.9	2.9	2.0	0.7	0.2	0.2	0.3	3.8	—
	その他	(n= 216)	52.8	15.7	19.0	9.7	6.5	10.2	10.6	6.0	12.0	10.2	2.8	3.7	6.0	7.9	1.9	3.7	1.4	2.8	—	1.4	4.2	—
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	37.4	23.9	23.2	20.1	11.3	9.8	10.0	8.7	9.0	7.0	5.2	4.2	4.5	3.0	2.4	1.9	1.0	0.4	0.4	0.2	4.3	—
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	36.9	26.2	21.4	21.9	12.4	11.2	9.8	9.4	5.9	7.5	3.9	4.0	3.8	3.2	3.2	2.1	1.0	0.7	0.2	0.3	3.2	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※「クラブ・サークルの活動」は2021年文言変更、2017年まで「クラブ・サークル活動」
「パソコン・インターネット・SNS・ゲーム」は2017年文言変更、2014年まで「パソコン・インターネット」
「自治会・学友会等学生団体の活動」は2021年文言変更「自治会・学友会活動」は2017年文言変更、2014年まで「自治会活動」
「スポーツの観戦やその応援」は2021年文言変更、2017年までは「スポーツ」／「政治活動」は2021年文言変更、2017年に追加した際は「政治」

Q25.01

大学生活の中で大切なこと

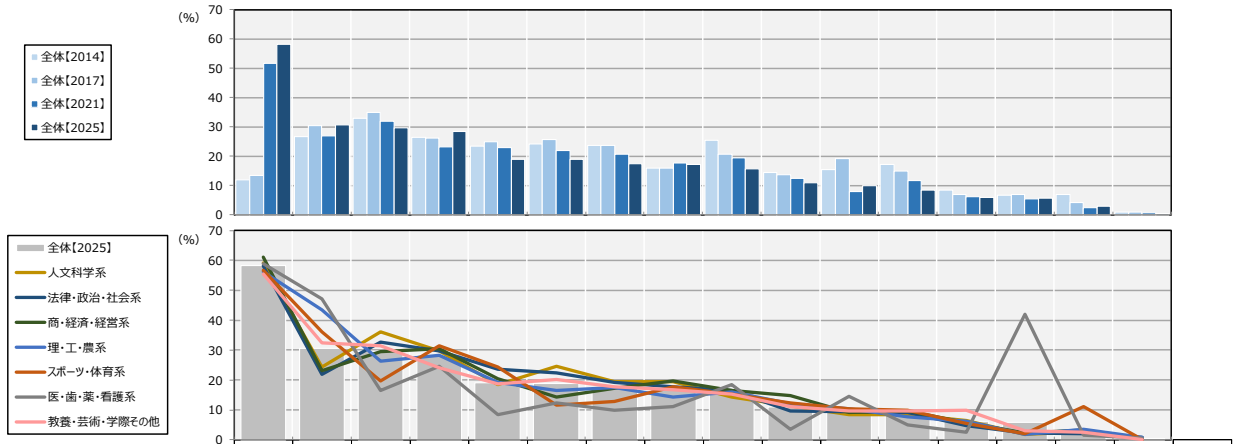
◆「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」が前回に続きトップでスコアも増加。また、「専門知識・技術を習得すること」「講義・ゼミ・研究会などにきちんと出席すること」は前回よりやや増加しており、勉強を大切にしている傾向。

- 全体では、「必要な単位を修得し、進級・卒業すること」が58.2%で突出。以下、「専門的知識・技術を習得すること」「経験を豊富にし、見聞を広めること」「講義・ゼミ・研究会などにきちんと出席すること」が3割前後で続く。
- 「経験を豊富にし、見聞を広めること」「将来の進路を見出すこと」「教養を深めること」「考える力を養うこと」「よい友人・先輩を得ること」「人脈をつくること」は減少傾向が続いている。

- 性別にみると、女性は「経験を豊富にし、見聞を広めること」が男性よりも高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」では「経験を豊富にし、見聞を広めること」「教養を深めること」が他の学部系統に比べて高め。理系（「理・工・農系」「医・歯・薬・看護系」）、「スポーツ・体育系」では「専門的知識・技術を習得すること」が突出して高い。「医・歯・薬・看護系」では「国家試験に合格すること」も同様に突出している。
- 学年別にみると、1・2年で「将来の進路を見出すこと」、3・4年で「経験を豊富にし、見聞を広めること」、4年で「自由な時間を楽しむこと」が他の学年に比べて高い。

■大学生活の中で大切なこと（全体／複数回答）

Q２６　大学生活の中で大切だと思っていることは何ですか。（３つまで）



			必要な単位を取得し、進級・卒業すること	専門的知識・技術を習得すること	経験を豊富にし、見聞を広めること	講義・ゼミ・研究会などにきちんと出席すること	将来の進路を見出すこと	教養を深めること	考える力を養うこと	自由な時間を楽しむこと	よい友人・先輩を得ること	自分に合った就職先を見つけること	良い成績をとること	人脈をつくること	趣味を生かし、才能を伸ばすこと	国家試験に合格すること	クラブ・サークル活動で活躍すること	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	12.1	26.7	32.9	26.4	23.5	24.3	23.8	15.9	25.4	14.6	15.5	17.3	8.5	6.7	7.1	1.0	1.0
	全体【2017】	(n=12,369)	13.6	30.4	34.9	26.2	25.0	25.6	23.6	16.0	20.6	13.8	19.2	14.9	7.0	7.0	4.3	0.9	—
	全体【2021】	(n=20,205)	51.8	26.9	32.0	23.2	23.0	21.9	20.7	17.7	19.5	12.6	8.1	11.8	6.2	5.5	2.5	0.7	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	58.2	30.6	29.7	28.4	19.0	18.9	17.4	17.1	15.8	11.1	9.9	8.5	6.1	5.8	3.1	0.5	—
全体【2025】		(n= 6,732)	58.2	30.6	29.7	28.4	19.0	18.9	17.4	17.1	15.8	11.1	9.9	8.5	6.1	5.8	3.1	0.5	—
性別	男性	(n= 2,707)	56.7	33.3	25.0	29.0	18.6	17.4	18.3	17.1	16.8	10.5	10.4	10.4	7.1	3.4	4.0	0.7	—
	女性	(n= 3,893)	59.4	28.6	33.2	27.8	19.4	19.9	16.7	17.3	15.2	11.6	9.5	7.3	5.4	7.4	2.4	0.4	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	59.2	24.3	36.1	29.7	18.4	24.5	19.5	19.4	14.2	11.3	8.5	8.3	6.5	1.7	2.8	0.6	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	58.2	21.9	32.7	29.8	23.5	22.4	19.2	17.7	16.5	9.6	9.5	9.1	4.7	2.2	2.1	0.7	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	61.0	23.1	29.5	30.4	20.4	14.4	17.2	19.6	16.6	14.9	9.2	9.7	5.6	2.4	3.2	0.3	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	56.2	43.4	26.2	28.3	19.3	16.4	17.5	14.4	15.9	12.2	10.3	7.8	6.2	1.9	3.5	0.7	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	56.6	36.0	19.8	31.4	24.4	11.6	12.8	17.8	15.3	12.4	10.3	9.9	5.4	2.1	11.2	—	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	58.9	47.2	16.4	24.5	8.4	12.3	9.9	11.0	18.5	3.6	14.6	5.0	2.6	41.9	1.6	0.5	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	55.4	32.5	31.5	24.2	18.6	20.1	17.7	16.7	15.3	11.1	9.6	9.7	9.9	3.1	2.6	0.2	—
学年別	1年	(n= 2,000)	61.8	31.0	27.5	26.7	22.6	17.8	14.8	13.9	15.5	10.3	13.6	9.6	6.6	5.1	2.7	0.7	—
	2年	(n= 1,689)	61.9	31.7	27.8	28.1	21.2	18.4	14.9	15.5	13.4	12.7	11.7	7.7	6.2	5.9	2.9	0.5	—
	3年	(n= 1,388)	56.3	30.5	32.1	29.7	17.5	18.4	19.3	18.2	16.5	13.4	8.4	6.8	5.5	5.0	3.5	0.5	—
	4年	(n= 1,465)	51.9	27.6	33.7	30.3	14.3	21.6	21.6	22.9	18.2	9.4	4.5	9.8	5.8	5.0	3.4	0.2	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	55.9	30.9	32.3	26.7	18.3	22.8	17.7	17.7	15.8	9.8	9.1	8.8	5.6	6.2	2.5	0.6	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	59.2	28.6	31.9	28.4	19.0	21.0	17.9	17.0	13.8	9.8	11.8	9.4	7.2	3.5	3.1	0.7	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	59.1	34.0	28.1	26.8	19.7	16.8	19.0	15.0	16.6	13.4	7.4	7.8	6.9	4.9	2.9	0.3	—
	推薦入試	(n= 2,688)	60.8	29.1	27.5	30.5	19.7	15.3	16.3	17.4	16.2	12.3	10.5	8.1	6.0	5.8	3.6	0.4	—
	その他	(n= 216)	50.5	38.4	25.9	29.6	16.7	16.7	20.4	13.4	13.4	8.3	15.3	10.6	8.3	8.8	3.2	1.4	—
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	56.6	31.6	30.6	28.1	18.4	20.5	17.8	18.3	16.6	10.9	9.4	7.6	5.8	5.1	3.0	0.5	—
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	59.9	29.2	28.7	26.3	18.7	17.2	16.3	16.4	15.5	11.6	10.7	10.9	7.2	6.4	3.8	0.5	—
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	50.3	34.3	32.9	32.3	18.1	21.1	20.0	16.0	14.5	9.5	15.4	8.5	4.5	5.9	2.0	0.3	—
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	60.7	29.6	30.9	27.2	19.5	18.2	16.5	18.2	16.6	11.4	7.6	8.0	6.7	5.1	3.7	0.3	—
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	64.8	27.0	21.8	25.3	19.3	17.0	15.3	16.6	16.3	13.2	6.7	10.0	7.1	7.4	3.2	1.1	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」は2021年文言変更、2017年までは「進級・卒業すること」
「自分に合った就職先を見つけること」は2021年文言変更、2017年までは「よい就職先を見つけること」
「良い成績をとること」は2021年文言変更、2017年までは「よい成績をとること」

Q26_01

現在の心身の状況

◆自分の心身の状態を「良い」と感じているのは57.4%で、前回から大きく増加。

- 全体では、57.4%が自分の心身の状態を「良い」と感じている。「悪い」は14.8%で前回から減少。

- 性別にみると、男性は「良い」の割合が女性よりも高め。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」は「良い」のスコアが6割を超えて他の学部系統に比べて高め。
- 学年別にみると、学年が上がるほど「良い」のスコアが高い傾向。
- 経済状況別にみると、「経済状況は余裕がある」では67.5%が「良い」と感じている一方、「経済状況は苦しい」では「良い」は48.4%と低い。

■現在の心身の状況（全体／単一回答）

Q２７　大学生になってからの自分の心身の状態をどう感じていますか。（１つだけ）

			良い	悪い	変わらない
		●凡例			
全体 時系列	全体【2021】	(n=20,205)	48.6	19.9	31.6
	全体【2025】	(n= 6,732)	57.4	14.8	27.9
全体【2025】		(n= 6,732)	57.4	14.8	27.9
性別	男性	(n= 2,707)	60.2	13.9	25.9
	女性	(n= 3,893)	56.0	15.0	29.0
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	58.0	15.6	26.4
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	57.7	14.1	28.2
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	57.8	12.8	29.5
	理・工・農系	(n= 1,131)	56.5	16.4	27.1
	スポーツ・体育系	(n= 242)	60.3	10.7	28.9
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	56.3	13.6	30.0
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	56.2	16.4	27.4
学年別	1年	(n= 2,000)	50.9	16.2	33.0
	2年	(n= 1,689)	54.6	14.7	30.6
	3年	(n= 1,388)	62.2	14.6	23.1
	4年	(n= 1,465)	64.6	12.1	23.3
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	58.9	14.3	26.8
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	55.0	15.3	29.7
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	54.6	15.6	29.9
	推薦入試	(n= 2,688)	57.4	14.7	27.9
	その他	(n= 216)	51.9	17.1	31.0
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	67.5	11.2	21.3
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	48.4	22.9	28.7

※2025年質問文変更、2021年は「あなたは、大学生になってからの自分の心身の状態をどう感じていますか。」

Q27_01

読書冊数（１か月）

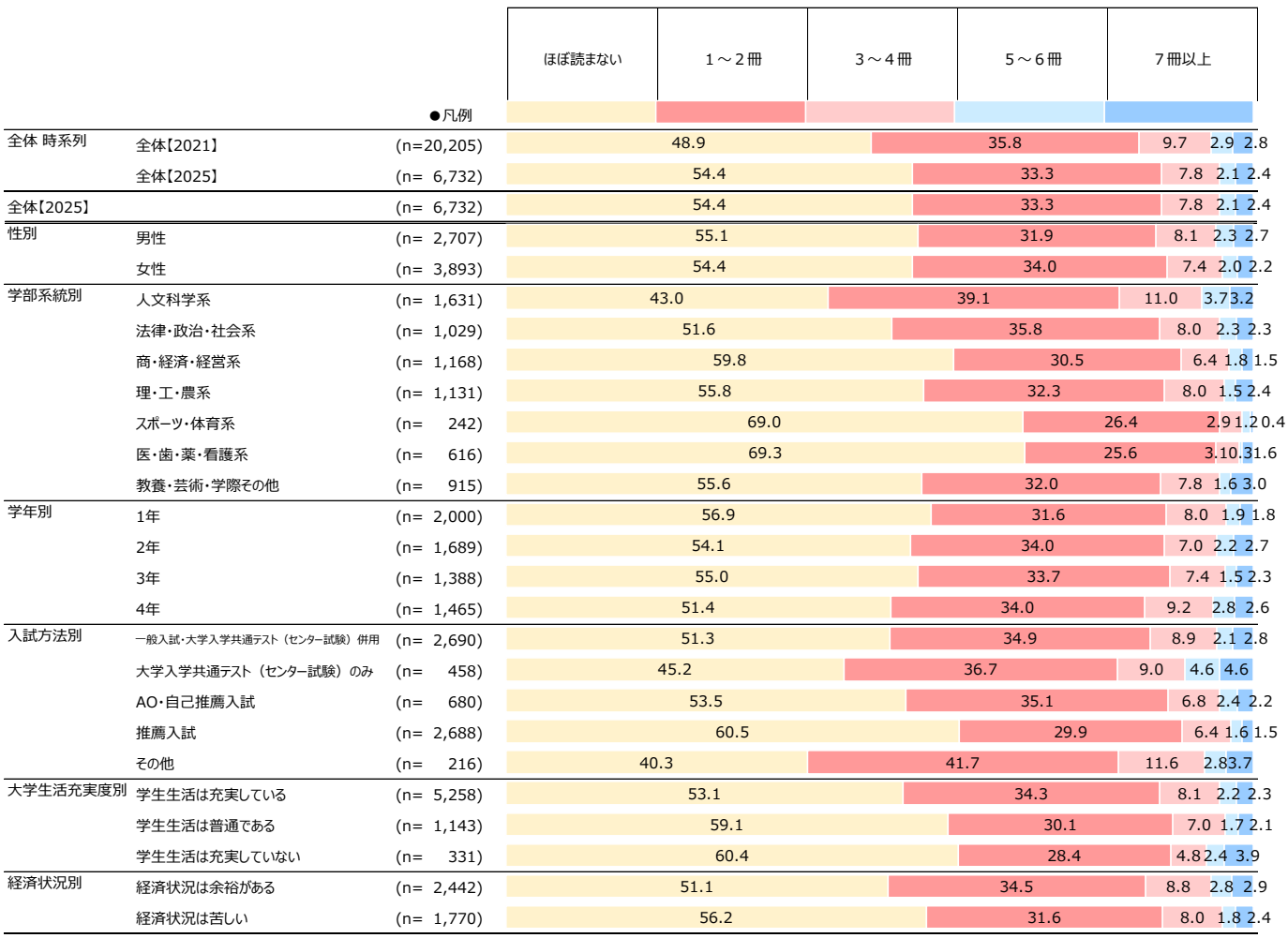
◆ １か月に本を「ほぼ読まない」が54.4%で前回から増加。

- 全体では、１か月に本を「ほぼ読まない」が54.4%。「１～２冊」が33.3%。『３冊以上』は12.3%にとどまる。

- 学部系統別にみると、「ほぼ読まない」が他の層に比べて低いのは「人文科学系」で唯一4割台。反対に高いのは「スポーツ・体育系」と「医・歯・薬・看護系」で約7割に及ぶ。
- 学年別にみると、「4年」の読んでいる冊数がやや多い。
- 入試方法別にみると、「大学入学共通テスト（センター試験）のみ」の読んでいる冊数が多い一方、「推薦入試」は「ほぼ読まない」が60.5%で他の入試方法に比べて高い。
- 大学生活充実度別にみると、充実度が低くなるほど「ほぼ読まない」割合が高くなる傾向。
- 経済状況別にみると、「ほぼ読まない」割合は「経済状況は苦しい」の方がやや高い。

■読書冊数（１か月）（全体／単一回答）

Ｑ２８　１か月に何冊くらいの本（電子書籍を含む。雑誌、漫画は除く）を読みますか。（１つだけ）



			ほぼ読まない	１～２冊	３～４冊	５～６冊	７冊以上
全体 時系列	全体【2021】	(n=20,205)	48.9	35.8	9.7	2.9	2.8
	全体【2025】	(n= 6,732)	54.4	33.3	7.8	2.1	2.4
全体【2025】		(n= 6,732)	54.4	33.3	7.8	2.1	2.4
性別	男性	(n= 2,707)	55.1	31.9	8.1	2.3	2.7
	女性	(n= 3,893)	54.4	34.0	7.4	2.0	2.2
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	43.0	39.1	11.0	3.7	3.2
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	51.6	35.8	8.0	2.3	2.3
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	59.8	30.5	6.4	1.8	1.5
	理・工・農系	(n= 1,131)	55.8	32.3	8.0	1.5	2.4
	スポーツ・体育系	(n= 242)	69.0	26.4	2.9	1.2	0.4
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	69.3	25.6	3.1	0.3	1.6
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	55.6	32.0	7.8	1.6	3.0
学年別	1年	(n= 2,000)	56.9	31.6	8.0	1.9	1.8
	2年	(n= 1,689)	54.1	34.0	7.0	2.2	2.7
	3年	(n= 1,388)	55.0	33.7	7.4	1.5	2.3
	4年	(n= 1,465)	51.4	34.0	9.2	2.8	2.6
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	51.3	34.9	8.9	2.1	2.8
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	45.2	36.7	9.0	4.6	4.6
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	53.5	35.1	6.8	2.4	2.2
	推薦入試	(n= 2,688)	60.5	29.9	6.4	1.6	1.5
	その他	(n= 216)	40.3	41.7	11.6	2.8	3.7
大学生活充実度別	学生生活は充実している	(n= 5,258)	53.1	34.3	8.1	2.2	2.3
	学生生活は普通である	(n= 1,143)	59.1	30.1	7.0	1.7	2.1
	学生生活は充実していない	(n= 331)	60.4	28.4	4.8	2.4	3.9
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	51.1	34.5	8.8	2.8	2.9
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	56.2	31.6	8.0	1.8	2.4

Q28_01

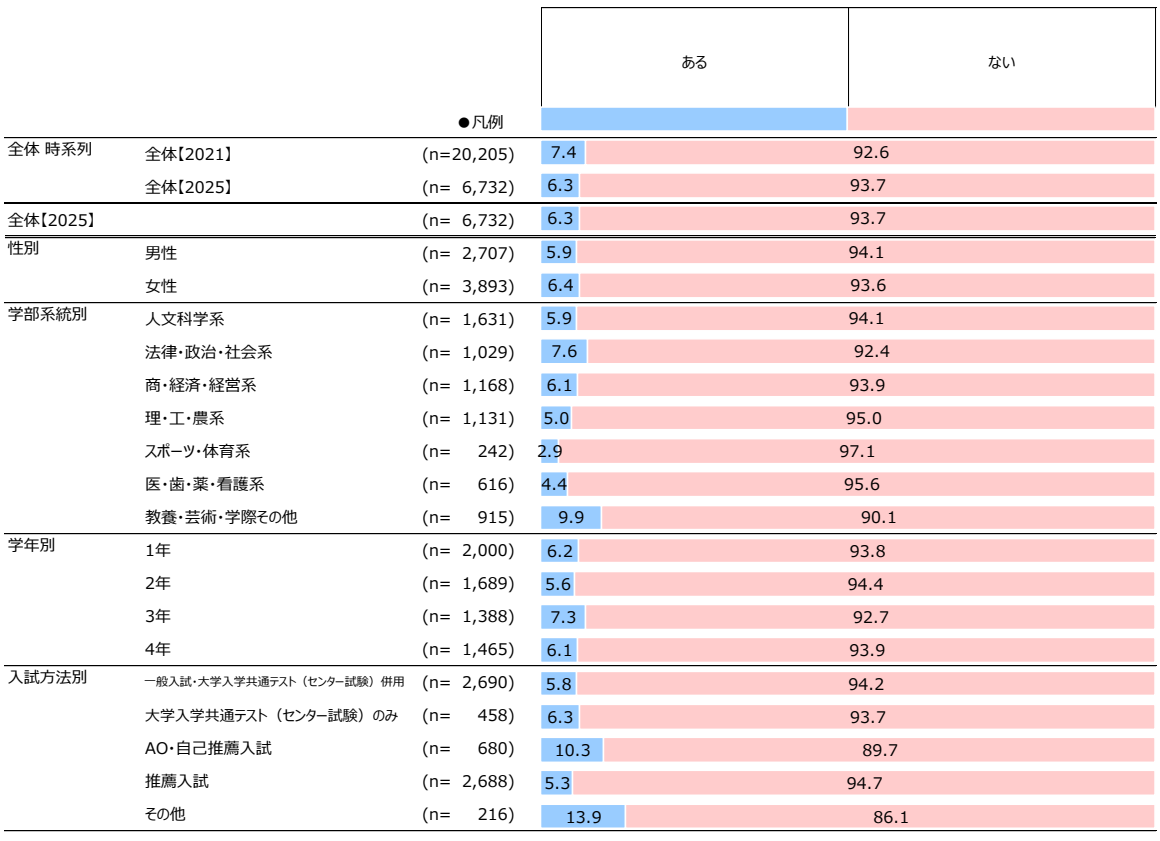
ＳＮＳトラブルの有無

◆SNSトラブルに巻き込まれた経験が「ある」は6.3%。

- 全体では、SNSトラブルに巻き込まれた経験が「ある」が6.3%。前回から横ばい。
- 属性による大きな差はみられない。

■ＳＮＳトラブルの有無（全体／単一回答）

Ｑ２９　ＳＮＳでトラブルに巻き込まれたことはありますか。（１つだけ）



Q29_01

薬物使用への考え方

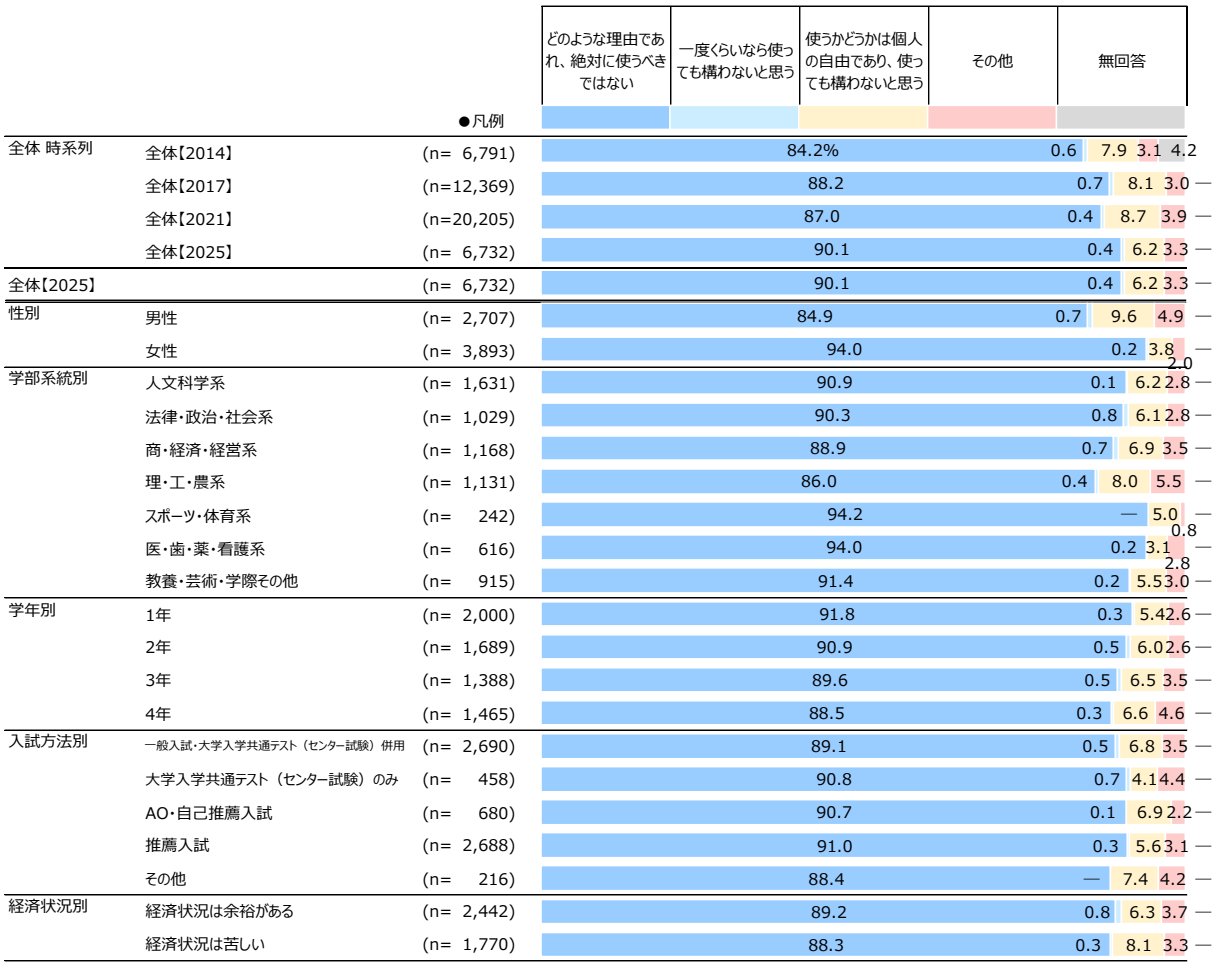
◆薬物について、90.1%は「どのような理由であれ、絶対に使うべきではない」と考えている。

- 全体では、薬物使用について「どのような理由であれ、絶対に使うべきではない」が90.1%を占める。前回の87.0%からやや増加。ゆるやかな増加傾向が続いていた「使うかどうかは個人の自由であり、使っても構わないと思う」という自己責任での使用容認派は、今回やや減少。

- 性別にみると、男性の方が女性よりも「使うかどうかは個人の自由であり、使っても構わないと思う」の割合が高い（男性9.6%、女性3.8%）。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」は「どのような理由であれ、絶対に使うべきではない」が他の学部系統に比べてやや高い。
- 学年別にみると、学年が上がるほど「どのような理由であれ、絶対に使うべきではない」のスコアが下がる傾向。

■薬物使用への考え方（全体／単一回答）

Ｑ３０　薬物（大麻など）の使用について、どのように考えていますか。（１つだけ）



Q30_01

４章：正課教育

- **【教授陣】満足度**
  【教授陣】の満足度は84.0%で前回から増加。
- **【カリキュラムの構成】満足度**
  【カリキュラムの構成】の満足度は78.2%で前回から増加傾向が続く。
- **【授業の内容】満足度**
  【授業の内容】の満足度は84.0%で前回から増加。
- **【ゼミなどの少人数教育】満足度**
  【ゼミなどの少人数教育】の満足度は67.7%で前回から横ばい。
- **【大学の施設・設備】満足度**
  【大学の施設・設備】の満足度は78.8%で前回から増加。
- **【授業等、正課教育全体】満足度**
  【授業等、正課教育全体】の満足度は83.5%で前回から増加。

- **履修登録時の重視項目**
  「専門的な知識が身につく」がトップ。前回からわずかにスコアが増加。
- **講義内容理解の難しさ**
  講義内容の理解に64.2%が「困難を感じたことがある」。前回からはスコアが低下。
- **講義内容が難しい理由**
  講義内容が難しい理由は「高校ではほとんど学ばなかった内容だったから」が56.7%でトップ。ただし前回から横ばい。
- **成績自己評価**
  自分の成績について、「中位だと思う」が48.4%、「上位だと思う」は27.2%。「上位だと思う」が前回から増加。

コメント

正課教育の満足度は、前回に引き続き大幅増。約8割が「満足」と回答。「教授陣」、「カリキュラムの構成」、「授業の内容」など、「ゼミなどの少人数教育」以外は着実に上昇している。

講義内容理解の難しさでは、64.2%が「困難を感じたことがある」と回答しているが、前回からは比率は低下している。

【教授陣】満足度

◆【教授陣】の満足度は84.0%で前回から増加。

- 「満足」＋「やや満足」の割合でみたとき、【教授陣】は84.0%で前回より増加。特に「満足」は約8ポイント増。

- 学部系統別にみると、「人文科学系」の「満足」の割合が他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「4年」の「満足」のスコアが4割を超えて高い。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」学生の「満足」のスコアは「自分の事を何でも話せる友人がいない」学生のスコアを約8ポイント上回る。

■【教授陣】満足度（全体／単一回答）

Q３１__① 【教授陣】について、満足度を教えてください。（１つだけ）

			満足	やや満足	やや不満	不満	関心がない・わからない	無回答	「満足」＋「まあ満足」
		●凡例							
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	11.0%	47.9	6.9	1.6	32.0	0.6	58.9
	全体【2017】	(n=12,369)	10.5	44.6	7.3	2.4	35.2	—	55.1
	全体【2021】	(n=20,205)	23.7	53.2	12.4	3.1	7.7	—	76.9
	全体【2025】	(n= 6,732)	31.9	52.1	9.1	2.0	4.9	—	84.0
全体【2025】		(n= 6,732)	31.9	52.1	9.1	2.0	4.9	—	84.0
性別	男性	(n= 2,707)	31.5	51.1	9.3	2.5	5.5	—	82.6
	女性	(n= 3,893)	32.3	53.1	8.9	1.5	4.2	—	85.4
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	38.3	49.3	6.8	1.5	4.1	—	87.6
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	31.1	54.6	7.2	1.4	5.7	—	85.7
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	25.3	55.1	10.7	3.1	5.9	—	80.3
	理・工・農系	(n= 1,131)	30.2	51.8	10.2	2.5	5.3	—	82.1
	スポーツ・体育系	(n= 242)	29.3	54.5	9.5	0.4	6.2	—	83.9
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	30.5	52.6	11.0	1.6	4.2	—	83.1
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	33.7	49.9	10.4	2.2	3.8	—	83.6
学年別	1年	(n= 2,000)	28.1	55.3	8.8	2.0	5.8	—	83.4
	2年	(n= 1,689)	27.1	54.3	11.6	1.8	5.2	—	81.3
	3年	(n= 1,388)	33.9	51.7	8.1	1.7	4.5	—	85.7
	4年	(n= 1,465)	40.8	46.1	7.3	2.0	3.8	—	86.9
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	32.7	51.4	9.0	1.9	5.0	—	84.1
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	27.7	58.1	8.7	2.0	3.5	—	85.8
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	32.5	50.1	9.6	2.1	5.7	—	82.6
	推薦入試	(n= 2,688)	30.7	52.9	9.4	2.0	5.0	—	83.6
	その他	(n= 216)	45.4	44.4	4.6	1.9	3.7	—	89.8
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	28.1	56.7	8.3	2.0	4.9	—	84.8
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	33.7	52.3	7.7	1.8	4.4	—	86.1
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	31.1	50.8	11.0	1.8	5.3	—	81.9
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	33.1	51.7	8.3	2.1	4.8	—	84.8
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	33.5	51.9	8.7	1.8	4.2	—	85.4
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	25.7	52.9	10.7	2.9	7.9	—	78.6

※2017年までの選択肢は「大変満足」「満足」「不満」「大変不満」「どちらともいえない」であった。
経年比較に際しては、今回調査の「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「関心がない・わからない」の順に対応させている。

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q31_1_01

【カリキュラムの構成】満足度

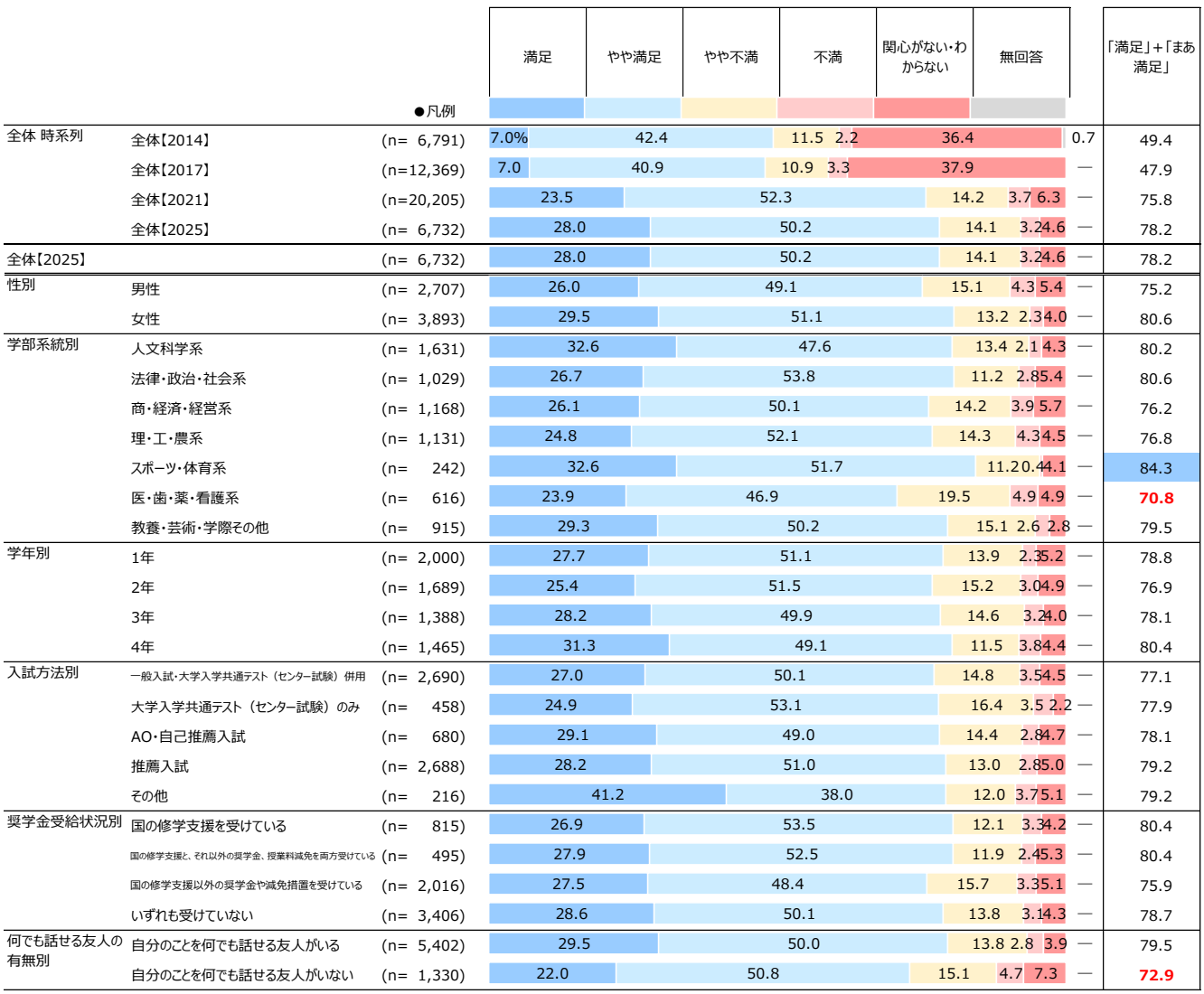
◆【カリキュラムの構成】の満足度は78.2%で前回から増加傾向が続く。

- 「満足」+「やや満足」の割合でみたとき、【カリキュラムの構成】は78.2%で増加傾向が続く。特に「満足」は前回から約5ポイント増。

- 性別にみると、「満足」+「やや満足」の割合は男性（75.2%）よりも女性（80.6%）の方が高い。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」が最も満足度が高い。一方、「医・歯・薬・看護系」は「満足」+「やや満足」のスコアが70.8%で他の学部系統を下回る。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」学生の「満足」+「やや満足」のスコアは「自分の事を何でも話せる友人がいない」学生のスコアを約7ポイント上回る。

■【カリキュラムの構成】満足度（全体／単一回答）

Q３１__② 【カリキュラムの構成】について、満足度を教えてください。（１つだけ）



			満足	やや満足	やや不満	不満	関心がない・わからない	無回答	「満足」+「まあ満足」
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	7.0%	42.4	11.5	2.2	36.4	0.7	49.4
	全体【2017】	(n=12,369)	7.0	40.9	10.9	3.3	37.9	—	47.9
	全体【2021】	(n=20,205)	23.5	52.3	14.2	3.7	6.3	—	75.8
	全体【2025】	(n= 6,732)	28.0	50.2	14.1	3.2	4.6	—	78.2
全体【2025】		(n= 6,732)	28.0	50.2	14.1	3.2	4.6	—	78.2
性別	男性	(n= 2,707)	26.0	49.1	15.1	4.3	5.4	—	75.2
	女性	(n= 3,893)	29.5	51.1	13.2	2.3	4.0	—	80.6
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	32.6	47.6	13.4	2.1	4.3	—	80.2
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	26.7	53.8	11.2	2.8	5.4	—	80.6
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	26.1	50.1	14.2	3.9	5.7	—	76.2
	理・工・農系	(n= 1,131)	24.8	52.1	14.3	4.3	4.5	—	76.8
	スポーツ・体育系	(n= 242)	32.6	51.7	11.2	0.4	4.1	—	84.3
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	23.9	46.9	19.5	4.9	4.9	—	70.8
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	29.3	50.2	15.1	2.6	2.8	—	79.5
学年別	1年	(n= 2,000)	27.7	51.1	13.9	2.3	5.2	—	78.8
	2年	(n= 1,689)	25.4	51.5	15.2	3.0	4.9	—	76.9
	3年	(n= 1,388)	28.2	49.9	14.6	3.2	4.0	—	78.1
	4年	(n= 1,465)	31.3	49.1	11.5	3.8	4.4	—	80.4
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	27.0	50.1	14.8	3.5	4.5	—	77.1
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	24.9	53.1	16.4	3.5	2.2	—	77.9
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	29.1	49.0	14.4	2.8	4.7	—	78.1
	推薦入試	(n= 2,688)	28.2	51.0	13.0	2.8	5.0	—	79.2
	その他	(n= 216)	41.2	38.0	12.0	3.7	5.1	—	79.2
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	26.9	53.5	12.1	3.3	4.2	—	80.4
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	27.9	52.5	11.9	2.4	5.3	—	80.4
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	27.5	48.4	15.7	3.3	5.1	—	75.9
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	28.6	50.1	13.8	3.1	4.3	—	78.7
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	29.5	50.0	13.8	2.8	3.9	—	79.5
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	22.0	50.8	15.1	4.7	7.3	—	72.9

※2017年までの選択肢は「大変満足」「満足」「不満」「大変不満」「どちらともいえない」であった。
経年比較に際しては、今回調査の「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「関心がない・わからない」の順に対応させている。

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q31_2_01

【授業の内容】満足度

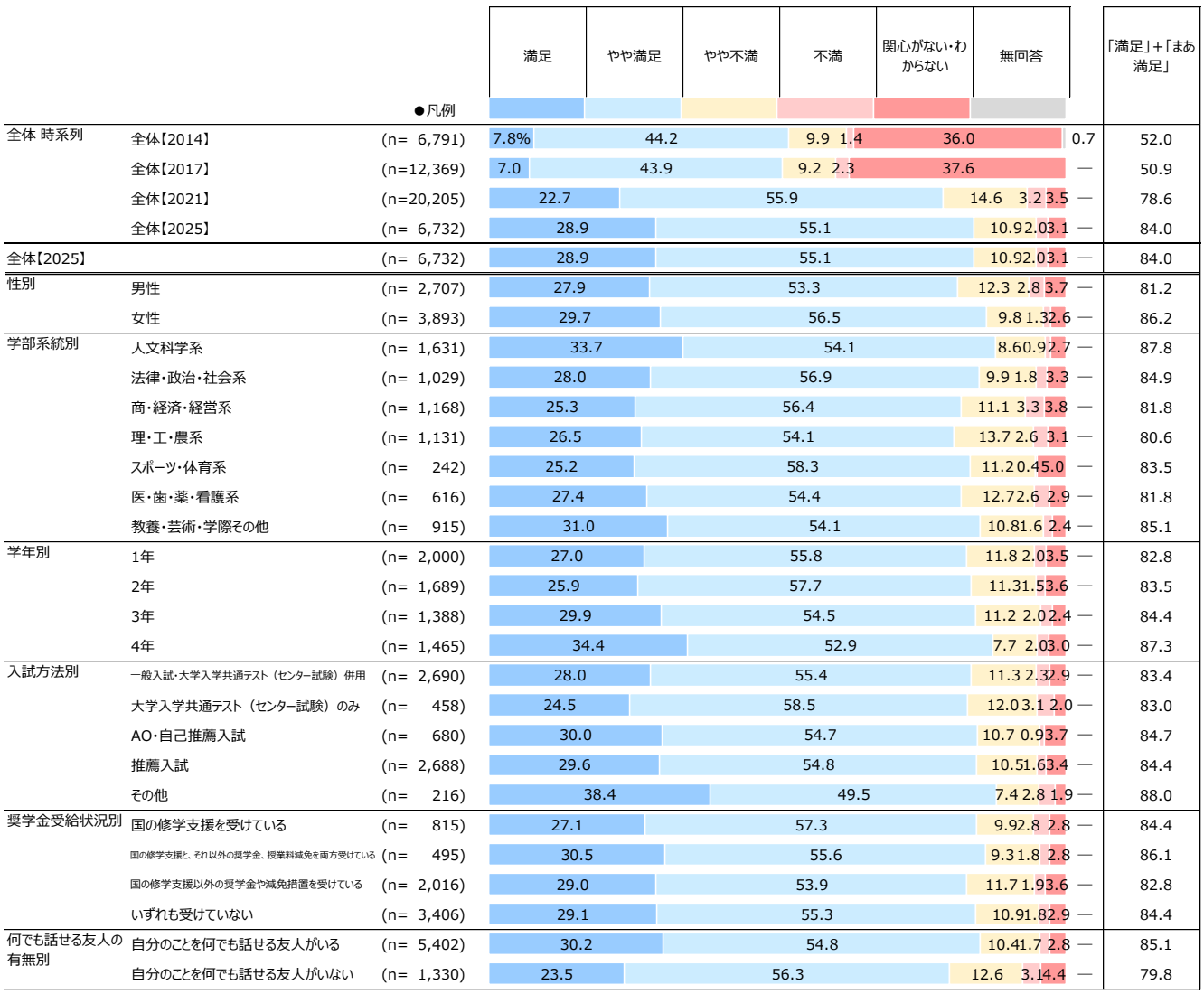
◆【授業の内容】の満足度は84.0%で前回から増加。

- 「満足」+「やや満足」の割合でみたとき、【授業の内容】は84.0%。「満足」が前回から約6ポイント増。

- 性別にみると、「満足」+「やや満足」の割合は男性（81.2%）よりも女性（86.2%）の方が高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」が最も満足度が高く、8割台後半。
- 学年別にみると、「4年」の「満足」のスコアが3割を超えて高い。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」学生の「満足」のスコアは「自分の事を何でも話せる友人がいない」学生のスコアを約7ポイント上回る。

■【授業の内容】満足度（全体／単一回答）

Q３１__③ 【授業の内容】について、満足度を教えてください。（１つだけ）



			満足	やや満足	やや不満	不満	関心がない・わからない	無回答	「満足」+「まあ満足」
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	7.8%	44.2	9.9	1.4	36.0	0.7	52.0
	全体【2017】	(n=12,369)	7.0	43.9	9.2	2.3	37.6	—	50.9
	全体【2021】	(n=20,205)	22.7	55.9	14.6	3.2	3.5	—	78.6
	全体【2025】	(n= 6,732)	28.9	55.1	10.9	2.0	3.1	—	84.0
全体【2025】		(n= 6,732)	28.9	55.1	10.9	2.0	3.1	—	84.0
性別	男性	(n= 2,707)	27.9	53.3	12.3	2.8	3.7	—	81.2
	女性	(n= 3,893)	29.7	56.5	9.8	1.3	2.6	—	86.2
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	33.7	54.1	8.6	0.9	2.7	—	87.8
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	28.0	56.9	9.9	1.8	3.3	—	84.9
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	25.3	56.4	11.1	3.3	3.8	—	81.8
	理・工・農系	(n= 1,131)	26.5	54.1	13.7	2.6	3.1	—	80.6
	スポーツ・体育系	(n= 242)	25.2	58.3	11.2	0.4	5.0	—	83.5
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	27.4	54.4	12.7	2.6	2.9	—	81.8
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	31.0	54.1	10.8	1.6	2.4	—	85.1
学年別	1年	(n= 2,000)	27.0	55.8	11.8	2.0	3.5	—	82.8
	2年	(n= 1,689)	25.9	57.7	11.3	1.5	3.6	—	83.5
	3年	(n= 1,388)	29.9	54.5	11.2	2.0	2.4	—	84.4
	4年	(n= 1,465)	34.4	52.9	7.7	2.0	3.0	—	87.3
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	28.0	55.4	11.3	2.3	2.9	—	83.4
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	24.5	58.5	12.0	3.1	2.0	—	83.0
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	30.0	54.7	10.7	0.9	3.7	—	84.7
	推薦入試	(n= 2,688)	29.6	54.8	10.5	1.6	3.4	—	84.4
	その他	(n= 216)	38.4	49.5	7.4	2.8	1.9	—	88.0
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	27.1	57.3	9.9	2.8	2.8	—	84.4
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	30.5	55.6	9.3	1.8	2.8	—	86.1
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	29.0	53.9	11.7	1.9	3.6	—	82.8
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	29.1	55.3	10.9	1.8	2.9	—	84.4
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	30.2	54.8	10.4	1.7	2.8	—	85.1
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	23.5	56.3	12.6	3.1	4.4	—	79.8

※2017年までの選択肢は「大変満足」「満足」「不満」「大変不満」「どちらともいえない」であった。
経年比較に際しては、今回調査の「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「関心がない・わからない」の順に対応させている。

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q31_3_01

【ゼミなどの少人数教育】満足度

◆【ゼミなどの少人数教育】の満足度は67.7%。

- 「満足」+「やや満足」の割合でみたとき、【ゼミなどの少人数教育】は67.7%で前回から横ばい。

- 性別にみると、「満足」の割合は男性（35.8%）よりも女性（40.7%）の方がやや高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」が最も満足度が高く、「満足」が46.3%。一方、「理・工・農系」「医・歯・薬・看護系」は「満足」+「やや満足」のスコアが5割台で他の学部系統を下回る。
- 学年別にみると、「1年」「2年」は「満足」+「やや満足」のスコアが5割台なのに対し、「3年」「4年」は8割前後と学年により大きな差がある。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」学生の「満足」のスコアは「自分の事を何でも話せる友人がいない」学生のスコアを約12ポイント上回る。

■【ゼミなどの少人数教育】満足度（全体／単一回答）

Q３１__④ 【ゼミなどの少人数教育】について、満足度を教えてください。（１つだけ）

			満足	やや満足	やや不満	不満	関心がない・わからない	無回答	「満足」+「まあ満足」
		●凡例							
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	19.9%	40.3	4.5	1.5	33.0	0.9	60.2
	全体【2017】	(n=12,369)	18.7	38.5	4.0	2.2	36.6	—	57.2
	全体【2021】	(n=20,205)	36.3	29.7	6.2	2.5	25.3	—	66.0
	全体【2025】	(n= 6,732)	38.4	29.4	5.3	2.2	24.7	—	67.7
全体【2025】		(n= 6,732)	38.4	29.4	5.3	2.2	24.7	—	67.7
性別	男性	(n= 2,707)	35.8	28.7	5.6	3.1	26.8	—	64.5
	女性	(n= 3,893)	40.7	29.7	5.0	1.5	23.0	—	70.4
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	46.3	28.4	4.9	1.5	18.8	—	74.7
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	40.1	33.7	6.5	2.9	16.7	—	73.9
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	41.4	30.1	6.2	2.7	19.6	—	71.5
	理・工・農系	(n= 1,131)	27.7	25.9	5.8	2.3	38.3	—	53.6
	スポーツ・体育系	(n= 242)	34.3	31.4	2.1	0.4	31.8	—	65.7
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	27.1	30.7	4.5	3.6	34.1	—	57.8
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	40.3	28.0	4.2	1.5	26.0	—	68.3
学年別	1年	(n= 2,000)	27.7	28.1	4.3	1.9	38.1	—	55.8
	2年	(n= 1,689)	28.9	28.4	5.2	2.0	35.6	—	57.3
	3年	(n= 1,388)	48.5	29.8	5.7	2.8	13.3	—	78.2
	4年	(n= 1,465)	55.6	30.4	6.3	2.1	5.5	—	86.0
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	35.1	29.8	5.3	2.7	27.1	—	64.9
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	36.9	26.9	8.5	2.0	25.8	—	63.8
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	39.6	29.6	4.3	1.6	25.0	—	69.1
	推薦入試	(n= 2,688)	40.5	29.6	4.9	2.0	23.0	—	70.1
	その他	(n= 216)	53.2	25.5	6.0	0.9	14.4	—	78.7
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	36.9	32.5	4.2	2.1	24.3	—	69.4
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	45.7	22.6	6.1	1.4	24.2	—	68.3
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	38.8	29.5	5.9	2.1	23.8	—	68.3
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	37.4	29.5	5.1	2.5	25.5	—	66.9
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	40.5	29.5	4.9	2.0	23.0	—	70.0
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	29.6	28.7	6.7	3.1	31.9	—	58.3

※2017年までの選択肢は「大変満足」「満足」「不満」「大変不満」「どちらともいえない」であった。
経年比較に際しては、今回調査の「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「関心がない・わからない」の順に対応させている。

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q31_4_01

【大学の施設・設備】満足度

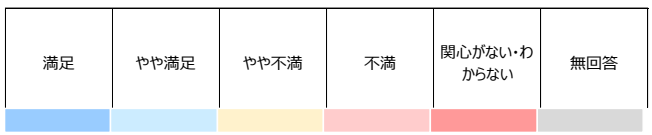
◆【大学の施設・設備】の満足度は78.8%で前回から増加。

- 「満足」+「やや満足」の割合でみたとき、【大学の施設・設備】は78.8%。「満足」が前回から約5ポイント増。

- 性別にみると、「満足」+「やや満足」の割合は男性（75.7%）よりも女性（81.4%）の方が高い。
- 学部系統別にみると、「医・歯・薬・看護系」は「満足」+「やや満足」のスコアが67.9%で他の学部系統を下回る。
- 学年別にみると、「1年」は「満足」のスコアが40.9%で他の学年をやや上回る。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」学生の「満足」のスコアは「自分の事を何でも話せる友人がいない」学生のスコアを約6ポイント上回る。

■【大学の施設・設備】満足度（全体／単一回答）

Q３１＿⑤ 【大学の施設・設備】について、満足度を教えてください。（１つだけ）



			満足	やや満足	やや不満	不満	関心がない・わからない	無回答	「満足」+「まあ満足」
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	14.8%	41.9	13.7	4.0	24.8	0.8	56.7
	全体【2017】	(n=12,369)	13.3	41.5	15.9	5.2	24.0	—	54.8
	全体【2021】	(n=20,205)	31.0	42.3	15.0	5.5	6.2	—	73.3
	全体【2025】	(n= 6,732)	36.1	42.8	15.2	4.2	1.8	—	78.8
全体【2025】		(n= 6,732)	36.1	42.8	15.2	4.2	1.8	—	78.8
性別	男性	(n= 2,707)	33.9	41.8	15.9	5.7	2.7	—	75.7
	女性	(n= 3,893)	37.8	43.6	14.4	3.1	1.0	—	81.4
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	40.0	41.5	15.0	2.6	0.9	—	81.5
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	37.6	45.3	12.0	3.5	1.7	—	82.9
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	36.4	44.2	12.7	4.8	2.0	—	80.6
	理・工・農系	(n= 1,131)	31.1	44.2	16.6	5.3	2.7	—	75.3
	スポーツ・体育系	(n= 242)	38.0	42.1	14.0	4.1	1.7	—	80.2
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	28.4	39.4	22.4	7.6	2.1	—	67.9
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	37.7	40.9	15.8	3.8	1.7	—	78.6
学年別	1年	(n= 2,000)	40.9	41.3	12.4	3.6	1.9	—	82.2
	2年	(n= 1,689)	32.2	43.5	17.8	4.5	2.0	—	75.7
	3年	(n= 1,388)	33.6	44.1	17.0	4.3	1.0	—	77.7
	4年	(n= 1,465)	36.8	43.5	13.4	4.4	1.8	—	80.3
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	35.2	43.9	14.5	4.3	2.0	—	79.2
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	36.0	43.4	15.7	3.7	1.1	—	79.5
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	36.6	41.2	15.7	4.6	1.9	—	77.8
	推薦入試	(n= 2,688)	36.1	42.5	15.7	4.1	1.6	—	78.6
	その他	(n= 216)	44.4	34.7	13.9	5.6	1.4	—	79.2
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	36.6	44.5	14.7	2.7	1.5	—	81.1
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	36.8	41.6	16.0	4.0	1.6	—	78.4
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	36.0	41.9	15.6	4.6	1.9	—	77.8
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	35.9	43.0	14.9	4.4	1.8	—	78.9
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	37.3	42.4	14.8	4.1	1.4	—	79.7
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	31.0	44.2	16.5	5.0	3.2	—	75.2

※2017年までの選択肢は「大変満足」「満足」「不満」「大変不満」「どちらともいえない」であった。
経年比較に際しては、今回調査の「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「関心がない・わからない」の順に対応させている。

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q31_5_01

【授業等、正課教育全体】満足度

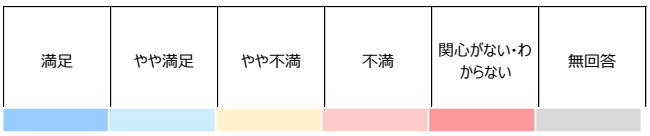
◆【授業等、正課教育全体】の満足度は83.5%で前回から増加。

- 「満足」+「やや満足」の割合でみたとき、【授業等、正課教育全体】は83.5%。「満足」が前回から約6ポイント増。

- 性別にみると、「満足」+「やや満足」の割合は男性（80.8%）よりも女性（85.7%）の方が高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」が最も満足度が高く、「満足」が35.0%。
- 学年別にみると、「4年」は「満足」のスコアが35.3%で他の学年を上回る。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」学生の「満足」のスコアは「自分の事を何でも話せる友人がいない」学生のスコアを約8ポイント上回る。

■【授業等、正課教育全体】満足度（全体／単一回答）

Q３１__⑥ 【授業等、正課教育全体】について、満足度を教えてください。（１つだけ）



			満足	やや満足	やや不満	不満	関心がない・わからない	無回答	「満足」+「まあ満足」
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	7.9%	44.4	6.0	1.4	38.8	1.5	52.3
	全体【2017】	(n=12,369)	7.0	44.6	7.2	2.4	38.8	—	51.6
	全体【2021】	(n=20,205)	23.6	53.5	12.1	3.4	7.4	—	77.1
	全体【2025】	(n= 6,732)	29.5	54.0	8.8	1.9	5.9	—	83.5
全体【2025】		(n= 6,732)	29.5	54.0	8.8	1.9	5.9	—	83.5
性別	男性	(n= 2,707)	27.2	53.6	9.9	2.6	6.7	—	80.8
	女性	(n= 3,893)	31.3	54.4	7.9	1.2	5.2	—	85.7
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	35.0	51.4	7.5	1.2	4.8	—	86.5
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	30.2	54.6	7.5	1.6	6.1	—	84.8
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	26.6	53.9	9.8	2.6	7.0	—	80.6
	理・工・農系	(n= 1,131)	25.2	56.0	10.4	2.1	6.3	—	81.2
	スポーツ・体育系	(n= 242)	28.5	55.8	6.6	1.2	7.9	—	84.3
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	27.3	52.8	10.6	3.1	6.3	—	80.0
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	29.7	55.6	8.4	1.6	4.6	—	85.4
学年別	1年	(n= 2,000)	28.7	55.3	8.3	1.6	6.3	—	84.0
	2年	(n= 1,689)	25.7	56.2	9.1	1.6	7.4	—	81.9
	3年	(n= 1,388)	29.9	54.7	8.8	1.9	4.8	—	84.6
	4年	(n= 1,465)	35.3	50.2	7.6	2.0	5.0	—	85.5
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	28.6	54.2	9.2	2.3	5.8	—	82.7
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	26.4	58.1	9.8	1.3	4.4	—	84.5
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	27.6	56.2	8.8	1.6	5.7	—	83.8
	推薦入試	(n= 2,688)	30.5	53.3	8.2	1.6	6.4	—	83.8
	その他	(n= 216)	41.7	44.0	8.8	2.3	3.2	—	85.6
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	28.7	55.5	9.6	1.6	4.7	—	84.2
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	31.9	54.3	8.1	1.4	4.2	—	86.3
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	29.7	52.5	9.6	1.7	6.4	—	82.2
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	29.2	54.4	8.2	2.1	6.0	—	83.6
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	31.1	53.7	8.4	1.5	5.3	—	84.8
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	23.2	55.1	10.3	3.3	8.1	—	78.3

※2017年までの選択肢は「大変満足」「満足」「不満」「大変不満」「どちらともいえない」であった。
経年比較に際しては、今回調査の「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「関心がない・わからない」の順に対応させている。

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q31_6_01

履修登録時の重視項目

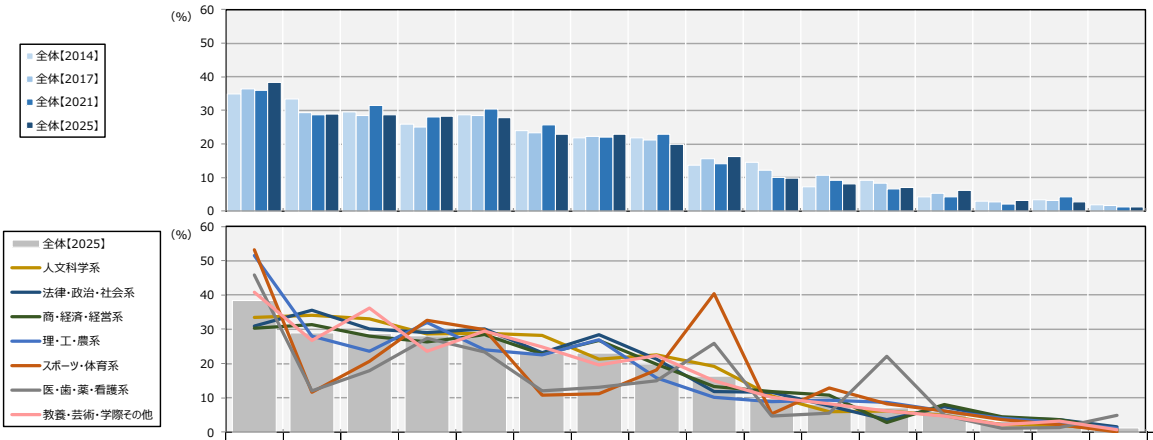
◆「専門的な知識が身につく」がトップ。前回からわずかにスコアが増加。

- 全体では「専門的な知識が身につく」（38.4%）が最も高く、次いで「講義の時間帯」「面白く楽しい授業」「卒業要件を満たすため」「教養が身につく」が同程度のスコアで続く。

- 性別にみると、「男性」は「専門的な知識が身につく」「教養が身につく」、女性は「講義の時間帯」「面白く楽しい授業」がそれぞれ高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」では「知的刺激がある」が相対的に高く、「理・工・農系」「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」では「専門的な知識が身につく」が高いという特徴がある。また、「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」は「資格取得に役立つ」も高い。
- 入試方法別にみると、「大学入学共通テスト（センター試験）のみ」では「講義の時間帯」「知的刺激がある」が高くなっている。
- 大学生活充実度別にみると、充実度が高いほどスコアが高くなるのは「専門的な知識が身につく」「教養が身につく」「視野が広がる」など。反対に充実度が低いほどスコアが高くなるのは「卒業要件を満たすため」「単位認定の厳格さの程度」など。
- 正課教育満足度別みると、「正課教育【不満】」では「卒業要件を満たすため」「単位認定の厳格さの程度」を重視する割合が高い。
- 成績自己評価別にみると、自己評価が高いほどスコアが高くなるのは「専門的な知識が身につく」「教養が身につく」「知的刺激がある」など。反対に自己評価が低いほどスコアが高くなるのは「卒業要件を満たすため」「単位認定の厳格さの程度」など。

■履修登録時の重視項目（全体／複数回答）

Q３２　科目を履修登録する時に、重視する要素は何ですか。（３つまで）



			専門的な知識が身につく	講義の時間帯	面白く楽しい授業	卒業要件を満たすため	教養が身につく	知的刺激がある	単位認定の厳格さの程度	視野が広がる	資格取得に役立つ	教師の人間性	就職に役立つ	大学からの選択指示	友達が登録するから	出欠チェックの有無	時代のニーズに合う	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	35.0	33.3	29.5	25.8	28.6	24.0	21.9	21.9	13.8	14.5	7.3	9.3	4.3	3.0	3.4	2.0	0.7
	全体【2017】	(n=12,369)	36.4	29.3	28.5	25.0	28.5	23.3	22.2	21.2	15.7	12.1	10.6	8.4	5.4	2.8	3.2	1.7	—
	全体【2021】	(n=20,205)	35.9	28.6	31.4	28.0	30.5	25.6	22.0	22.8	14.2	10.0	9.2	6.6	4.3	2.2	4.2	1.2	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	38.4	28.9	28.7	28.2	27.8	23.0	23.0	19.9	16.3	9.9	8.1	7.1	6.1	3.1	2.8	1.2	—
全体【2025】		(n= 6,732)	38.4	28.9	28.7	28.2	27.8	23.0	23.0	19.9	16.3	9.9	8.1	7.1	6.1	3.1	2.8	1.2	—
性別	男性	(n= 2,707)	41.2	25.6	23.8	29.1	31.4	22.3	23.2	19.5	13.3	9.5	9.5	6.0	7.8	3.6	3.6	1.6	—
	女性	(n= 3,893)	36.5	31.4	32.2	27.7	25.3	23.3	23.0	20.0	18.5	10.1	7.4	8.0	4.9	2.9	2.2	0.9	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	33.5	34.0	33.0	28.6	28.8	28.3	21.3	22.5	19.1	10.5	5.9	6.1	5.0	2.2	1.9	0.6	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	30.9	35.5	30.2	29.0	30.1	23.1	28.4	21.3	11.9	11.7	7.7	3.7	7.4	4.0	3.6	1.6	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	30.4	31.3	28.0	26.3	28.4	22.8	26.8	19.9	13.2	11.8	10.8	2.7	8.0	4.5	3.7	0.8	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	51.5	27.9	23.5	32.1	24.0	22.5	27.0	15.8	10.1	8.9	9.3	8.6	6.1	4.1	2.8	1.1	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	53.3	11.6	20.7	32.6	29.8	10.7	11.2	18.2	40.5	5.4	12.8	8.3	6.2	3.7	2.1	—	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	45.8	12.0	18.0	27.4	23.4	12.0	13.1	14.9	26.0	4.7	5.5	22.1	4.9	1.1	1.3	4.9	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	40.9	26.8	36.1	23.5	29.5	24.9	19.6	22.3	15.0	10.2	8.3	6.2	4.7	2.2	3.3	0.8	—
学年別	1年	(n= 2,000)	36.7	30.1	29.7	24.0	32.6	22.5	23.3	20.9	18.6	6.6	9.1	6.3	5.6	3.0	2.7	1.1	—
	2年	(n= 1,689)	38.0	29.9	29.8	29.6	24.0	20.2	26.3	16.9	18.6	10.8	7.2	7.9	7.8	3.0	2.2	1.3	—
	3年	(n= 1,388)	40.6	29.6	26.9	29.8	24.8	23.6	22.3	20.1	13.4	12.2	8.4	7.2	5.6	3.8	2.6	1.3	—
	4年	(n= 1,465)	38.8	27.4	29.4	30.6	28.7	25.7	20.1	21.8	13.3	11.8	8.1	6.5	5.5	3.1	3.6	0.8	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	37.7	30.9	28.0	27.4	28.6	26.7	23.8	20.6	13.7	9.0	7.0	7.4	5.4	3.0	2.3	1.5	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	37.3	35.4	24.2	30.3	29.9	32.1	22.5	16.6	15.1	10.3	8.1	6.8	4.8	2.4	2.0	1.1	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	42.1	27.9	31.8	22.8	26.9	21.6	20.7	21.3	17.8	11.0	8.1	5.9	6.8	2.8	3.5	0.7	—
	推薦入試	(n= 2,688)	37.9	26.6	29.5	29.9	27.0	18.7	23.4	18.8	18.5	10.4	9.3	6.8	6.8	3.6	3.0	1.1	—
	その他	(n= 216)	43.5	22.2	28.2	28.7	25.5	15.7	14.8	26.4	19.0	10.2	8.3	12.0	5.1	1.9	5.1	1.9	—
大学生活充実度別	学生生活は充実している	(n= 5,258)	40.9	27.6	29.6	26.6	29.1	24.5	21.8	21.3	16.5	9.9	8.3	6.7	5.8	2.7	2.8	1.0	—
	学生生活は普通である	(n= 1,143)	31.3	33.5	26.6	32.0	24.4	18.0	25.1	16.2	15.7	9.4	7.7	8.6	7.3	4.4	2.6	2.0	—
	学生生活は充実していない	(n= 331)	24.2	34.1	21.8	39.3	18.4	17.2	34.4	10.0	14.5	12.1	7.3	8.5	6.0	5.4	2.1	3.0	—
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 815)	36.6	28.1	28.0	26.4	32.1	21.3	22.2	22.7	16.4	9.8	9.3	6.0	5.3	2.8	2.9	1.0	—
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 495)	40.6	27.9	30.7	27.1	26.7	23.4	20.2	24.2	20.2	12.1	8.7	6.9	5.5	1.4	1.8	0.4	—
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 2,016)	40.4	27.6	29.0	28.3	28.0	20.6	20.9	18.7	17.7	10.0	8.7	7.9	5.6	3.3	3.1	1.1	—
	いずれも受けていない	(n= 3,406)	37.3	30.0	28.4	28.7	26.7	24.8	24.8	19.3	14.9	9.5	7.4	6.9	6.6	3.4	2.6	1.5	—
正課教育満足度別	正課教育に【満足】	(n= 5,620)	40.5	29.0	29.4	27.1	29.5	24.0	22.1	21.0	16.7	9.6	8.0	6.7	5.9	2.5	2.8	0.9	—
	正課教育に【不満】	(n= 717)	31.0	27.6	25.4	30.5	21.9	21.2	24.0	16.3	15.8	12.1	9.2	8.2	6.1	5.0	2.8	2.2	—
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	42.9	29.7	27.8	25.6	30.2	27.3	19.8	22.8	16.2	11.1	7.5	7.1	4.4	1.5	2.9	1.3	—
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	38.8	28.7	30.0	27.7	27.8	22.0	23.0	19.4	17.7	9.3	8.7	6.7	6.4	2.9	2.8	1.0	—
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	30.5	28.3	27.0	33.3	23.9	18.7	27.9	16.5	13.0	9.4	7.8	8.2	7.9	6.2	2.5	1.6	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※2025年質問文変更、2021年までは「講義について希望することは何ですか。」
※「卒業要件を満たすため」は2021年文言変更、2017年までは「卒業単位数を満たすため」
「単位認定の厳格さの程度」は2021年文言変更、2017年までは「単位認定が緩やか」
「出欠チェックの有無」は2021年文言変更、2017年までは「出欠チェックがない」

Q32_01

講義内容理解の難しさ

◆ 講義内容の理解に64.2%が「困難を感じたことがある」。前回からはスコアが低下。

- 学部系統別にみると、「理・工・農系」「医・歯・薬・看護系」では「困難を感じたことがある」が7割を超えて他の学部系統よりも高い。
- 学年別にみると、「2年」で「困難を感じたことがある」が68.4%。以降、学年が上がるにつれてスコアが低下する。
- 入試方法別にみると、「センター試験（大学入学共通テスト）のみ」では「困難を感じたことがある」が57.2%で他の層より低い。
- 大学生活充実度別にみると、充実度が低いほど「困難を感じたことがある」割合が高くなる。
- 正課教育満足度別みると、「正課教育【満足】」よりも「正課教育【不満】」の方が、「困難を感じたことがある」割合が高い。
- 成績自己評価別にみると、成績自己評価が低いほど「困難を感じたことがある」割合が高くなり、「成績自己評価下位」では77.6%に及ぶ。

■講義内容理解の難しさ（全体／単一回答）

Q３３　大学入学後、受講した講義の内容で理解に困難を感じたことはありますか。（１つだけ）

			困難を感じたことがある	困難を感じたことはない
		●凡例		
全体 時系列	全体【2021】	(n=20,205)	73.1	26.9
	全体【2025】	(n= 6,732)	64.2	35.8
全体【2025】		(n= 6,732)	64.2	35.8
性別	男性	(n= 2,707)	64.4	35.6
	女性	(n= 3,893)	63.9	36.1
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	61.7	38.3
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	63.8	36.2
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	64.0	36.0
	理・工・農系	(n= 1,131)	72.9	27.1
	スポーツ・体育系	(n= 242)	44.2	55.8
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	70.6	29.4
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	59.3	40.7
学年別	1年	(n= 2,000)	61.9	38.1
	2年	(n= 1,689)	68.4	31.6
	3年	(n= 1,388)	64.6	35.4
	4年	(n= 1,465)	61.6	38.4
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	64.9	35.1
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	57.2	42.8
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	62.9	37.1
	推薦入試	(n= 2,688)	65.1	34.9
	その他	(n= 216)	62.0	38.0
大学生活充実度別	学生生活は充実している	(n= 5,258)	62.2	37.8
	学生生活は普通である	(n= 1,143)	69.9	30.1
	学生生活は充実していない	(n= 331)	76.1	23.9
正課教育満足度別	正課教育に【満足】	(n= 5,620)	62.8	37.2
	正課教育に【不満】	(n= 717)	72.1	27.9
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	53.4	46.6
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	65.7	34.3
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	77.6	22.4

Q33_01

講義内容が難しい理由

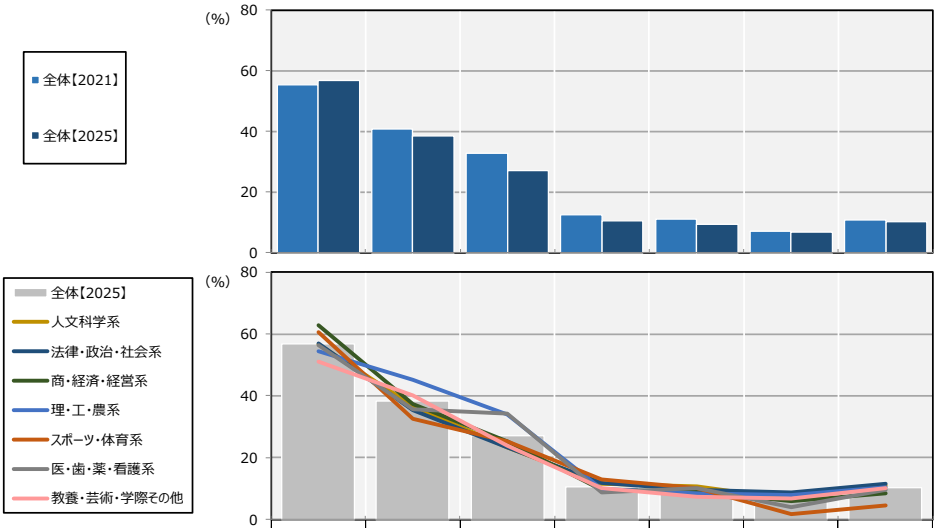
◆ 講義内容が難しい理由は「高校ではほとんど学ばなかった内容だったから」が56.7%でトップ。

- 全体では、「高校ではほとんど学ばなかった内容だから」がトップ。「講義の解説が十分ではないから」は前回からスコアが減少している。

- 学部系統別にみると、「商・経済・社会系」では「高校ではほとんど学ばなかった内容だったから」、「理・工・農系」では「理解していることを前提に講義がどんどん進むから」「講義の中での解説が十分ではないから」、「医・歯・薬・看護系」では「講義の中での解説が十分ではないから」が他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「1年」で「高校ではほとんど学ばなかった内容だったから」が62.0%で高い。

■講義内容が難しい理由（講義内容理解困難者／複数回答）

Q３４　困難だと感じた理由に近いものを選んでください。（複数可）



			高校ではほとんど学ばなかった内容だったから	理解していることを前提に講義がどんどん進むから	講義の中での解説が十分ではないから	ノートの取り方がわからず戸惑っている間に先へ講義が進むから	受験に関係のない分野であったから	シラバスや教科書どおりに講義が進められていないから	その他
全体 時系列	全体【2021】	(n=14,763)	55.4	40.7	32.8	12.5	11.0	7.2	10.7
	全体【2025】	(n= 4,320)	56.7	38.4	27.0	10.6	9.4	6.7	10.2
全体【2025】		(n= 4,320)	56.7	38.4	27.0	10.6	9.4	6.7	10.2
性別	男性	(n= 1,744)	58.4	38.0	28.1	11.8	9.7	6.8	9.4
	女性	(n= 2,487)	55.6	38.4	26.1	9.5	9.2	6.4	10.5
学部系統別	人文科学系	(n= 1,007)	56.7	36.8	23.3	11.7	10.6	6.6	11.0
	法律・政治・社会系	(n= 656)	56.9	35.4	23.3	11.9	9.5	8.7	11.6
	商・経済・経営系	(n= 747)	62.7	37.2	25.4	9.6	9.1	5.9	8.4
	理・工・農系	(n= 825)	54.4	45.2	34.1	9.8	8.6	8.0	10.4
	スポーツ・体育系	(n= 107)	60.7	**32.7**	25.2	13.1	10.3	1.9	**4.7**
	医・歯・薬・看護系	(n= 435)	56.3	35.6	34.3	8.7	10.3	3.9	9.7
	教養・芸術・学際その他	(n= 543)	**51.2**	40.0	23.9	10.1	7.4	6.8	10.3
学年別	1年	(n= 1,238)	62.0	35.4	23.5	13.7	10.8	5.6	9.5
	2年	(n= 1,155)	56.0	41.1	27.9	9.9	10.9	7.2	10.6
	3年	(n= 896)	54.5	37.9	27.2	9.3	6.8	6.9	10.7
	4年	(n= 902)	53.0	40.6	28.6	8.0	7.6	7.6	9.5
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,745)	57.3	37.5	28.3	9.3	11.6	6.8	10.5
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 262)	54.2	36.6	27.1	6.9	12.6	4.6	10.3
	AO・自己推薦入試	(n= 428)	56.5	40.0	23.4	12.4	7.5	5.1	10.0
	推薦入試	(n= 1,751)	57.5	39.3	26.0	11.5	7.0	6.6	9.1
	その他	(n= 134)	**43.3**	38.8	34.3	15.7	10.4	15.7	19.4

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q34_01

成績自己評価

◆自分の成績について、「中位だと思う」が48.4%、「上位だと思う」は27.2%。「上位だと思う」が前回から増加。

- 全体では、「上位だと思う」が前回から増加し、「中位だと思う」が減少している。

- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」の「中位だと思う」が他の学部系統に比べてやや高い。
- 学年別にみると、学年が上がるほど「最上位レベルだと思う」「上位だと思う」のスコアが高くなっている。
- 入試方法別にみると、「大学入学共通テスト（センター試験）のみ」の「上位だと思う」が突出して高い。

■成績自己評価（全体／単一回答）

Q３５　大学での自分の成績をどう思いますか。（１つだけ）

			最上位レベルだと思う	上位だと思う	中位だと思う	下位だと思う	最下位レベルだと思う
		●凡例					
全体 時系列	全体【2021】	(n=20,205)	3.2	22.2	53.7	16.7	4.3
	全体【2025】	(n= 6,732)	4.4	27.2	48.4	16.1	3.9
全体【2025】		(n= 6,732)	4.4	27.2	48.4	16.1	3.9
性別	男性	(n= 2,707)	5.8	24.5	46.0	18.8	5.0
	女性	(n= 3,893)	3.4	29.0	50.2	14.4	3.0
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	4.8	28.6	48.6	15.0	3.1
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	3.7	28.4	48.1	15.5	4.4
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	5.1	24.0	51.0	15.2	4.7
	理・工・農系	(n= 1,131)	5.0	26.9	44.5	19.1	4.6
	スポーツ・体育系	(n= 242)	5.8	24.0	55.8	12.8	1.7
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	4.1	28.6	40.7	21.8	4.9
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	3.2	27.9	52.9	13.3	2.7
学年別	1年	(n= 2,000)	2.9	22.8	54.2	16.7	3.5
	2年	(n= 1,689)	4.3	27.1	48.5	16.3	3.8
	3年	(n= 1,388)	4.7	31.8	45.6	14.6	3.4
	4年	(n= 1,465)	6.6	29.7	44.8	15.6	3.4
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	4.4	29.4	47.4	15.0	3.8
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	6.3	35.6	45.4	10.0	2.6
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	4.4	20.9	49.3	21.6	3.8
	推薦入試	(n= 2,688)	4.1	25.0	49.8	17.0	4.2
	その他	(n= 216)	5.6	30.1	45.8	13.9	4.6

Q35_01

5章：正課外活動

- **資格取得に向けた学内外講座の参加・受講状況**
  学内の正課外講座・学外の講座や、各種学校への参加・通学者は17.8%で前回からやや減少。
- **利用している講座等の内容**
  利用している講座等の内容では、「各種資格試験」がトップ。
- **インターンシップ参加意向**
  インターンシップの参加率・参加意向は46.4%で前回から横ばい。
- **課外活動参加状況**
  課外活動への参加率は54.2%で前回から横ばい。ただし、「積極的に参加している」が増加。
- **課外活動と授業の両立度**
  課外活動と授業との両立については、前回から増加。
- **参加クラブ・サークル種類**
  課外活動をしている学生に限れば、活動内容1位の「文化・芸術活動」は増加傾向が続く。
- **課外活動参加の目的**
  課外活動参加の目的は「友人を得る」がトップ。スコアは前回から大きく減少。
- **課外活動の満足点**
  「友人、居場所を得た」が1位で、目的とも合致している。
- **課外活動非参加・中止理由**
  課外活動に参加しないのは、「入りたいクラブがない」「アルバイトと両立できない」「勉強と両立できない」。いずれも前回からスコアがやや増加。
- **ボランティア活動参加経験**
  ボランティア活動参加経験率は23.9%。前回（15.4%）から増加。

コメント

課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティア）への参加率は54.2%で前回と同程度だが、「積極的に参加している」が増加。**課外活動参加の目的**のトップは「友人を得る」だが、比率は前回から10ポイント以上減少して約4割に。「趣味と一致」、「知識、教養、技術、技能を身につける」などが増加。

ボランティアへの参加率は、前回までの低下傾向から反転、今回は大幅に上昇し24%まで増加。**その目的**のトップは「社会勉強」だが、比率は減少。代わって「就職に役立てる」などが伸びている。

資格取得に向けた学内外講座の参加・受講状況

◆学内の正課外講座・学外の講座や、各種学校への参加・通学者は17.8%で前回からやや減少。

- 学内の正課外講座、学外の講座や各種学校のいずれかに参加している学生（「学内」＋「学外」＋「両方」）の割合は、前回からやや減少（前回20.4%→今回17.8%）。

- 学部系統別にみると、「理・工・農系」の参加率が他の学部系統に比べて低い。
- 学年別にみると、1・2年に比べて3・4年の参加率が高め。

■資格取得に向けた学内外講座の参加・受講状況（全体／単一回答）

Q３６　現在、資格、技術取得、受験等のために、学内外の正課外講座等を受講していますか。（１つだけ）

			学内の正課外講座を受講している	学外の講座や各種学校などを受講している	両方している	両方していない	無回答	「学内」＋「学外」＋「両方」
		●凡例						
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	13.1%	5.2	1.5	79.5	0.7	19.8
	全体【2017】	(n=12,369)	10.8	5.5	1.1	82.6		17.4
	全体【2021】	(n=20,205)	10.5	8.8	1.1	79.6		20.4
	全体【2025】	(n= 6,732)	10.0	7.0	0.8	82.2		17.8
全体【2025】		(n= 6,732)	10.0	7.0	0.8	82.2		17.8
性別	男性	(n= 2,707)	9.6	7.6	1.0	81.8		18.2
	女性	(n= 3,893)	10.3	6.5	0.7	82.5		17.5
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	10.5	5.9	0.9	82.6		17.4
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	11.1	9.8	0.6	78.5		21.5
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	11.2	8.8	0.9	79.1		20.9
	理・工・農系	(n= 1,131)	6.3	5.7	0.5	87.5		12.5
	スポーツ・体育系	(n= 242)	16.1	4.1	0.4	79.3		20.7
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	8.4	6.2	1.3	84.1		15.9
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	10.6	6.2	1.1	82.1		17.9
学年別	1年	(n= 2,000)	10.0	5.4	0.7	84.0		16.1
	2年	(n= 1,689)	9.2	5.4	0.5	84.9		15.1
	3年	(n= 1,388)	11.3	7.8	0.8	80.1		19.9
	4年	(n= 1,465)	10.0	9.4	1.2	79.5		20.5
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	9.6	7.1	1.2	82.1		17.9
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	11.8	7.9	0.2	80.1		19.9
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	7.8	6.0	0.6	85.6		14.4
	推薦入試	(n= 2,688)	10.8	6.7	0.6	81.9		18.1
	その他	(n= 216)	8.3	10.6	1.4	79.6		20.4
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	9.4	7.9	0.7	82.0		18.0
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	11.1	7.4	0.7	80.8		19.2

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q36_01

利用している講座等の内容

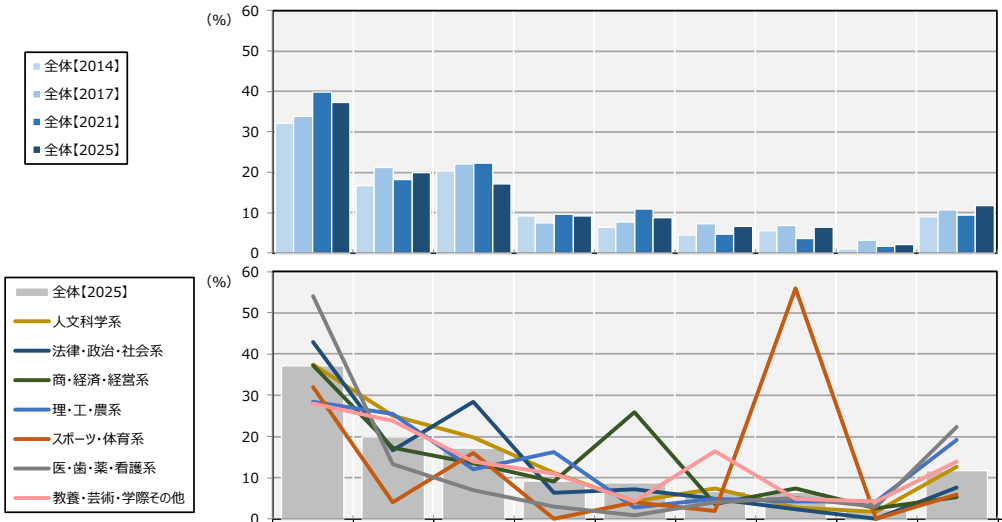
◆利用している講座等の内容では、「各種資格試験」がトップ。

- 利用している講座は「各種資格試験」がトップ。以下、「語学」「就職対策」が続く。「就職対策」は前回からスコアが減少。

- 性別にみると、「パソコン・情報処理」は男性、「各種資格試験」は女性のスコアがやや高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」は「語学」、「法律・政治・社会系」は「各種資格試験」「就職対策」、「商・経済・経営系」は「珠算・簿記・速記」、「理・工・農系」は「語学」「パソコン・情報処理」、「スポーツ・体育系」は「スポーツ」、「医・歯・薬・看護系」は「各種資格試験」が高い。
- 学年別にみると、「3年」の「就職対策」が高い。

■利用している講座等の内容（受講者／複数回答）

Q３７　（受講しているのは）どのような講座等ですか。（主なもの２つまで）



			各種資格試験	語学	就職対策	パソコン・情報処理	珠算・簿記・速記	音楽・美術・工芸・書道	スポーツ	茶道・華道・洋裁・料理	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 1,341)	32.2	16.6	20.4	9.2	6.5	4.5	5.5	1.1	9.0	10.9
	全体【2017】	(n= 2,157)	33.8	21.1	22.1	7.4	7.6	7.3	6.9	3.2	10.8	—
	全体【2021】	(n= 4,117)	39.9	18.1	22.3	9.6	10.9	4.6	3.6	1.7	9.5	—
	全体【2025】	(n= 1,201)	37.2	20.0	17.2	9.3	8.7	6.7	6.5	2.2	11.7	—
全体【2025】		(n= 1,201)	37.2	20.0	17.2	9.3	8.7	6.7	6.5	2.2	11.7	—
性別	男性	(n= 492)	35.4	18.9	18.3	12.2	9.8	5.5	10.8	1.4	11.0	—
	女性	(n= 683)	38.9	20.4	16.3	7.5	8.1	7.6	3.2	2.9	12.2	—
学部系統別	人文科学系	(n= 283)	37.5	25.1	19.8	11.3	4.2	7.4	2.8	1.8	12.7	—
	法律・政治・社会系	(n= 221)	43.0	16.7	**28.5**	6.3	7.2	5.0	2.3	—	7.7	—
	商・経済・経営系	(n= 244)	37.3	17.2	13.5	9.0	**25.8**	3.7	7.4	2.5	**5.3**	—
	理・工・農系	(n= 141)	**28.4**	25.5	**12.1**	16.3	**2.8**	5.0	4.3	4.3	19.1	—
	スポーツ・体育系	(n= 50)	**32.0**	**4.0**	16.0	—	4.0	2.0	**56.0**	—	**6.0**	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 98)	**54.1**	**13.3**	**7.1**	**3.1**	**1.0**	4.1	5.1	3.1	**22.4**	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 164)	**28.0**	23.8	14.0	11.0	4.3	16.5	4.9	4.3	14.0	—
学年別	1年	(n= 321)	36.4	22.1	**8.4**	11.2	15.0	5.9	7.8	2.8	10.3	—
	2年	(n= 255)	38.8	23.5	**11.4**	8.6	7.5	7.8	6.7	3.1	12.5	—
	3年	(n= 276)	35.9	**13.0**	**33.7**	6.9	5.4	6.5	7.2	1.8	8.3	—
	4年	(n= 300)	36.7	22.7	17.3	9.7	7.3	7.0	4.3	1.3	14.3	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 482)	36.7	18.5	19.9	10.2	7.7	7.5	3.7	2.7	12.9	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 91)	44.0	**13.2**	16.5	7.7	7.7	8.8	6.6	2.2	9.9	—
	AO・自己推薦入試	(n= 98)	34.7	26.5	**12.2**	7.1	6.1	8.2	11.2	3.1	13.3	—
	推薦入試	(n= 486)	37.4	20.0	17.1	8.6	10.9	5.1	8.2	1.9	10.1	—
	その他	(n= 44)	**31.8**	**36.4**	**2.3**	15.9	4.5	6.8	6.8	—	18.2	—
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 439)	36.9	17.3	19.8	8.4	10.7	6.6	8.2	2.5	10.7	—
	経済状況は苦しい	(n= 340)	37.9	20.9	14.4	11.8	5.6	6.5	7.4	2.9	12.1	—
奨学金受給状況別	国の修学支援を受けている	(n= 137)	37.2	21.9	19.0	11.7	5.1	5.1	9.5	4.4	7.3	—
	国の修学支援と、それ以外の奨学金、授業料減免を両方受けている	(n= 86)	36.0	15.1	23.3	7.0	10.5	7.0	4.7	4.7	11.6	—
	国の修学支援以外の奨学金や減免措置を受けている	(n= 376)	34.6	19.9	16.2	9.0	8.8	7.4	7.7	1.6	12.2	—
	いずれも受けていない	(n= 602)	39.0	20.3	16.6	9.3	9.3	6.5	5.3	1.8	12.5	—
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 436)	36.2	20.9	19.0	11.2	8.0	6.9	5.0	2.5	12.2	—
	成績自己評価中位	(n= 576)	38.0	19.3	16.8	7.8	9.4	6.1	6.9	1.7	12.2	—
	成績自己評価下位	(n= 189)	37.0	20.1	14.3	9.5	8.5	7.9	8.5	3.2	9.5	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q37_01

インターンシップ参加意向

◆インターンシップの参加率・参加意向は46.4%で前回から横ばい。「4年」の47.1%がすでに参加している。

- 「すでに参加した」＋「ぜひ参加したい」の割合は46.4%で前回から横ばい。特に「4年」では「すでに参加した」が47.1%と前回同様の高さ。

- 性別にみると、男性よりも女性の方が「すでに参加した」＋「ぜひ参加したい」が高い。
- 学部系統別にみると、参加率が低いのは「スポーツ・体育系」（8.7%）。
- 学年別にみると、学年が上がるほど参加率が高く、「3年」で43.9%、「4年」で47.1%が参加経験がある。
- 成績自己評価別にみると、自己評価が高いほど参加率が高い。

■インターンシップ参加意向（全体／単一回答）

Q３８　インターンシップに参加したいと思いますか。（１つだけ）

			すでに参加した	ぜひ参加したい	興味はある	興味はない	わからない	無回答		「すでに参加」＋「ぜひ参加したい」
	●凡例									
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	13.7%	13.1	42.9	15.9	13.7		0.7	26.8
	全体【2017】	(n=12,369)	19.5	22.6	36.5	11.4	10.0		—	42.1
	全体【2021】	(n=20,205)	21.4	25.3	36.2	9.2	8.0		—	46.7
	全体【2025】	(n= 6,732)	22.6	23.8	34.7	10.7	8.2		—	46.4
学年別 時系列	4年【2014】	(n= 1,365)	21.3	4.2	32.8	31.4	9.9		0.4	25.5
	4年【2017】	(n= 2,186)	45.2	4.8	19.2	21.1	9.7		—	50.0
	4年【2021】	(n= 3,960)	47.4	5.6	18.6	18.7	9.7		—	53.1
	4年【2025】	(n= 1,465)	47.1	7.0	17.5	18.4	10.0		—	54.1
全体【2025】		(n= 6,732)	22.6	23.8	34.7	10.7	8.2		—	46.4
性別	男性	(n= 2,707)	21.8	22.2	35.2	12.8	8.0		—	44.0
	女性	(n= 3,893)	23.4	24.9	34.2	9.2	8.3		—	48.3
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	21.6	22.8	34.9	13.1	7.7		—	44.4
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	23.6	25.5	36.5	9.1	5.2		—	49.1
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	27.1	27.3	32.4	7.5	5.7		—	54.5
	理・工・農系	(n= 1,131)	24.8	27.0	34.4	8.4	5.4		—	51.8
	スポーツ・体育系	(n= 242)	8.7	16.9	40.9	17.4	16.1		—	25.6
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	19.6	11.4	31.5	16.2	21.3		—	31.0
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	20.3	25.6	35.8	9.7	8.5		—	45.9
学年別	1年	(n= 2,000)	3.0	31.4	47.9	8.8	8.9		—	34.4
	2年	(n= 1,689)	6.3	35.9	43.6	6.5	7.7		—	42.2
	3年	(n= 1,388)	43.9	18.4	23.9	9.1	4.5		—	62.4
	4年	(n= 1,465)	47.1	7.0	17.5	18.4	10.0		—	54.1
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	24.6	23.0	33.3	11.0	8.0		—	47.7
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	21.4	25.5	36.7	8.5	7.9		—	46.9
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	19.4	24.9	38.5	9.3	7.9		—	44.3
	推薦入試	(n= 2,688)	22.2	24.3	34.3	10.6	8.6		—	46.5
	その他	(n= 216)	14.8	19.9	38.9	18.1	8.3		—	34.7
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	28.6	24.7	30.6	9.2	6.8		—	53.3
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	20.2	25.1	36.0	10.7	8.0		—	45.3
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	18.9	19.2	37.9	12.9	11.1		—	38.0

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q38_01

課外活動参加状況

◆課外活動への参加率は54.2%で前回から横ばい。ただし、「積極的に参加している」が増加。

- 課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティア）への参加率（「積極参加」＋「熱心ではない」＋「参加しているが活動なし」）は、54.2%で前回から横ばい。ただし、「積極的に参加している」はスコアが増加している。

- 性別にみると、男性（51.8%）よりも女性（56.1%）の参加率が高い。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」の参加率、特に「積極的参加している」が65.7%他の学部系統を大きく上回る。
- 学年別にみると、学年が上がるほど、参加率が低い傾向。

■課外活動参加状況（全体／単一回答）

Ｑ３９　課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティア）に参加していますか。（１つだけ）

			積極的に参加している	参加しているが熱心ではない	参加しているが活動していない	参加していたがやめた	最初から参加していない	無回答	「積極参加」＋「熱心ではない」＋「参加しているが活動なし」
		●凡例							
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	51.4%	14.2	4.6	12.7	16.7	0.5	70.2
	全体【2017】	(n=12,369)	42.8	15.3	4.9	14.8	22.2	—	63.0
	全体【2021】	(n=20,205)	28.7	12.5	12.5	13.6	32.7	—	53.7
	全体【2025】	(n= 6,732)	34.1	14.9	5.1	15.2	30.7	—	54.2
全体【2025】		(n= 6,732)	34.1	14.9	5.1	15.2	30.7	—	54.2
性別	男性	(n= 2,707)	32.7	14.4	4.7	16.6	31.6	—	51.8
	女性	(n= 3,893)	35.4	15.4	5.4	14.1	29.8	—	56.1
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	35.4	15.6	5.1	13.6	30.3	—	56.1
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	32.0	15.8	5.9	16.1	30.1	—	53.7
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	33.0	14.7	3.8	14.6	33.8	—	51.5
	理・工・農系	(n= 1,131)	31.8	15.2	4.9	18.7	29.4	—	51.9
	スポーツ・体育系	(n= 242)	65.7	11.6	2.9	6.6	13.2	—	80.2
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	29.1	14.9	8.1	16.1	31.8	—	52.1
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	33.3	13.4	5.0	14.9	33.3	—	51.8
学年別	1年	(n= 2,000)	37.7	18.7	6.9	5.7	31.0	—	63.3
	2年	(n= 1,689)	36.6	17.3	4.3	12.1	29.7	—	58.2
	3年	(n= 1,388)	35.5	11.7	4.6	18.1	30.1	—	51.8
	4年	(n= 1,465)	26.8	10.7	4.0	26.3	32.1	—	41.6
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	34.2	16.2	4.9	16.7	28.0	—	55.3
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	34.1	15.9	5.2	17.5	27.3	—	55.2
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	32.5	15.3	6.3	13.1	32.8	—	54.1
	推薦入試	(n= 2,688)	35.2	13.7	5.2	14.0	32.0	—	54.1
	その他	(n= 216)	24.5	10.6	3.2	13.9	47.7	—	38.4
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 2,442)	34.8	16.5	4.6	16.1	28.0	—	55.9
	経済状況は苦しい	(n= 1,770)	36.1	13.7	5.7	14.8	29.7	—	55.5

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q39_01

課外活動と授業の両立度

◆課外活動と授業との両立については、前回から増加。

- 参加者の課外活動と授業との両立については「両立できている」＋「まあ両立できている」が83.7%で前回（77.2%）から増加。

- 性別にみると、男性よりも女性の方が「両立できている」＋「まあ両立できている」の割合がやや高い。
- 学部系統別にみると、他の学部系統に比べて「スポーツ・体育系」の「両立できている」＋「まあ両立できている」の割合が9割を超えて高い。
- 学年別にみると、学年が上がるほど「両立できている」のスコアが高い傾向。
- 経済状況別にみると、「経済状況は余裕がある」方が「両立できている」＋「まあ両立できている」の割合が高い。
- 成績自己評価別にみると、自己評価が高いほど「両立できている」＋「まあ両立できている」の割合が高くなる。

■課外活動と授業の両立度（課外活動参加者／単一回答）

Q４０　課外活動と授業は両立していますか。（１つだけ）

			両立できている	まあ両立できている	どちらともいえない	あまり両立できていない	両立できていない	無回答	「両立」＋「まあ両立」
		●凡例							
全体 時系列	全体【2014】	(n= 4,761)	47.1%	30.1	11.6	5.7	3.8	1.7	77.2
	全体【2017】	(n= 7,792)	41.3	39.4	11.7	5.0	2.6	—	80.7
	全体【2021】	(n=10,847)	41.5	35.7	16.2	3.9	2.6	—	77.2
	全体【2025】	(n= 3,646)	45.3	38.4	9.3	4.3	2.6	—	83.7
全体【2025】		(n= 3,646)	45.3	38.4	9.3	4.3	2.6	—	83.7
性別	男性	(n= 1,403)	41.9	40.2	10.7	3.6	3.6	—	82.1
	女性	(n= 2,185)	47.8	37.3	8.4	4.6	2.0	—	85.1
学部系統別	人文科学系	(n= 915)	48.5	36.0	8.3	5.1	2.1	—	84.5
	法律・政治・社会系	(n= 553)	45.4	38.0	8.1	5.4	3.1	—	83.4
	商・経済・経営系	(n= 602)	45.0	38.9	11.0	3.2	2.0	—	83.9
	理・工・農系	(n= 587)	40.0	41.4	11.1	4.4	3.1	—	81.4
	スポーツ・体育系	(n= 194)	46.4	45.9	2.6	3.1	2.1	—	92.3
	医・歯・薬・看護系	(n= 321)	42.4	40.8	11.2	1.6	4.0	—	83.2
	教養・芸術・学際その他	(n= 474)	47.5	34.8	9.9	5.3	2.5	—	82.3
学年別	1年	(n= 1,266)	42.0	38.8	10.6	5.4	3.2	—	80.8
	2年	(n= 983)	43.0	40.7	9.9	4.4	2.0	—	83.7
	3年	(n= 719)	48.7	39.1	6.1	3.6	2.5	—	87.8
	4年	(n= 609)	52.9	33.8	8.5	2.6	2.1	—	86.7
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,488)	46.0	37.5	9.9	4.4	2.2	—	83.5
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 253)	46.6	39.5	6.3	4.0	3.6	—	86.2
	AO・自己推薦入試	(n= 368)	43.2	37.2	10.1	6.5	3.0	—	80.4
	推薦入試	(n= 1,454)	44.6	39.5	9.1	3.8	2.9	—	84.2
	その他	(n= 83)	50.6	37.3	8.4	3.6	—	—	88.0
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 1,366)	52.7	34.1	6.4	4.5	2.3	—	86.8
	経済状況は苦しい	(n= 983)	37.8	40.9	12.5	5.4	3.4	—	78.7
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 1,182)	56.6	32.4	6.2	2.6	2.2	—	89.0
	成績自己評価中位	(n= 1,774)	44.9	41.0	8.7	3.6	1.8	—	86.0
	成績自己評価下位	(n= 690)	27.0	42.0	16.4	9.3	5.4	—	69.0

※「両立できている」「まあ両立できている」「あまり両立できていない」「両立できていない」は2021年文言変更、2017年までは「両立している」「まあ両立している」「あまり両立していない」「両立していない」

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：+10
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：-5

Q40_01

参加課外活動団体

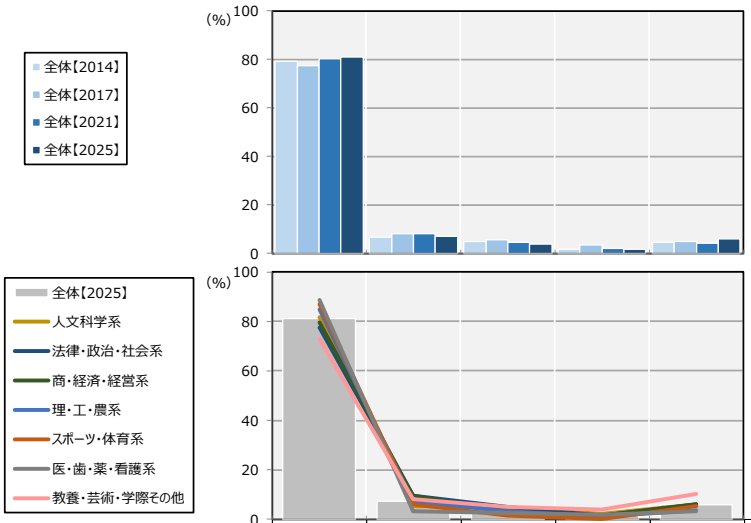
◆課外活動をしている学生に限れば、ほとんどの学生が「学内の公認団体」に参加。

- 課外活動参加者の主な参加団体は1位「学内の公認団体」（81.0%）が突出。

- 学部系統別にみると、「教養・芸術・学際その他」は「学内の公認団体」が他の学部系統に比べて低め。
- 学年別にみると、「1年」は「学内の公認団体」がやや高い。

■参加課外活動団体（課外活動参加者／単一回答）

Ｑ４１　参加している課外活動団体は主として次のどれに該当しますか。（１つだけ）



			学内の公認団体	学内の未公認団体	複数の大学で構成する団体	他大学の団体	大学外の団体	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 4,761)	79.1	6.9	4.8	1.9	4.7	2.6
	全体【2017】	(n= 7,792)	77.5	8.3	5.8	3.4	5.1	—
	全体【2021】	(n=10,847)	80.4	8.3	4.7	2.2	4.4	—
	全体【2025】	(n= 3,646)	81.0	7.2	3.9	1.9	6.0	—
全体【2025】		(n= 3,646)	81.0	7.2	3.9	1.9	6.0	—
性別	男性	(n= 1,403)	81.0	9.0	3.3	1.3	5.3	—
	女性	(n= 2,185)	81.0	5.9	4.3	2.3	6.5	—
学部系統別	人文科学系	(n= 915)	81.7	5.4	4.5	2.2	6.2	—
	法律・政治・社会系	(n= 553)	77.6	9.6	5.1	1.6	6.1	—
	商・経済・経営系	(n= 602)	79.6	9.5	3.3	1.5	6.1	—
	理・工・農系	(n= 587)	85.0	7.2	3.1	1.0	3.7	—
	スポーツ・体育系	(n= 194)	87.1	6.2	1.5	—	5.2	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 321)	88.8	3.4	2.5	1.9	3.4	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 474)	73.0	8.2	4.9	3.8	10.1	—
学年別	1年	(n= 1,266)	83.0	7.0	3.9	1.7	4.3	—
	2年	(n= 983)	80.7	8.0	3.9	2.3	5.1	—
	3年	(n= 719)	80.9	6.4	3.5	1.4	7.8	—
	4年	(n= 609)	78.3	7.2	4.1	2.1	8.2	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,488)	79.5	8.9	4.5	1.7	5.4	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 253)	83.8	6.7	1.6	3.6	4.3	—
	AO・自己推薦入試	(n= 368)	80.2	5.2	3.5	3.5	7.6	—
	推薦入試	(n= 1,454)	82.9	6.1	3.6	1.4	6.1	—
	その他	(n= 83)	72.3	8.4	6.0	1.2	12.0	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q41_01

参加クラブ・サークル種類

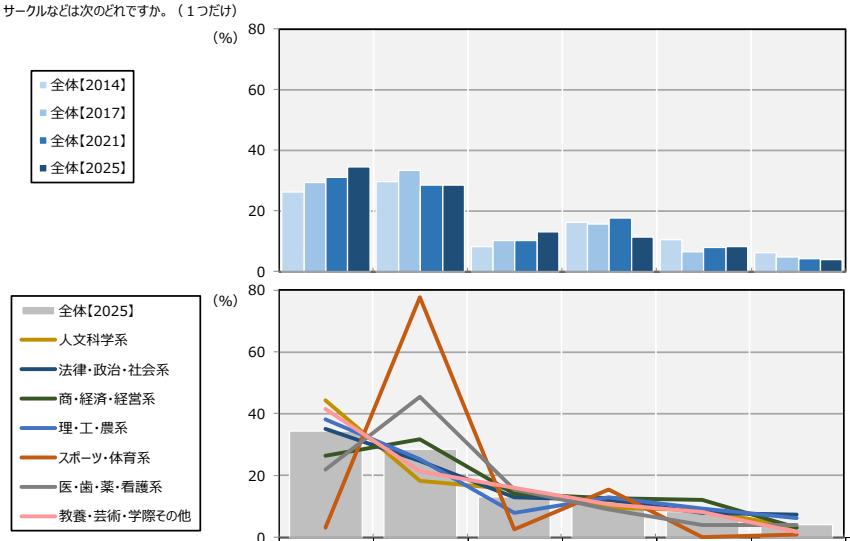
◆課外活動をしている学生に限れば、活動内容1位の「文化・芸術活動」は増加傾向が続く。

- 課外活動参加者の主な活動内容は1位「文化・芸術活動」（34.4%）、2位「体育会の活動」（28.6%）ともに30%前後と高い。
- 「文化・芸術活動」は増加傾向が続く。一方、「スポーツ・レクリエーション活動」は前回から減少。

- 性別にみると、男性は「体育会の活動」「スポーツ・レクリエーション活動」、女性は「文化・芸術活動」「ボランティア活動」が高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」では「文化・芸術活動」、「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」では「体育会の活動」がそれぞれ高いのが特徴である。

■参加クラブ・サークル種類（課外活動参加者／単一回答）

Q４２　参加している主なクラブ、サークルなどは次のどれですか。（１つだけ）



			文化・芸術活動	体育会の活動	ボランティア活動	スポーツ・レクリエーション活動	学生の自治的活動	学術研究活動	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 4,761)	26.3	29.7	8.3	16.2	10.6	6.2	2.8
	全体【2017】	(n= 7,792)	29.3	33.4	10.2	15.6	6.6	4.9	—
	全体【2021】	(n=10,847)	31.1	28.6	10.3	17.7	7.9	4.4	—
	全体【2025】	(n= 3,646)	34.4	28.6	13.1	11.5	8.3	4.1	—
全体【2025】		(n= 3,646)	34.4	28.6	13.1	11.5	8.3	4.1	—
性別	男性	(n= 1,403)	**28.6**	36.9	9.0	14.8	6.1	4.6	—
	女性	(n= 2,185)	37.9	**23.4**	15.8	9.3	9.7	3.8	—
学部系統別	人文科学系	(n= 915)	**44.4**	**18.3**	15.6	9.7	8.9	3.2	—
	法律・政治・社会系	(n= 553)	35.1	24.6	13.0	12.1	7.8	7.4	—
	商・経済・経営系	(n= 602)	**26.4**	31.7	14.0	12.6	12.1	3.2	—
	理・工・農系	(n= 587)	38.2	25.4	**8.0**	12.9	9.2	6.3	—
	スポーツ・体育系	(n= 194)	**3.1**	**77.8**	**2.6**	15.5	—	1.0	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 321)	**21.8**	**45.5**	15.6	9.0	4.0	4.0	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 474)	41.6	**21.5**	16.0	10.8	8.2	1.9	—
学年別	1年	(n= 1,266)	31.8	29.7	11.8	14.2	7.7	4.7	—
	2年	(n= 983)	39.1	27.7	12.0	10.7	7.4	3.2	—
	3年	(n= 719)	35.7	25.6	15.0	7.8	11.4	4.5	—
	4年	(n= 609)	32.7	28.4	15.8	11.5	7.7	3.9	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,488)	37.4	25.3	12.9	11.8	8.1	4.5	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 253)	39.5	27.7	11.5	10.7	6.3	4.3	—
	AO・自己推薦入試	(n= 368)	37.8	27.7	11.7	11.1	9.0	2.7	—
	推薦入試	(n= 1,454)	29.6	33.0	13.9	10.9	8.7	3.9	—
	その他	(n= 83)	36.1	**16.9**	13.3	19.3	7.2	7.2	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q42_01

課外活動参加の目的

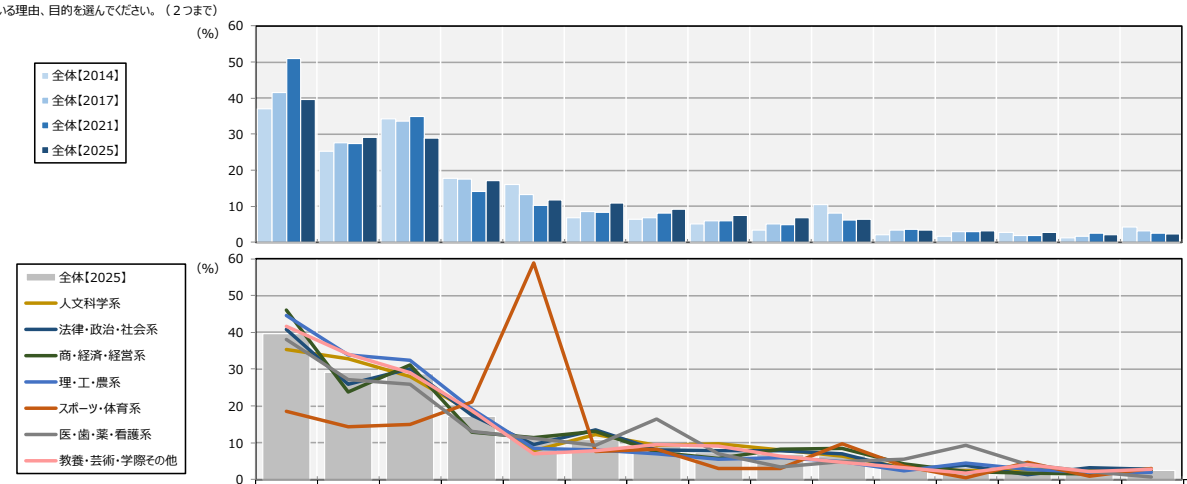
◆課外活動参加の目的は「友人を得る」がトップ。スコアは前回から大きく減少。

- 全体では「友人を得る」（39.6%）が1位、次いで「趣味と一致する」（29.1%）、「学生生活を楽しむ」（28.8%）が高い。
- 「友人を得る」「学生生活を楽しむ」は前回から減少。

- 性別にみると、男性は「スポーツ技術の向上、競技へ参加する」、女性は「就職に有利だと思った」が高い。
- 学部系統別にみると、「商・経済・経営系」は「友人を得る」、「スポーツ・体育系」は「スポーツ技術の向上、競技へ参加する」、「医・歯・薬・看護系」は「先生や友人との交流を深める」「試験や履修を決めるとき情報を得やすい」がそれぞれ高いという特徴がある。
- 学年別にみると、「1年」は「友人を得る」が他の学年に比べて高い。

■課外活動参加の目的（課外活動参加者／複数回答）

Q４３＿課外活動に参加している理由、目的を選んでください。（２つまで）



			友人を得る	趣味と一致する	学生生活を楽しむ	知識、教養、技術、技能を身につける	スポーツ技術の向上、競技へ参加する	就職に有利だと思った	先生や友人との交流を深める	社会へ貢献する（ボランティアなど）	居場所を確保する	人格形成	健康増進	試験や履修を決めるとき、情報を得やすい	友人や高校の先輩が活動している	参加しないと孤立してしまうと思った	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 4,761)	37.0	25.2	34.2	17.7	16.0	6.8	6.4	5.2	3.5	10.4	2.2	1.8	2.8	1.2	4.3	5.7
	全体【2017】	(n= 7,792)	41.6	27.7	33.6	17.5	13.3	8.6	6.9	5.9	5.1	8.1	3.4	3.0	2.0	1.6	3.3	—
	全体【2021】	(n=10,847)	51.0	27.3	34.9	14.2	10.2	8.3	8.1	5.9	5.0	6.1	3.7	2.9	2.0	2.5	2.5	—
	全体【2025】	(n= 3,646)	39.6	29.1	28.8	17.2	11.7	10.9	9.1	7.4	6.8	6.4	3.4	3.3	2.8	2.2	2.4	—
全体【2025】		(n= 3,646)	39.6	29.1	28.8	17.2	11.7	10.9	9.1	7.4	6.8	6.4	3.4	3.3	2.8	2.2	2.4	—
性別	男性	(n= 1,403)	41.7	29.3	28.1	17.3	17.0	8.4	7.4	5.4	6.6	7.6	3.7	2.9	2.3	2.7	2.3	—
	女性	(n= 2,185)	38.3	28.8	29.4	17.1	8.3	12.7	10.2	8.7	6.6	5.7	3.1	3.5	3.2	1.9	2.5	—
学部系統別	人文科学系	(n= 915)	35.4	32.8	28.1	18.4	7.9	12.3	9.3	9.8	8.0	6.4	3.2	2.3	2.7	2.5	2.7	—
	法律・政治・社会系	(n= 553)	40.9	26.0	30.0	17.5	9.6	13.6	8.1	7.8	7.8	6.9	2.7	3.8	1.4	3.3	2.9	—
	商・経済・経営系	(n= 602)	46.0	23.8	31.1	12.8	11.5	13.1	7.5	5.8	8.3	8.5	4.3	2.2	1.8	1.5	2.5	—
	理・工・農系	(n= 587)	44.5	33.9	32.4	19.1	8.5	8.0	7.0	5.5	6.0	4.9	2.4	4.4	2.7	1.9	1.9	—
	スポーツ・体育系	(n= 194)	18.6	14.4	14.9	21.1	58.8	7.7	8.2	3.1	3.1	9.8	3.6	0.5	4.6	1.0	3.1	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 321)	38.0	27.1	25.9	13.1	11.2	9.3	16.5	6.9	3.4	5.0	5.6	9.3	4.0	2.2	0.6	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 474)	41.6	34.0	29.1	18.8	7.0	7.8	9.5	9.1	6.3	4.6	3.2	1.7	4.0	2.1	2.7	—
学年別	1年	(n= 1,266)	46.1	31.4	27.9	15.6	12.1	8.0	7.8	5.7	5.8	5.3	3.7	4.1	2.9	2.6	2.4	—
	2年	(n= 983)	37.3	29.8	26.6	17.6	11.6	14.1	9.5	7.6	6.0	6.5	3.9	3.2	2.6	2.1	2.2	—
	3年	(n= 719)	36.0	28.8	30.7	19.1	9.6	13.8	8.5	8.8	6.8	6.0	1.9	2.6	2.5	1.7	3.2	—
	4年	(n= 609)	34.6	24.8	32.2	18.2	12.5	8.9	11.0	9.2	9.7	8.5	3.3	2.3	3.1	2.3	1.6	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,488)	41.9	31.0	31.7	17.3	9.1	9.8	8.3	7.5	7.3	6.0	3.8	4.0	1.8	2.2	1.7	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 253)	43.9	30.0	25.3	20.9	11.5	8.3	6.3	5.5	6.3	5.5	4.0	4.7	2.4	3.2	3.2	—
	AO・自己推薦入試	(n= 368)	35.6	32.1	24.7	16.8	11.7	11.4	10.1	7.1	5.7	9.5	3.5	3.0	4.1	2.2	3.0	—
	推薦入試	(n= 1,454)	37.8	26.8	27.5	15.8	14.8	12.5	10.0	7.6	6.7	5.9	2.8	2.4	3.4	2.1	2.8	—
	その他	(n= 83)	34.9	20.5	28.9	28.9	4.8	6.0	9.6	9.6	4.8	12.0	6.0	2.4	3.6	1.2	2.4	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q43_01

課外活動の満足点

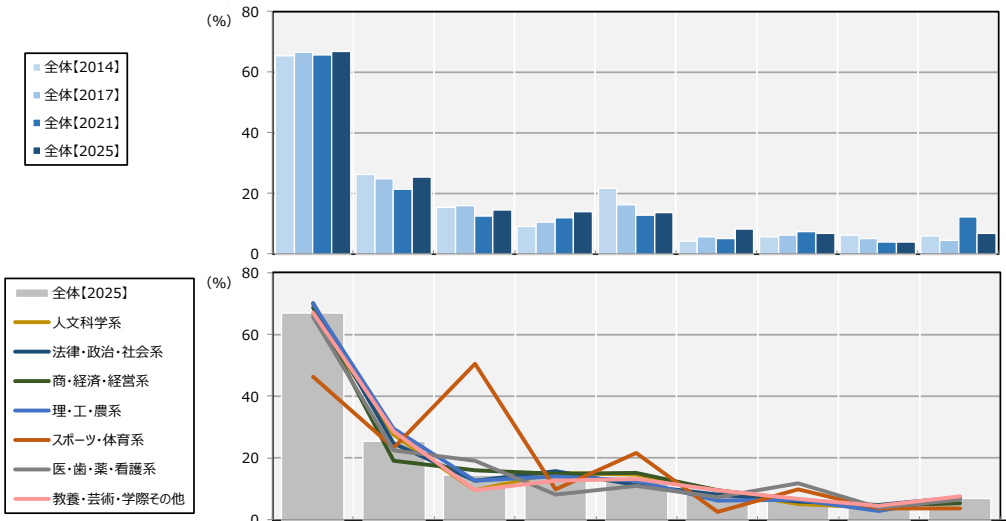
◆「友人、居場所を得た」が1位で、目的とも合致している。

- 「友人、居場所を得た」（66.8%）が突出して高い。
- 2位の「知識、教養、技能、技術が身についた」は前回からスコアがやや増加。

- 性別にみると、男性は「スポーツ技術の向上と競技への参加が果たせた」が女性に比べて高い。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」は「スポーツ技術の向上と競技への参加が果たせた」「人格形成に役立った」、「医・歯・薬・看護系」は「健康増進に役立った」がそれぞれ高いという特徴がある。
- 学年別にみると、「3年」は「知識、教養、技能、技術が身についた」が他の学年に比べて高い。「就職に役立ちそうであった（役立った）」「人格形成に役立った」は学年が上がるほどスコアが高くなっている。

■課外活動の満足点（課外活動参加者／複数回答）

Q４４　課外活動について、満足度の高いものを選んでください。（２つまで）



			友人、居場所を得た	知識、教養、技能、技術が身についた	スポーツ技術の向上と競技への参加が果たせた	就職に役立ちそうであった（役立った）	人格形成に役立った	社会への貢献ができた	健康増進に役立った	愛校心、帰属意識が高まった	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 4,761)	65.5	26.3	15.5	9.1	21.7	4.2	5.7	6.3	6.1	6.4
	全体【2017】	(n= 7,792)	66.6	24.8	16.1	10.6	16.3	5.6	6.2	5.0	4.5	4.6
	全体【2021】	(n=10,847)	65.6	21.4	12.5	11.9	12.9	5.2	7.5	4.0	12.2	—
	全体【2025】	(n= 3,646)	66.8	25.5	14.6	13.9	13.8	8.3	6.8	4.1	6.9	—
全体【2025】		(n= 3,646)	66.8	25.5	14.6	13.9	13.8	8.3	6.8	4.1	6.9	—
性別	男性	(n= 1,403)	67.2	26.3	20.5	12.1	15.2	7.0	8.2	4.1	6.0	—
	女性	(n= 2,185)	66.6	24.9	10.8	15.3	12.9	9.3	5.8	4.1	7.4	—
学部系統別	人文科学系	(n= 915)	66.4	27.5	9.5	15.3	14.6	9.5	5.1	3.9	7.5	—
	法律・政治・社会系	(n= 553)	70.0	24.6	12.8	15.9	11.4	8.3	6.1	4.9	7.4	—
	商・経済・経営系	(n= 602)	68.8	19.1	16.1	15.0	15.1	9.6	6.5	4.5	5.5	—
	理・工・農系	(n= 587)	69.8	29.5	12.6	14.1	12.8	6.3	6.6	2.9	7.3	—
	スポーツ・体育系	(n= 194)	46.4	23.2	50.5	9.8	21.6	2.6	9.8	3.6	3.6	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 321)	65.7	22.4	19.0	8.1	10.9	7.5	11.8	4.0	6.5	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 474)	66.9	28.7	9.5	12.7	13.3	9.7	6.8	4.6	7.6	—
学年別	1年	(n= 1,266)	68.1	21.8	16.3	7.7	9.6	6.5	9.2	4.2	10.3	—
	2年	(n= 983)	67.9	24.9	14.8	13.8	13.8	7.9	6.5	3.2	5.6	—
	3年	(n= 719)	65.1	32.8	12.0	18.8	15.9	9.9	4.0	4.0	5.3	—
	4年	(n= 609)	64.9	26.8	12.8	21.5	19.2	10.8	4.9	5.3	3.9	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,488)	68.9	27.8	12.2	13.1	13.2	7.6	7.1	4.2	7.1	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 253)	71.9	24.9	14.2	13.0	12.6	5.1	7.5	2.4	7.1	—
	AO・自己推薦入試	(n= 368)	63.3	24.5	13.0	13.3	17.4	8.2	7.6	4.3	5.7	—
	推薦入試	(n= 1,454)	65.4	23.4	17.7	15.2	13.3	9.3	5.7	3.7	7.0	—
	その他	(n= 83)	55.4	27.7	13.3	9.6	19.3	14.5	14.5	13.3	3.6	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q44_01

課外活動非参加・中止理由

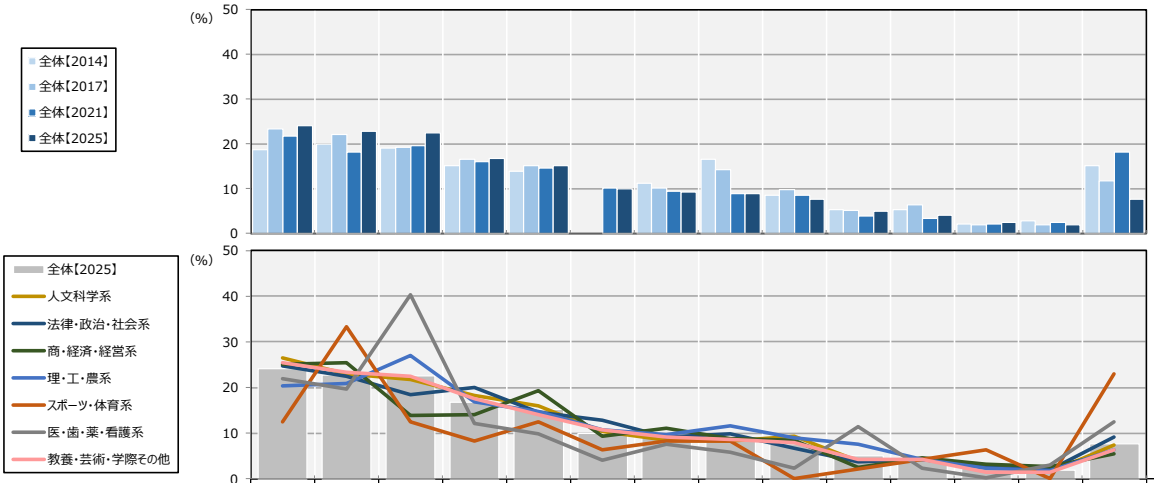
◆課外活動に参加しないのは、「入りたいクラブがない」「アルバイトと両立できない」「勉強と両立できない」。

- 全体では「入りたいクラブがない」（24.1%）が1位。次いで「アルバイトと両立できない」（22.8%）、「勉強と両立できない」（22.5%）が続く。いずれもスコアが前回からやや増加。

- 性別にみると、男性は「興味・関心がない」、女性は「入りたいクラブがない」「アルバイトと両立できない」がそれぞれ高い。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」は「アルバイトと両立できない」、「医・歯・薬・看護系」は「勉強と両立できない」がそれぞれ他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「1年」は「入りたいクラブがない」が他の学年に比べて高い。
- 経済状況別にみると、「経済状況は苦しい」では「アルバイトと両立できない」が26.9%で理由のトップ。また、「経済状況がは苦しい」は「費用がかかり過ぎる」が「経済状況は余裕がある」に比べて高い。

■課外活動非参加・中止理由（課外活動中止・不参加者／複数回答）

Q４５　課外活動に参加していたがやめたまたは最初から参加していない理由を選んでください。（２つまで）



			入りたいクラブがない	アルバイトと両立できない	勉強と両立できない	遠距離通学	興味・関心がない	満足感をもてなかった	何となく	費用がかかり過ぎる	集団生活に拘束されたくない	学内の講座で時間がない	人間関係のトラブル	健康上の理由	学外の講座や各種学校などで時間がない	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 1,993)	18.8	20.0	19.1	15.1	13.9	—	11.2	16.6	8.6	5.3	5.4	2.2	2.8	15.1	5.1
	全体【2017】	(n= 4,577)	23.4	22.2	19.3	16.5	15.2	—	10.1	14.2	9.8	5.1	6.4	2.0	2.0	11.7	—
	全体【2021】	(n= 9,358)	21.8	18.2	19.6	16.1	14.6	10.2	9.5	8.9	8.5	3.9	3.3	2.1	2.5	18.2	—
	全体【2025】	(n= 3,086)	24.1	22.8	22.5	16.7	15.2	10.0	9.2	9.0	7.7	5.0	4.1	2.4	1.9	7.7	—
全体【2025】		(n= 3,086)	24.1	22.8	22.5	16.7	15.2	10.0	9.2	9.0	7.7	5.0	4.1	2.4	1.9	7.7	—
性別	男性	(n= 1,304)	22.4	21.5	21.5	15.8	18.3	10.9	11.3	7.8	7.8	4.6	4.1	2.2	1.8	7.3	—
	女性	(n= 1,708)	25.6	24.6	23.2	17.2	12.9	9.3	7.5	10.0	7.3	5.1	4.2	2.6	2.0	7.8	—
学部系統別	人文科学系	(n= 716)	26.5	22.9	21.8	18.2	15.9	10.3	8.4	8.2	9.4	3.9	4.3	2.9	1.4	7.4	—
	法律・政治・社会系	(n= 476)	24.8	22.5	18.5	20.0	14.5	12.8	9.2	9.9	6.7	3.8	4.2	2.5	1.9	9.2	—
	商・経済・経営系	(n= 566)	25.1	25.4	13.8	14.1	19.3	9.4	11.1	8.8	8.5	2.5	4.6	3.2	2.7	5.5	—
	理・工・農系	(n= 544)	20.4	20.8	27.0	16.9	14.7	10.8	9.6	11.6	9.0	7.5	4.2	2.4	1.8	6.4	—
	スポーツ・体育系	(n= 48)	12.5	33.3	12.5	8.3	12.5	6.3	8.3	8.3	—	2.1	4.2	6.3	—	22.9	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 295)	22.0	19.7	40.3	12.2	9.8	4.1	7.5	5.8	2.4	11.5	2.4	0.3	3.1	12.5	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 441)	25.4	23.4	22.4	17.5	14.1	10.7	9.1	8.6	7.9	4.3	4.3	1.4	1.4	6.3	—
学年別	1年	(n= 734)	32.8	21.5	24.5	16.8	14.7	6.8	10.5	6.3	8.0	4.8	3.0	1.6	2.2	7.1	—
	2年	(n= 706)	25.5	25.9	22.8	19.1	14.3	10.5	8.4	9.2	9.5	4.2	4.2	2.8	1.3	4.5	—
	3年	(n= 669)	22.4	25.3	23.9	16.3	16.6	11.4	9.3	11.2	6.6	5.4	3.9	2.1	1.6	4.2	—
	4年	(n= 856)	18.8	21.6	18.7	16.1	15.7	11.8	8.9	9.9	6.9	5.0	5.1	2.9	1.9	11.1	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,202)	22.5	19.9	20.6	18.8	16.0	12.1	8.4	9.0	9.1	5.0	4.2	2.6	2.2	7.9	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 205)	20.0	18.5	21.0	17.1	13.2	14.6	13.2	11.2	6.8	6.3	4.9	3.4	2.0	7.8	—
	AO・自己推薦入試	(n= 312)	25.6	23.4	24.7	17.6	19.2	4.2	7.4	8.0	4.8	5.8	5.1	2.2	1.6	7.7	—
	推薦入試	(n= 1,234)	26.4	27.1	23.3	14.7	13.7	9.0	9.3	9.4	6.9	4.5	3.6	1.9	1.8	7.5	—
	その他	(n= 133)	20.3	15.8	28.6	12.8	15.8	6.8	14.3	4.5	11.3	6.8	4.5	4.5	1.5	9.0	—
経済状況別	経済状況は余裕がある	(n= 1,076)	24.8	19.5	20.5	16.5	15.8	12.5	9.7	7.0	9.2	4.9	4.4	2.5	2.0	7.3	—
	経済状況は苦しい	(n= 787)	22.1	26.9	26.3	16.0	13.1	8.4	7.8	14.5	7.2	5.0	5.0	2.0	1.7	7.9	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q45_01

ボランティア活動参加経験

◆ボランティア活動参加経験率は23.9%。前回（15.4%）から増加。

- 大学入学後のボランティア活動参加経験が「ある」学生は23.9%。前回から増加し、前々回と同水準。

- 性別にみると、男性（17.4%）よりも女性（28.4%）の方がボランティア活動参加経験率が高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」の活動参加経験率が最も高く、29.0%が参加している。
- 学年別にみると、学年が上がるほど「ある」の割合は高くなる。
- 成績自己評価別にみると、自己評価が高いほど、「ある」の割合は高くなる。

■ボランティア活動参加経験（全体／単一回答）

Q４６　大学入学後、ボランティア活動に参加したことがありますか。（１つだけ）

			ある	ない	無回答
		●凡例			
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	28.8%	70.4	0.7
	全体【2017】	(n=12,369)	24.5	75.5	
	全体【2021】	(n=20,205)	15.4	84.6	
	全体【2025】	(n= 6,732)	23.9	76.1	
全体【2025】		(n= 6,732)	23.9	76.1	
性別	男性	(n= 2,707)	17.4	82.6	
	女性	(n= 3,893)	28.4	71.6	
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	29.0	71.0	
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	25.6	74.4	
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	19.1	80.9	
	理・工・農系	(n= 1,131)	16.0	84.0	
	スポーツ・体育系	(n= 242)	20.2	79.8	
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	27.9	72.1	
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	26.8	73.2	
学年別	1年	(n= 2,000)	14.1	85.9	
	2年	(n= 1,689)	23.7	76.3	
	3年	(n= 1,388)	28.7	71.3	
	4年	(n= 1,465)	32.3	67.7	
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	23.8	76.2	
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	21.4	78.6	
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	27.1	72.9	
	推薦入試	(n= 2,688)	23.5	76.5	
	その他	(n= 216)	25.0	75.0	
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	29.2	70.8	
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	22.0	78.0	
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	19.9	80.1	

Q46_01

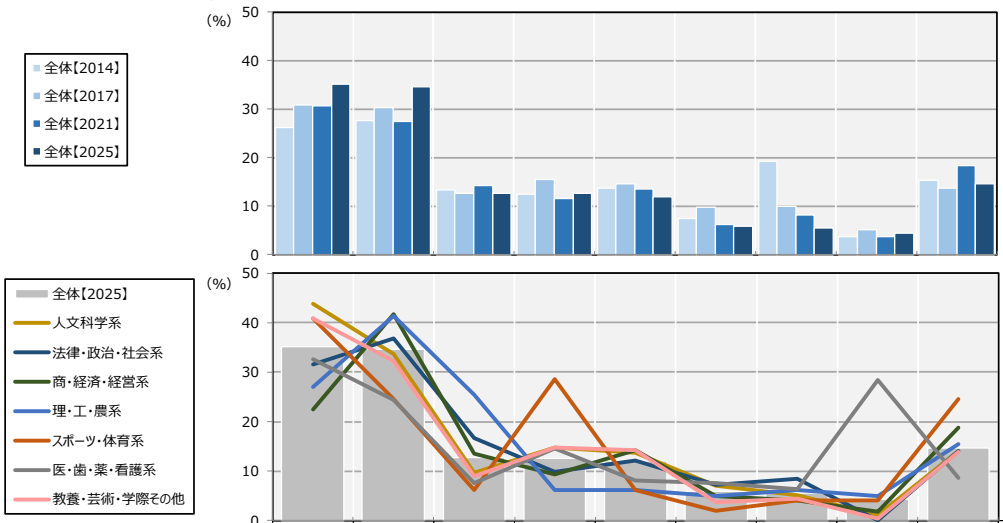
参加したボランティア活動の種類

- ボランティア活動の具体的な内容として多く挙げられたのは「児童福祉関係活動」（35.2%）と「地域活性化活動」（34.7%）。いずれも前回からスコアが増加。
- 「震災等災害関連活動」は前々回以降減少傾向が続く。

- 性別にみると、男性は「地域活性化活動」「環境保全活動」、女性は「児童福祉関係活動」が高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」「教養・芸術・学際その他」では「児童福祉関係活動」、「商・経済・経営系」では「地域活性化活動」、「理・工・農系」では「地域活性化活動」「環境保全活動」、「スポーツ・体育系」では「児童福祉関係活動」「障がい児・者関係活動」、「医・歯・薬・看護系」では「医療・保健関係活動」がそれぞれ高いという特徴がある。

■参加したボランティア活動の種類（ボランティア経験者／複数回答）

Ｑ４７　どのようなボランティア活動に参加しましたか。（主なもの３つまで）



			児童福祉関係活動	地域活性化活動	環境保全活動	障がい児・者関係活動	国際交流活動（国内外）	高齢者関係活動	震災等災害関係活動	医療・保健関係活動	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 1,958)	26.3	27.7	13.4	12.5	13.8	7.5	19.2	3.8	15.4	1.5
	全体【2017】	(n= 3,030)	30.8	30.3	12.6	15.6	14.6	9.8	10.0	5.1	13.8	—
	全体【2021】	(n= 3,108)	30.7	27.5	14.3	11.6	13.6	6.3	8.2	3.7	18.3	—
	全体【2025】	(n= 1,606)	35.2	34.7	12.7	12.6	12.0	5.9	5.6	4.4	14.6	—
全体【2025】		(n= 1,606)	35.2	34.7	12.7	12.6	12.0	5.9	5.6	4.4	14.6	—
性別	男性	(n= 472)	27.3	39.8	15.7	12.1	10.8	5.7	6.8	5.5	14.2	—
	女性	(n= 1,107)	38.0	32.5	11.6	12.5	12.4	6.1	5.2	4.0	15.0	—
学部系統別	人文科学系	(n= 473)	43.8	33.6	9.7	14.8	13.7	7.0	5.1	1.1	14.0	—
	法律・政治・社会系	(n= 263)	31.6	36.9	16.7	9.9	12.2	7.2	8.4	—	14.1	—
	商・経済・経営系	(n= 223)	22.4	41.7	13.5	9.4	14.3	4.9	4.0	1.8	18.8	—
	理・工・農系	(n= 181)	27.1	41.4	25.4	6.1	6.1	5.0	6.1	5.0	15.5	—
	スポーツ・体育系	(n= 49)	40.8	24.5	6.1	28.6	6.1	2.0	4.1	4.1	24.5	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 172)	32.6	24.4	7.6	14.5	8.1	7.6	6.4	28.5	8.7	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 245)	40.8	32.2	9.0	14.7	14.3	3.7	4.5	0.4	13.9	—
学年別	1年	(n= 282)	33.3	38.3	15.6	7.4	11.0	4.3	4.3	2.1	17.4	—
	2年	(n= 401)	35.7	37.7	12.2	11.5	10.5	3.7	4.2	4.5	15.5	—
	3年	(n= 399)	37.6	35.3	11.8	14.5	11.3	6.3	6.0	3.0	14.5	—
	4年	(n= 473)	35.5	30.7	12.5	15.6	14.0	8.2	7.6	5.1	12.1	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 639)	38.2	31.3	12.8	14.6	11.9	4.7	7.4	5.8	13.1	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 98)	36.7	34.7	16.3	13.3	10.2	3.1	2.0	—	16.3	—
	AO・自己推薦入試	(n= 184)	32.1	41.8	12.0	12.5	9.8	6.5	2.7	1.6	17.9	—
	推薦入試	(n= 631)	33.8	35.2	12.5	11.1	11.6	7.4	4.9	4.3	14.9	—
	その他	(n= 54)	24.1	44.4	9.3	7.4	27.8	5.6	9.3	5.6	13.0	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q47_01

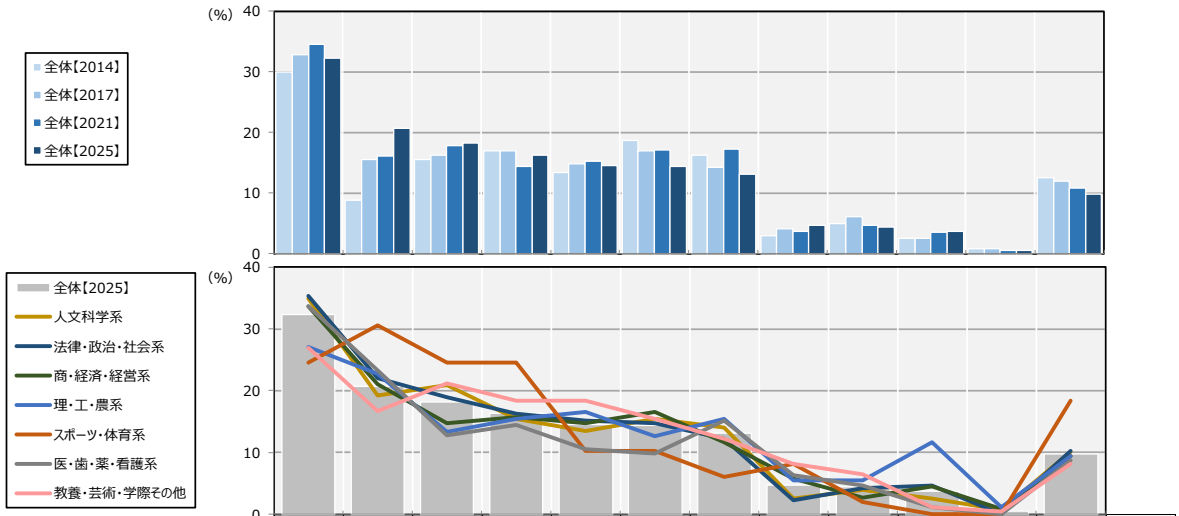
ボランティア活動参加の理由

- 参加の理由で最も多く挙げられたのは「社会勉強」（32.3%）。次いで、「就職に役立てる」「大学生活を充実させる」が高く。どちらもスコアの増加傾向が続いている。

- 性別にみると、男性（18.0%）は女性（12.9%）より「自分を試したかった」が高い。
- 学部系統別にみると、「理・工・農系」は「環境保全や文化財保護」、「スポーツ・体育系」は「就職に役立てる」「大学生活を充実させる」「友人に誘われて」が高い。
- 入試方法別にみると、「大学入学共通テスト（センター試験）のみ」で「社会勉強」が他の入試方法に比べて高い。

■ボランティア活動参加の理由（ボランティア経験者／複数回答）

Q４８　ボランティア活動に参加した理由は何ですか。（２つまで）



			社会勉強	就職に役立てる	大学生活を充実させる	友人に誘われて	自分を試したかった	参加している団体の活動として	困った人を助けたい	単位が認定される	正課の授業に組み込まれていた	環境保全や文化財保護	宗教上の理由	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 1,958)	30.0	8.8	15.6	17.0	13.4	18.7	16.2	3.0	5.0	2.6	0.8	12.6	4.0
	全体【2017】	(n= 3,030)	32.8	15.6	16.2	17.0	14.8	17.0	14.2	4.2	6.2	2.5	0.8	12.0	—
	全体【2021】	(n= 3,108)	34.6	16.1	17.9	14.4	15.3	17.1	17.3	3.7	4.7	3.6	0.6	10.9	—
	全体【2025】	(n= 1,606)	32.3	20.7	18.2	16.3	14.6	14.4	13.1	4.7	4.4	3.7	0.6	9.8	—
全体【2025】		(n= 1,606)	32.3	20.7	18.2	16.3	14.6	14.4	13.1	4.7	4.4	3.7	0.6	9.8	—
性別	男性	(n= 472)	31.4	18.6	16.7	15.7	18.0	15.3	14.4	3.2	4.2	7.4	1.3	10.0	—
	女性	(n= 1,107)	32.3	21.8	19.0	16.7	12.9	14.4	12.6	5.3	4.5	2.3	0.3	9.8	—
学部系統別	人文科学系	(n= 473)	34.9	19.2	20.9	15.4	13.5	15.4	14.0	2.5	4.0	2.5	0.8	10.1	—
	法律・政治・社会系	(n= 263)	35.4	22.1	19.0	16.3	15.2	14.8	12.2	2.3	4.2	4.6	—	10.3	—
	商・経済・経営系	(n= 223)	33.6	21.1	14.8	15.7	14.8	16.6	11.7	5.8	2.7	4.5	0.9	9.4	—
	理・工・農系	(n= 181)	27.1	22.7	13.3	15.5	16.6	12.7	15.5	5.5	5.5	11.6	1.1	9.4	—
	スポーツ・体育系	(n= 49)	24.5	30.6	24.5	24.5	10.2	10.2	6.1	8.2	2.0	—	—	18.4	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 172)	33.7	23.3	12.8	14.5	10.5	9.9	15.1	6.4	4.7	1.2	—	8.7	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 245)	26.9	16.7	21.2	18.4	18.4	15.5	12.2	8.2	6.5	1.2	0.4	8.2	—
学年別	1年	(n= 282)	31.6	16.0	20.2	14.5	16.0	23.0	14.2	2.8	3.5	2.5	—	10.6	—
	2年	(n= 401)	30.7	21.7	13.2	17.2	17.0	14.2	11.7	9.0	6.2	3.0	0.5	8.2	—
	3年	(n= 399)	33.1	22.8	19.0	16.0	13.5	13.0	10.3	3.8	2.3	4.3	1.0	11.3	—
	4年	(n= 473)	33.8	22.4	20.7	16.7	12.5	11.4	15.4	3.0	5.5	5.1	0.6	8.7	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 639)	32.1	20.5	19.9	15.3	13.6	16.9	14.7	4.1	3.8	3.8	0.6	8.1	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 98)	38.8	15.3	17.3	16.3	14.3	15.3	11.2	2.0	7.1	6.1	—	12.2	—
	AO・自己推薦入試	(n= 184)	31.5	20.7	16.3	13.6	16.3	13.6	14.7	5.4	7.6	6.0	0.5	9.2	—
	推薦入試	(n= 631)	31.7	22.5	17.1	18.2	14.7	12.2	10.9	4.8	3.8	2.9	0.3	11.1	—
	その他	(n= 54)	31.5	13.0	18.5	13.0	20.4	13.0	18.5	14.8	3.7	1.9	3.7	11.1	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q48_01

6章：不安・悩み

- **何でも話せる友人の有無**
  自分のことを何でも話せる友人が「いる」と回答した学生は80.2%。前々回から横ばい。

- **現在の不安・悩み**
  悩みの内容の1位は「就職や将来の進路」だが、前回からスコアは減少。

- **不安や悩みの相談（意向）先**
  「友人」が依然トップだが、スコアの減少傾向が続く。

- **ハラスメント・犯罪被害経験の有無**
  ハラスメントを「受けたことがある」は3.5%で前回から横ばい。

- **受けたハラスメントの内容**
  ハラスメントの内容で回答が多かったのは、「セクシュアル・ハラスメント」（38.6%）だが、前回からスコアは減少。

- **受けた犯罪の内容**
  「受けた犯罪の内容」のトップは「性被害」（42.2%）。「ストーカー行為」（21.9%）が続く。

- **ハラスメント・犯罪被害時に支援してくれた人**
  ハラスメントや犯罪被害にあった人のうち、「誰にも言わなかった（言えなかった）」は約2割（19.6%）。
  支援してくれた人では、「友人・先輩など」が約半数（55.8%）、「家族」が35.1%。いずれも前回からスコアが増加。

コメント

不安・悩みの内容のトップは「就職や将来の進路」だが、比率は前回から減少している。2位の「授業など学業」も同様。

ハラスメント・犯罪被害経験は全体的に横ばいである。継続して指摘しているが、“減ったからよい”という類の課題ではない。先にみた不安・悩みの相談先と同様、**ハラスメント・犯罪被害時に**、「誰にも言わなかった（言えなかった）」が約2割に達する点に留意すべきだろう。

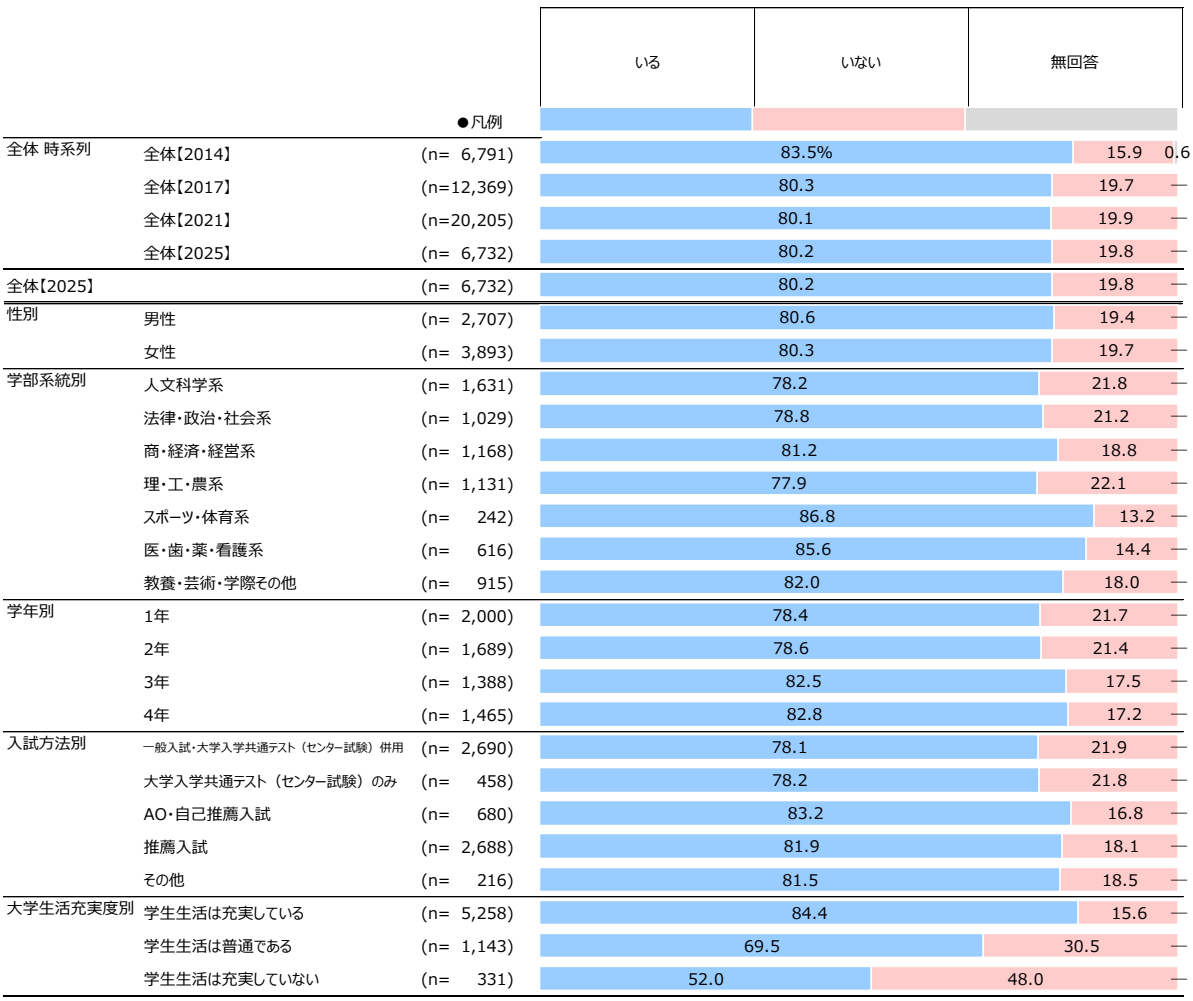
何でも話せる友人の有無

◆自分のことを何でも話せる友人が「いる」と回答した学生は80.2%。前々回から横ばい。

- 学部系統別にみると、「いる」の割合が高いのは「スポーツ・体育系」（86.8%）、「医・歯・薬・看護系」（85.6%）。
- 学年別にみると、1・2年の方が3・4年よりも「いる」の割合が高い。
- 大学生活充実度別にみると、充実度が高いほど「いる」の割合が高くなる。

■何でも話せる友人の有無（全体／単一回答）

Q４９　現在、自分のことを何でも話せる友人がいますか。（１つだけ）



Q49_01

現在の不安や悩み

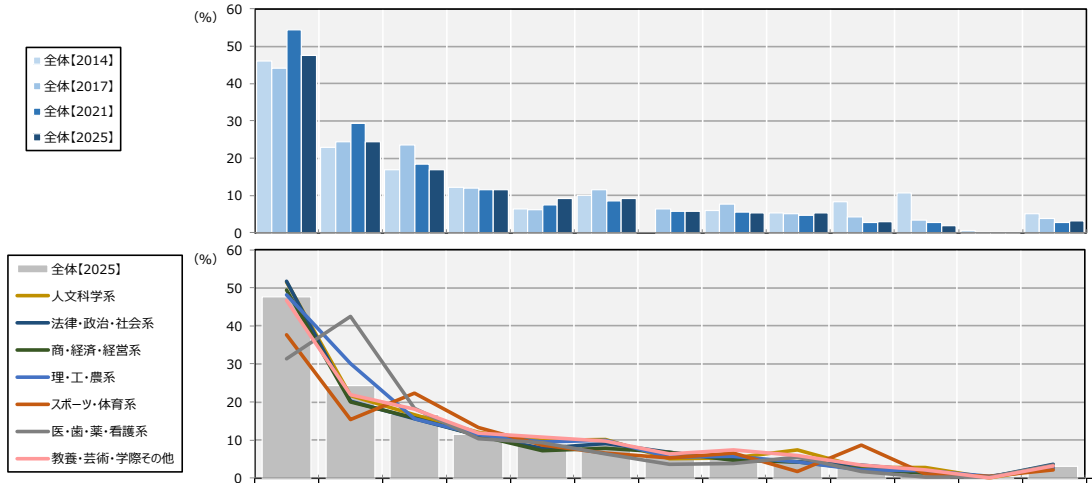
◆悩みの内容の1位は「就職や将来の進路」だが、前回からスコアは減少。

- 「就職や将来の進路」が47.6%で1位。前回（54.4%）から約7ポイント減少した。同様に、「授業など学業」も前回比5ポイント程度減少。

- 学部系統別では、「理・工・農系」「医・歯・薬・看護系」では「授業など学業」、「スポーツ・体育系」では「友人等との対人関係」「課外活動」「特に不安や悩みはない」が他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「1年」は「授業など学業」「友人等との対人関係」「3年」では「就職や将来の進路」が高い。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」と回答した人の「特に不安や悩みはない」の比率が高い。「自分の事を何でも話せる友人がいない」層は「友人等との対人関係」が高い。

■現在の不安や悩み（全体／複数回答）

Ｑ５０　いま、抱えている不安や悩みはどのようなものですか。（２つまで）



			就職や将来の進路	授業など学業	友人等との対人関係	経済的な問題（家計・学費・ローン等）	健康	性格	アルバイト	価値観	家族や家庭内のこと	課外活動	性についての問題	ネット上のトラブル	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	46.1	22.8	16.8	12.3	6.5	10.0	—	5.9	5.4	8.3	10.6	0.6	5.2	10.1	2.1
	全体【2017】	(n=12,369)	44.2	24.5	23.6	12.0	6.1	11.5	6.5	7.6	5.2	4.3	3.5	0.3	3.8	10.5	—
	全体【2021】	(n=20,205)	54.4	29.3	18.3	11.5	7.4	8.5	5.7	5.6	4.8	2.8	2.7	0.2	2.8	11.0	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	47.6	24.3	16.8	11.5	9.1	9.1	5.8	5.4	5.3	2.9	1.9	0.2	3.1	15.8	—
全体【2025】		(n= 6,732)	47.6	24.3	16.8	11.5	9.1	9.1	5.8	5.4	5.3	2.9	1.9	0.2	3.1	15.8	—
性別	男性	(n= 2,707)	44.8	24.8	15.5	12.6	8.2	8.1	5.2	5.5	2.8	2.7	2.6	0.3	2.7	19.8	—
	女性	(n= 3,893)	50.0	23.8	17.7	10.7	9.5	9.8	6.3	5.2	6.8	3.1	1.3	0.1	3.2	13.1	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	51.5	21.6	16.7	12.0	9.9	10.1	5.1	5.4	7.5	2.8	2.9	0.1	2.9	12.8	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	51.7	20.3	15.7	11.2	7.9	9.2	6.7	4.8	4.2	3.4	2.0	0.2	3.7	16.3	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	49.4	20.0	15.8	11.1	7.2	7.9	6.8	4.6	4.3	2.3	1.4	0.2	3.2	18.5	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	48.2	30.2	15.7	11.4	9.5	10.0	5.5	5.7	4.2	2.2	2.0	0.4	2.5	15.6	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	37.6	15.3	22.3	13.2	8.7	6.6	5.4	6.6	1.7	8.7	1.2	0.4	2.1	24.8	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	31.3	42.4	18.3	10.4	9.3	6.3	3.7	3.9	5.5	1.8	0.2	0.2	3.4	18.0	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	46.8	21.9	18.1	11.8	10.8	9.8	6.4	7.5	5.9	3.4	2.1	—	3.3	14.0	—
学年別	1年	(n= 2,000)	34.1	31.3	22.1	11.1	8.7	9.1	8.8	6.2	3.7	3.1	1.9	0.1	3.5	18.0	—
	2年	(n= 1,689)	49.7	26.2	18.9	10.9	9.3	9.4	6.3	4.7	5.7	4.3	2.1	0.3	3.0	12.7	—
	3年	(n= 1,388)	66.6	17.6	13.0	11.8	9.0	8.9	4.3	4.5	4.6	2.4	1.6	0.1	1.9	10.9	—
	4年	(n= 1,465)	47.0	17.1	11.3	12.6	9.2	9.2	2.9	6.2	6.9	1.6	2.3	0.3	3.8	20.7	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	48.6	22.8	17.0	12.1	9.9	9.6	5.4	5.4	5.1	2.4	2.1	0.3	3.5	15.4	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	50.2	22.5	16.8	11.6	7.6	12.9	5.5	6.8	4.6	4.4	2.8	0.2	2.2	14.8	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	44.9	25.4	18.4	11.8	11.2	9.4	5.3	5.6	6.5	2.5	2.4	0.1	2.5	14.4	—
	推薦入試	(n= 2,688)	47.4	25.6	15.7	10.2	8.0	8.0	6.5	5.4	5.1	3.2	1.5	0.1	3.0	16.9	—
	その他	(n= 216)	42.1	26.9	23.1	18.5	10.2	6.5	3.7	2.3	6.0	3.2	2.3	—	2.3	14.4	—
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	48.1	24.6	15.4	11.5	8.6	7.9	6.0	4.7	4.5	2.8	1.9	0.1	2.9	17.2	—
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	45.9	22.9	22.6	11.6	11.3	13.8	5.0	8.4	8.3	3.3	2.3	0.4	3.6	10.2	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※2025年質問文変更、2021年までは「いま、あなたに不安や悩みがあるとすれば、それはどのようなものですか。」
※「アルバイト」は2017年追加
※「性についての問題」は2017年文言変更、2014年までは「異性問題」

Q50_01

不安や悩みの相談（意向）先

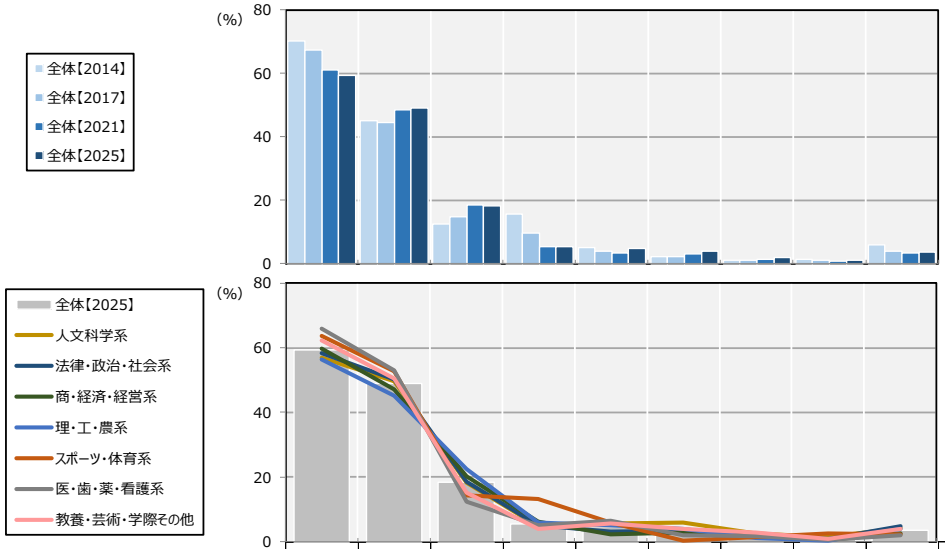
◆「友人」が依然トップだが、スコアの減少傾向が続く。

- 不安・悩みの主な相談相手の1位は「友人」だが、減少傾向が続いている。

- 性別にみると、男性は女性に比べて「誰とも相談しない」が高い。また、男性は女性に比べて「家族」の比率が低い。
- 学部系統別にみると、「スポーツ・体育系」は「先輩」、「医・歯・薬・看護系」は「友人」の比率が他の学部系統に比べてやや高い。
- 学年別にみると、3・4年は1・2年に比べて「友人」が高い。
- 成績自己評価別にみると、「成績自己評価上位」は「家族」が他2層に比べて高い。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいる」と回答した人の「友人」の比率が7割を超えており、「自分の事を何でも話せる友人がいない」層を大きく上回る。また、「家族」も「自分の事を何でも話せる友人がいる」層のスコアが「自分の事を何でも話せる友人がいない」層を大きく上回る。逆に、「自分の事を何でも話せる友人がいない」層の「誰とも相談しない」は4割を超えている。

■不安や悩みの相談（意向）先（悩みあり回答者／複数回答）

Q５１　その不安や悩みについて誰に相談しましたか。または相談しようと思っていますか。主な相談相手を選んでください。（２つまで）



			友人	家族	誰とも相談しない	先輩	大学の教職員	学生相談室	医師	出身校の教師	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 5,961)	70.3	45.0	12.6	15.6	5.0	2.2	1.1	1.4	6.1	0.6
	全体【2017】	(n=11,066)	67.5	44.6	14.8	9.7	3.9	2.3	1.1	1.2	4.1	—
	全体【2021】	(n=17,977)	61.2	48.5	18.5	5.4	3.3	3.2	1.4	0.9	3.4	—
	全体【2025】	(n= 5,665)	59.3	49.0	18.3	5.5	4.7	4.0	2.1	1.0	3.7	—
全体【2025】		(n= 5,665)	59.3	49.0	18.3	5.5	4.7	4.0	2.1	1.0	3.7	—
性別	男性	(n= 2,171)	57.1	44.9	21.4	6.8	5.4	4.0	1.7	0.7	3.5	—
	女性	(n= 3,384)	61.0	51.9	16.2	4.7	4.1	3.9	2.2	1.2	3.9	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,423)	56.9	49.7	18.4	4.8	5.6	6.1	2.5	1.5	4.3	—
	法律・政治・社会系	(n= 861)	58.4	50.1	18.7	5.1	3.3	3.5	2.3	1.0	4.9	—
	商・経済・経営系	(n= 952)	59.8	47.1	20.2	6.2	2.4	3.0	1.8	0.7	2.7	—
	理・工・農系	(n= 955)	56.3	45.2	22.5	6.1	5.0	4.0	1.3	0.5	4.0	—
	スポーツ・体育系	(n= 182)	63.7	52.7	14.3	13.2	6.0	0.5	1.6	2.7	2.2	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 505)	65.9	52.9	12.3	5.1	6.5	2.0	1.8	0.6	2.0	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 787)	62.3	50.4	15.2	4.1	5.6	3.9	2.8	0.8	3.9	—
学年別	1年	(n= 1,640)	57.4	49.9	20.7	4.9	1.8	2.6	1.1	1.5	3.3	—
	2年	(n= 1,474)	58.1	48.4	19.5	6.3	2.8	3.5	2.3	1.2	3.2	—
	3年	(n= 1,237)	62.7	48.8	15.6	6.6	7.7	4.3	2.0	0.4	4.2	—
	4年	(n= 1,162)	60.3	48.9	16.6	4.4	8.0	5.4	2.7	0.6	4.9	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,275)	58.3	48.0	18.6	5.2	4.5	4.1	2.6	0.8	3.6	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 390)	60.8	46.4	20.5	4.9	3.6	4.6	1.8	0.8	4.1	—
	AO・自己推薦入試	(n= 582)	55.2	48.3	19.2	5.3	5.3	5.2	3.6	0.9	3.8	—
	推薦入試	(n= 2,233)	60.9	50.5	17.8	6.0	4.5	3.3	1.2	1.1	3.7	—
	その他	(n= 185)	62.2	52.4	13.0	4.9	9.7	5.4	2.2	2.2	5.4	—
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 1,771)	57.8	55.7	16.3	6.1	6.7	4.0	2.4	1.1	3.3	—
	成績自己評価中位	(n= 2,720)	61.6	48.2	18.2	5.3	3.7	3.4	1.5	1.0	3.6	—
	成績自己評価下位	(n= 1,174)	56.1	40.9	21.7	5.1	4.1	5.3	3.0	0.9	4.6	—
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 4,471)	70.3	52.0	11.8	6.2	4.8	3.4	1.6	0.7	3.2	—
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,194)	18.0	37.8	42.9	3.0	4.3	6.4	3.9	2.0	5.6	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q51_01

ハラスメント・犯罪被害経験の有無

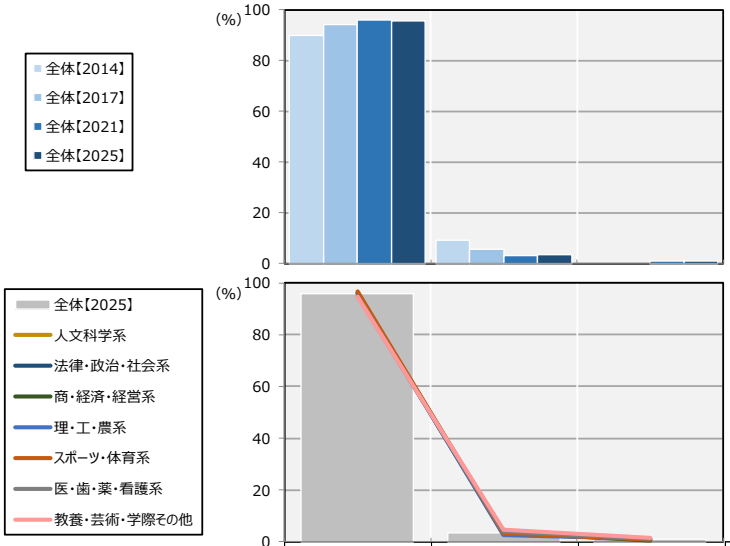
◆ハラスメントを「受けたことがある」は3.5%。

- 大学生活においてハラスメントを「受けたことがある」と回答したのは3.5%で、前回と同水準。

- 性別にみると、女性の方がわずかに「ハラスメントを受けたことがある」のスコアが高い。
- 学年別にみると、1・2年よりも3・4年の方が「ハラスメントを受けたことがある」の割合は高い。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいない」と回答した人の「ハラスメントを受けたことがある」の比率が5.3%であり、「自分の事を何でも話せる友人がいる」層をわずかではあるが上回る。

■ハラスメント・犯罪被害経験の有無（全体／複数回答）

Q52　大学入学後ハラスメント<いやがらせ>や犯罪等の被害を受けたと感じたことがありますか。（2つまで）



			受けたことがない	ハラスメントを受けたことがある	犯罪等の被害を受けたことがある	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	89.9	9.3	—	0.8
	全体【2017】	(n=12,369)	94.4	5.6	—	—
	全体【2021】	(n=20,205)	96.0	3.1	1.1	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	95.8	3.5	1.0	—
全体【2025】		(n= 6,732)	95.8	3.5	1.0	—
性別	男性	(n= 2,707)	97.3	2.2	0.6	—
	女性	(n= 3,893)	94.9	4.2	1.1	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	95.9	3.4	0.7	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	95.9	3.0	1.3	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	96.1	3.5	0.6	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	96.4	2.7	1.1	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	96.7	3.3	0.8	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	95.0	4.1	1.0	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	94.5	4.5	1.4	—
学年別	1年	(n= 2,000)	97.9	1.5	0.6	—
	2年	(n= 1,689)	96.4	2.9	0.9	—
	3年	(n= 1,388)	94.0	5.0	1.2	—
	4年	(n= 1,465)	94.3	4.8	1.2	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	95.3	3.8	1.0	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	96.1	3.7	0.4	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	95.0	3.8	1.6	—
	推薦入試	(n= 2,688)	96.7	2.6	0.8	—
	その他	(n= 216)	91.7	7.9	0.9	—
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 5,402)	96.3	3.0	0.9	—
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 1,330)	93.6	5.3	1.3	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q52_01

受けたハラスメントの内容

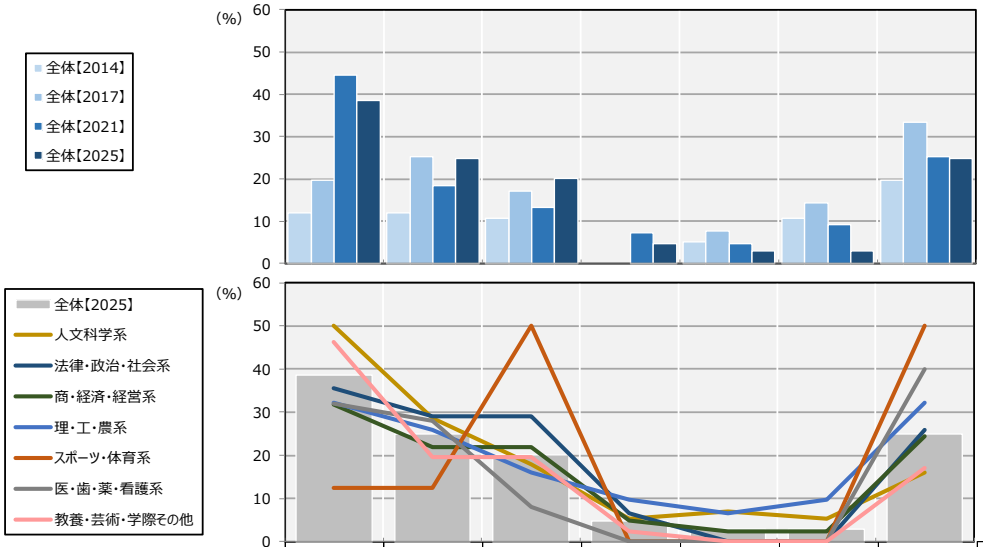
◆ハラスメントの内容で回答が多かったのは、「セクシュアル・ハラスメント」（38.6%）。

- 全体では、「セクシャル・ハラスメント」がトップだが、スコアは前回から減少している。一方、「アカデミック・ハラスメント」「いじめ」は前回から増加し、2割を超えた。

- 性別にみると、女性の「セクシュアル・ハラスメント」が5割近くに達している一方、男性は「セクシュアル・ハラスメント」以外の項目の比率が女性よりも高い。
- 学部系統別にみると「人文科学系」「教養・芸術・学際その他」では「セクシュアル・ハラスメント」、「法律・政治・社会系」では「いじめ」、「理・工・農系」では「ＳＮＳによる情報の拡散」「飲酒の強要」が他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「4年」は「セクシュアル・ハラスメント」「アカデミック・ハラスメント」が他の学年に比べて高い。
- 何でも話せる友人の有無別では、「自分の事を何でも話せる友人がいる」層では「セクシュアル・ハラスメント」、「自分の事を何でも話せる友人がいない」層では「アカデミック・ハラスメント」「いじめ」がそれぞれ高くなっている。

■受けたハラスメントの内容（ハラスメント経験者／複数回答）

Ｑ５３　ハラスメント<いやがらせ>等の内容は次のどれですか。（すべて）



			セクシュアル・ハラスメント	アカデミック・ハラスメント	いじめ	ＳＮＳによる情報の拡散	中傷メール	飲酒の強要	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 631)	11.9	12.0	10.8	—	5.1	10.6	19.7	45.6
	全体【2017】	(n= 687)	19.7	25.2	17.2	—	7.6	14.4	33.5	4.5
	全体【2021】	(n= 632)	44.6	18.5	13.3	7.3	4.7	9.3	25.3	—
	全体【2025】	(n= 233)	38.6	24.9	20.2	4.7	3.0	3.0	24.9	—
全体【2025】		(n= 233)	38.6	24.9	20.2	4.7	3.0	3.0	24.9	—
性別	男性	(n= 60)	**10.0**	**40.0**	26.7	5.0	6.7	5.0	33.3	—
	女性	(n= 165)	48.5	**19.4**	18.2	4.2	1.8	2.4	21.8	—
学部系統別	人文科学系	(n= 56)	**50.0**	28.6	17.9	5.4	7.1	5.4	**16.1**	—
	法律・政治・社会系	(n= 31)	35.5	29.0	29.0	6.5	—	—	25.8	—
	商・経済・経営系	(n= 41)	**31.7**	22.0	22.0	4.9	2.4	2.4	24.4	—
	理・工・農系	(n= 31)	**32.3**	25.8	16.1	9.7	6.5	9.7	32.3	—
	スポーツ・体育系	(n= 8)	**12.5**	**12.5**	**50.0**	—	—	—	**50.0**	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 25)	**32.0**	28.0	**8.0**	—	—	—	**40.0**	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 41)	46.3	**19.5**	19.5	2.4	—	—	**17.1**	—
学年別	1年	(n= 30)	**33.3**	23.3	23.3	3.3	—	—	23.3	—
	2年	(n= 49)	38.8	20.4	**14.3**	6.1	6.1	2.0	32.7	—
	3年	(n= 70)	34.3	22.9	24.3	5.7	2.9	1.4	22.9	—
	4年	(n= 70)	45.7	27.1	17.1	4.3	2.9	7.1	25.7	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 103)	40.8	26.2	16.5	6.8	3.9	2.9	27.2	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 17)	41.2	23.5	29.4	—	—	—	23.5	—
	AO・自己推薦入試	(n= 26)	**50.0**	**19.2**	**11.5**	3.8	7.7	—	23.1	—
	推薦入試	(n= 70)	**32.9**	24.3	24.3	2.9	1.4	5.7	24.3	—
	その他	(n= 17)	**29.4**	29.4	29.4	5.9	—	—	**17.6**	—
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 163)	46.0	20.9	16.0	4.9	3.1	3.1	26.4	—
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 70)	**21.4**	34.3	30.0	4.3	2.9	2.9	21.4	—

※「全体【2025】」で降順ソート
※「ＳＮＳによる情報の拡散」は2021年追加

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q53_01

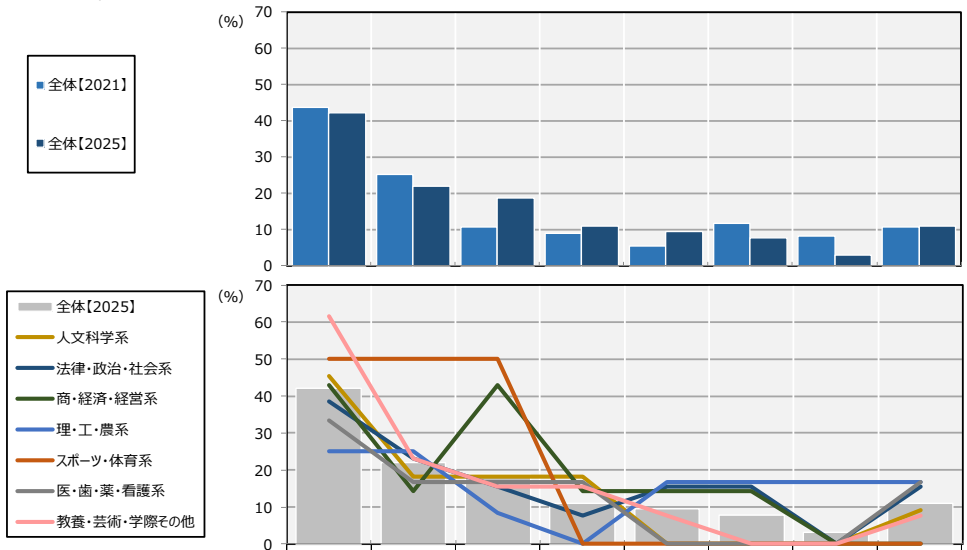
受けた犯罪の内容

◆「受けた犯罪の内容」のトップは「性被害」（42.2%）。「ストーカー行為」（21.9%）が続く。

- 全体では、「金品の盗難」のスコアが前回から増加。

■受けた犯罪の内容（犯罪経験者／複数回答）

Ｑ５４　犯罪等の内容は次のどれですか。（すべて）



			性被害	ストーカー行為	金品の盗難	詐欺被害（ローン・投資等）	金品の要求・脅し	違法行為への勧誘・巻き込まれ（特殊詐欺・ねずみ講・マルチ商法等）	暴行被害	その他
全体 時系列	全体【2021】	(n= 231)	43.7	25.1	10.8	9.1	5.6	11.7	8.2	10.8
	全体【2025】	(n= 64)	42.2	21.9	18.8	10.9	9.4	7.8	3.1	10.9
全体【2025】		(n= 64)	42.2	21.9	18.8	10.9	9.4	7.8	3.1	10.9
性別	男性	(n= 17)	11.8	11.8	41.2	11.8	23.5	17.6	5.9	11.8
	女性	(n= 42)	50.0	28.6	11.9	11.9	4.8	4.8	2.4	9.5
学部系統別	人文科学系	(n= 11)	45.5	18.2	18.2	18.2	—	—	—	9.1
	法律・政治・社会系	(n= 13)	38.5	23.1	15.4	7.7	15.4	15.4	—	15.4
	商・経済・経営系	(n= 7)	42.9	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	—	—
	理・工・農系	(n= 12)	25.0	25.0	8.3	—	16.7	16.7	16.7	16.7
	スポーツ・体育系	(n= 2)	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 6)	33.3	16.7	16.7	16.7	—	—	—	16.7
	教養・芸術・学際その他	(n= 13)	61.5	23.1	15.4	15.4	7.7	—	—	7.7
学年別	1年	(n= 12)	41.7	16.7	—	16.7	16.7	8.3	—	16.7
	2年	(n= 16)	50.0	25.0	25.0	6.3	—	6.3	—	6.3
	3年	(n= 17)	47.1	23.5	11.8	11.8	11.8	5.9	—	11.8
	4年	(n= 17)	29.4	23.5	35.3	11.8	11.8	11.8	11.8	5.9
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 28)	57.1	14.3	14.3	10.7	10.7	7.1	7.1	10.7
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 2)	—	—	100.0	—	—	—	—	—
	AO・自己推薦入試	(n= 11)	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1	—	—	27.3
	推薦入試	(n= 21)	28.6	33.3	19.0	9.5	9.5	14.3	—	4.8
	その他	(n= 2)	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 47)	40.4	23.4	23.4	8.5	8.5	6.4	2.1	10.6
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 17)	47.1	17.6	5.9	17.6	11.8	11.8	5.9	11.8

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q54_01

ハラスメント・犯罪被害時に支援してくれた人

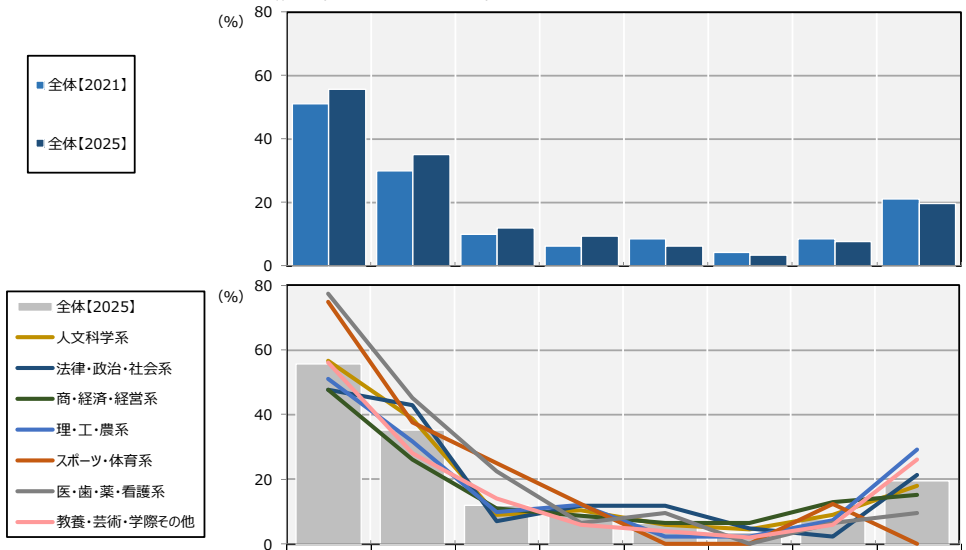
◆ハラスメントや犯罪被害にあった人のうち、「誰にも言わなかった（言えなかった）」は約2割（19.6%）。
◆支援してくれた人では、「友人・先輩など」が約半数（55.8%）、「家族」が35.1%。いずれも前回からスコアが増加。

- 「大学の先生や職員」は11.9%。

- 性別にみると、「誰にも言わなかった（言えなかった）」は男性の方が高い。男性は「大学の先生や職員」、女性は「友人・先輩など」が高い。
- 学部系統にみると、「法律・政治・社会系」では「家族」「関係の警察署・警察官」、「理・工・農系」は「誰にも言わなかった」、「医・歯・薬・看護」では「友人・先輩など」「家族」「大学の先生や職員」が他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「1年」の「家族」、「3年」の「大学の先生や職員」の比率が他の学年に比べて高い。
- 入試方法別にみると、「ＡＯ・自己推薦」では「友人・先輩など」「大学の先生や職員」「関係の警察署・警察官」、「推薦入試」では「家族」がそれぞれ他の入試方法に比べて高い。
- 何でも話せる友人の有無別にみると、「自分の事を何でも話せる友人がいない」層の約3割が、「誰にも言わなかった（言えなかった）」と回答。

■ハラスメント・犯罪被害時に支援してくれた人（ハラスメント・犯罪経験者／複数回答）

Ｑ５５　ハラスメントや犯罪等の被害にあった時、あなたの力になってくれたのは次の誰（どこ）でしたか。（主な３つまで）



			友人・先輩など	家族	大学の先生や職員	大学の相談室や医務室	関係の警察署・警察官	専門機関の相談員や医師、弁護士など	その他	誰にも言わなかった（言えなかった）
全体 時系列	全体【2021】	(n= 804)	51.2	30.0	10.0	6.2	8.5	4.2	8.6	21.1
	全体【2025】	(n= 285)	55.8	35.1	11.9	9.5	6.3	3.5	7.7	19.6
全体【2025】		(n= 285)	55.8	35.1	11.9	9.5	6.3	3.5	7.7	19.6
性別	男性	(n= 74)	44.6	32.4	20.3	12.2	5.4	6.8	9.5	23.0
	女性	(n= 199)	60.3	36.2	9.0	7.5	7.0	2.5	6.5	18.6
学部系統別	人文科学系	(n= 67)	56.7	38.8	9.0	10.4	6.0	4.5	9.0	17.9
	法律・政治・社会系	(n= 42)	47.6	42.9	7.1	11.9	11.9	4.8	2.4	21.4
	商・経済・経営系	(n= 46)	47.8	26.1	10.9	8.7	6.5	6.5	13.0	15.2
	理・工・農系	(n= 41)	51.2	31.7	9.8	12.2	2.4	2.4	7.3	29.3
	スポーツ・体育系	(n= 8)	75.0	37.5	25.0	12.5	—	—	12.5	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 31)	77.4	45.2	22.6	6.5	9.7	—	6.5	9.7
	教養・芸術・学際その他	(n= 50)	56.0	28.0	14.0	6.0	4.0	2.0	6.0	26.0
学年別	1年	(n= 42)	47.6	50.0	9.5	4.8	4.8	4.8	7.1	21.4
	2年	(n= 61)	52.5	29.5	3.3	6.6	4.9	6.6	11.5	23.0
	3年	(n= 83)	57.8	37.3	18.1	10.8	9.6	2.4	7.2	18.1
	4年	(n= 84)	59.5	29.8	10.7	11.9	6.0	2.4	6.0	16.7
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 127)	56.7	33.9	10.2	11.0	6.3	2.4	10.2	18.9
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 18)	38.9	27.8	11.1	—	5.6	16.7	5.6	22.2
	AO・自己推薦入試	(n= 34)	61.8	29.4	14.7	17.6	11.8	5.9	8.8	14.7
	推薦入試	(n= 88)	60.2	42.0	11.4	5.7	5.7	2.3	4.5	20.5
	その他	(n= 18)	33.3	27.8	22.2	11.1	—	—	5.6	27.8
何でも話せる友人の有無別	自分のことを何でも話せる友人がいる	(n= 200)	64.5	33.0	12.5	10.0	6.5	2.0	6.0	15.5
	自分のことを何でも話せる友人がいない	(n= 85)	35.3	40.0	10.6	8.2	5.9	7.1	11.8	29.4

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q55_01

7章：進路・就職

- **就職に関して不安に感じること**
  「就職できるかどうか」の不安がトップ。前回からスコアは減少。

- **希望進路**
  希望進路の1位は「民間企業・団体」で前回から減少。

- **就職希望の民間企業・団体**
  「安定している」が突出して高く、スコアは前回から横ばい。

- **就職活動と学業の両立状況**
  就職活動と学業の両立ができていると回答したのは46.9%。

コメント

前回は、「就職できるかどうか」、「就職すること自体」への不安が増加したが、今回、それらの項目の比率は減少。「自分の適性にあった職業を選べるかどうか」、「就職先で人間関係にうまくとけ込めるかどうか」などが横ばいである。

就職活動と学業の両立状況は、「両立できている」と「まあ両立できている」を合わせた比率が半数弱。「どちらともいえない」が45%を占めるが、そもそも両立できることが当然であることを念頭におけば、就職先、大学、学生それぞれに改善の余地が残るといえよう。

就職に関して不安に感じること

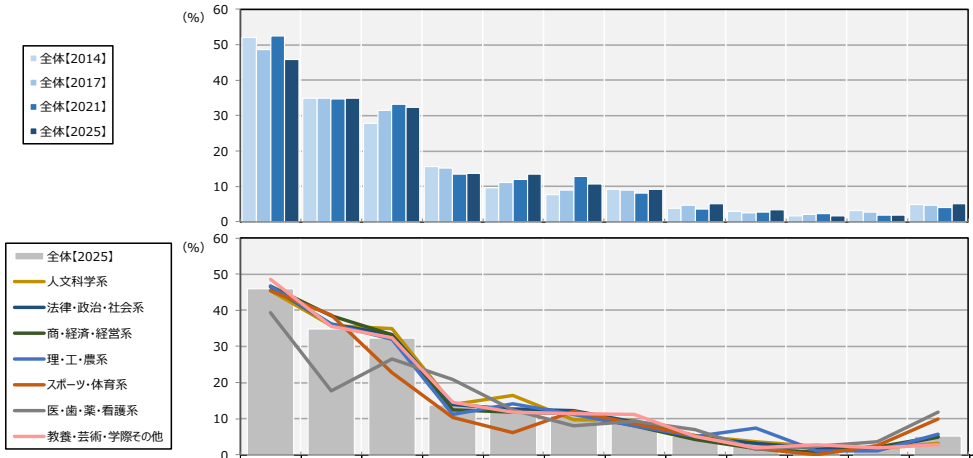
◆「就職できるかどうか」の不安がトップ。

- 就職への不安の1位は、「就職できるかどうか」（45.9%）で前回から低下。以下、「自分の適性にあった職業を選べるかどうか」（34.8%）、「就職すること自体」（32.4%）が続く。

- 学部系統別にみると、「医・歯・薬・看護系」では他の学部系統に比べて「就職できるかどうか」「自分の適性にあった職業を選べるかどうか」「就職すること自体」は低い。一方で、「就職先で人間関係にうまくとけ込めるかどうか」が20.8%と高い。
- 学年別にみると、「1年」では「自分の適性にあった職業を選べるかどうか」、「3年」では「就職できるかどうか」、「4年」では「就職先で人間関係にうまくとけ込めるかどうか」「社会人としてさまざまな拘束を受けることに耐えられるかどうか」が他の学年に比べて高い。

■就職に関して不安に感じること（全体／複数回答）

Q５６　就職について次のような不安を感じたことがありますか。（２つまで）



			就職できるかどうか	自分の適性にあった職業を選べるかどうか	就職すること自体	就職先で人間関係にうまくとけ込めるかどうか	社会人としてさまざまな拘束を受けることに耐えられるかどうか	いつ頃から就職活動をしたらよいか	就職することによって、自分の生き方が貫けるかどうか	規則正しい生活ができるかどうか	大学院に進学を希望するが、就職する時期が遅れる	女性と男性が対等に扱われるかどうか	その他	特に不安を感じたことはない	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	52.1	35.0	27.9	15.7	9.7	7.7	9.3	3.8	3.0	1.6	3.3	5.0	1.9
	全体【2017】	(n=12,369)	48.7	34.9	31.5	15.2	11.2	8.9	9.0	4.8	2.5	2.1	2.8	4.6	—
	全体【2021】	(n=20,205)	52.4	34.6	33.1	13.5	12.0	12.8	8.2	3.7	2.8	2.3	1.9	4.0	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	45.9	34.8	32.4	13.8	13.4	10.8	9.1	5.2	3.4	1.7	2.0	5.2	—
全体【2025】		(n= 6,732)	45.9	34.8	32.4	13.8	13.4	10.8	9.1	5.2	3.4	1.7	2.0	5.2	—
性別	男性	(n= 2,707)	45.4	32.6	32.9	12.0	11.7	9.9	9.7	5.7	4.1	0.4	1.9	8.2	—
	女性	(n= 3,893)	46.4	36.9	31.6	15.3	14.3	11.6	8.6	4.9	2.9	2.6	2.0	3.1	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	45.4	35.7	34.9	13.9	16.4	9.8	9.5	5.4	3.7	2.3	1.7	3.2	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	46.5	36.2	33.3	14.0	12.7	12.3	9.0	5.0	3.2	1.7	1.7	4.8	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	46.7	38.5	33.2	12.4	11.9	11.5	8.1	4.3	1.8	0.8	2.2	5.1	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	46.7	36.3	32.1	11.1	14.2	11.1	8.1	5.2	7.4	1.1	1.2	5.7	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	45.5	38.8	**22.7**	10.3	**6.2**	12.0	8.7	5.4	1.7	—	2.5	9.9	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	**39.4**	**17.7**	**26.5**	20.8	12.5	8.1	9.3	7.1	1.5	2.4	3.6	11.9	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	48.6	35.6	32.5	14.6	11.9	11.5	11.1	5.2	1.9	2.8	2.0	2.8	—
学年別	1年	(n= 2,000)	47.3	40.2	29.7	11.7	11.7	15.2	7.9	4.8	2.9	1.2	1.9	5.1	—
	2年	(n= 1,689)	49.4	38.0	35.3	12.0	11.3	14.9	8.4	3.4	2.8	1.9	1.4	3.6	—
	3年	(n= 1,388)	54.4	36.4	33.1	10.3	12.6	7.3	8.3	4.4	4.2	2.1	1.9	4.0	—
	4年	(n= 1,465)	**33.2**	**23.8**	32.4	21.7	19.0	**4.4**	12.2	8.3	4.2	1.6	2.5	7.8	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	45.3	33.0	33.3	13.1	15.1	10.2	9.1	5.7	4.5	1.9	2.2	5.0	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	**40.8**	36.7	31.7	12.2	14.8	12.4	8.5	5.5	5.9	1.5	2.0	5.7	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	47.5	39.3	31.3	12.5	12.1	11.2	9.1	6.0	2.1	1.8	1.3	4.6	—
	推薦入試	(n= 2,688)	47.5	35.2	32.5	15.3	11.9	11.2	9.0	4.6	2.1	1.4	1.7	5.1	—
	その他	(n= 216)	**39.8**	33.8	**23.6**	11.1	11.6	10.2	13.0	5.1	5.1	4.6	3.7	10.6	—

※「全体【2025】」で降順ソート
※「自分の適性にあった職業を選べるかどうか」
「女性と男性が対等に扱われるかどうか」は2021年文言変更、
2017年までは「自分の適性にあった職業を選べるか」「女性と男性が対等に扱われるか」

+10　：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5　：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5　：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q56_01

希望進路

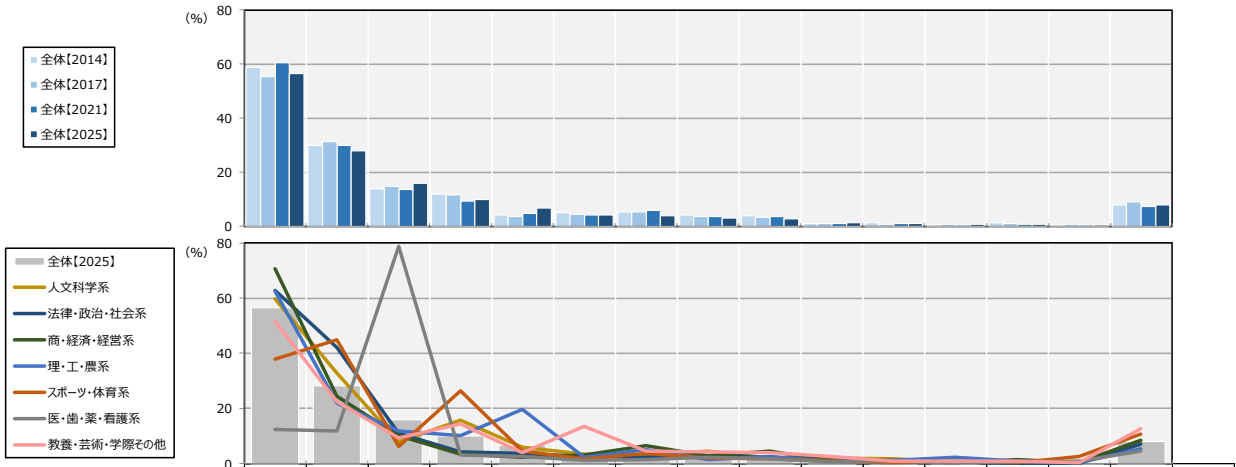
◆希望進路の1位は「民間企業・団体」。

- 全体では希望進路の1位は「民間企業・団体」（56.4%）で、前回（60.6%）からやや減少。2位は「公務員（国家、地方）」。

- 学部系統別にみると、「民間企業・団体」は「法律・政治・社会系」「商・経済・経営系」「理・工・農系」で60%を超えて高い。「人文科学系」では「教育・研究機関」、「法律・政治・社会系」では「公務員（国家、地方）」、「理・工・農系」では「研究大学院」、「スポーツ・体育系」では「公務員（国家、地方）」「教育・研究機関」、「医・歯・薬・看護系」では「専門職（医師・弁護士・税理士・設計士・宗教家など）」がそれぞれ他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、1・2年は3・4年に比べ「公務員（国家、地方)」の割合が10ポイント以上高い点は、毎回見られる特徴となっている。

■希望進路（全体／複数回答）

Q57 どのような進路を選択したいと考えていますか。（2つまで）



			民間企業・団体	公務員（国家、地方）	専門職（医師・弁護士・税理士・設計士・宗教家など）	教育・研究機関	研究大学院	自由業（芸術家、著述業など）	起業（ベンチャー）	留学	自営業	フリーター	専門職大学院	学士入学	家業	専門学校進学	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	58.7	30.1	14.1	12.1	4.4	5.2	5.5	4.4	4.0	1.1	1.3	0.5	1.5	0.6	8.0	1.1
	全体【2017】	(n=12,369)	55.3	31.3	14.8	11.7	3.8	4.6	5.4	3.7	3.5	1.1	0.9	0.7	1.1	0.7	9.0	—
	全体【2021】	(n=20,205)	60.6	29.9	13.7	9.3	4.7	4.3	6.1	3.7	3.6	1.1	1.1	0.6	0.9	0.5	7.3	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	56.4	28.1	16.0	9.9	6.7	4.2	4.0	3.2	2.9	1.4	1.2	0.9	0.8	0.5	8.0	—
全体【2025】		(n= 6,732)	56.4	28.1	16.0	9.9	6.7	4.2	4.0	3.2	2.9	1.4	1.2	0.9	0.8	0.5	8.0	—
性別	男性	(n= 2,707)	57.7	28.9	14.0	9.2	8.6	3.8	5.0	2.1	4.0	1.5	1.1	0.9	1.2	0.2	7.8	—
	女性	(n= 3,893)	55.8	27.7	17.3	10.6	5.2	4.2	3.2	4.0	2.0	1.3	1.2	0.8	0.4	0.6	8.0	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	59.8	32.8	7.8	15.8	6.0	3.4	2.8	4.7	2.0	2.0	1.9	0.7	0.7	0.6	8.1	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	62.7	42.0	11.1	4.3	3.8	2.6	2.4	3.0	2.4	1.3	1.2	0.6	0.1	0.1	7.1	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	70.8	24.5	10.3	3.4	2.2	3.2	6.5	2.9	4.7	0.9	0.7	0.3	1.4	0.3	8.6	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	62.6	22.0	11.8	10.1	19.6	2.3	5.1	1.6	2.7	1.0	1.1	2.4	1.0	0.4	5.3	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	38.0	45.0	6.2	26.4	4.5	1.7	3.7	2.1	1.7	0.8	0.4	0.8	0.4	2.5	10.7	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	12.5	11.9	78.7	3.1	2.6	1.1	1.5	2.3	1.9	0.6	1.0	0.3	0.6	1.0	4.7	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	51.6	22.6	9.2	14.3	3.9	13.6	4.7	4.2	3.9	2.6	0.9	0.9	0.8	0.3	12.7	—
学年別	1年	(n= 2,000)	51.8	35.4	17.9	10.6	6.1	5.1	4.5	4.3	4.1	1.3	1.1	1.2	0.9	0.4	10.2	—
	2年	(n= 1,689)	56.9	34.0	14.8	9.7	6.2	5.3	5.3	3.7	2.8	1.2	0.9	1.1	1.1	0.7	8.9	—
	3年	(n= 1,388)	61.7	23.1	13.5	10.6	7.1	3.0	3.3	2.1	2.1	1.6	1.2	0.7	0.6	0.5	6.0	—
	4年	(n= 1,465)	60.1	18.4	12.9	9.2	8.0	3.0	2.6	2.3	1.9	1.4	1.6	0.5	0.6	0.5	5.9	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	58.9	28.0	16.8	9.5	8.4	3.5	3.6	3.3	2.3	1.0	1.2	1.1	0.4	0.3	5.9	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	59.8	31.7	17.5	9.0	9.6	5.5	3.3	3.3	1.5	2.2	1.3	1.1	0.9	—	3.9	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	53.5	26.6	13.2	11.0	6.3	8.1	5.1	3.7	4.1	2.2	1.0	1.0	0.9	0.6	11.5	—
	推薦入試	(n= 2,688)	55.2	29.1	15.9	10.2	4.0	3.4	3.9	2.6	2.8	1.4	1.0	0.5	0.8	0.8	9.6	—
	その他	(n= 216)	41.7	13.9	13.0	11.1	13.4	6.5	6.9	8.3	10.6	3.7	3.2	2.3	4.2	—	10.2	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※「教育・研究機関」は2021年文言変更、2017年までは「教育・研究職」

Q57_01

就職希望の民間企業・団体

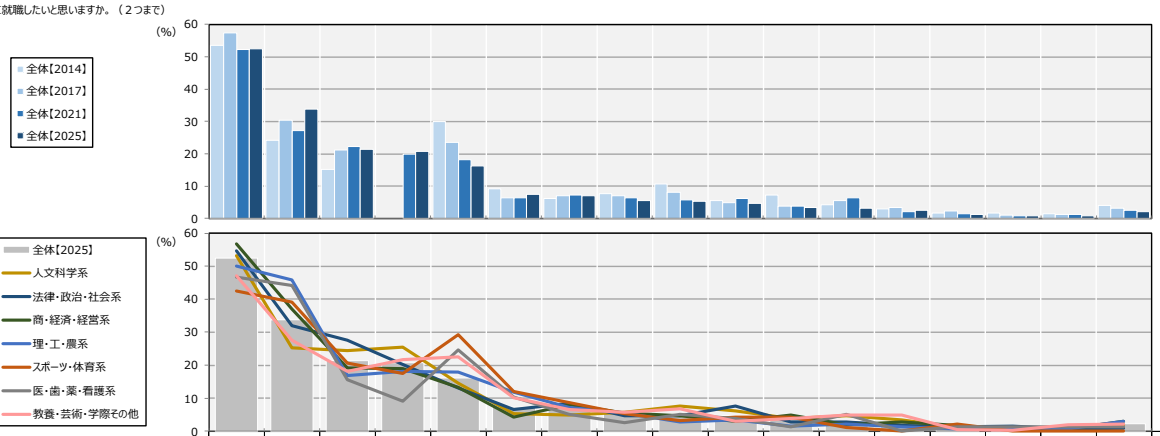
◆「安定している」が突出。

- 全体では「安定している」（52.5%）が1位、前回からスコアは横ばい。2位の「給与の高い」（33.8%）は前回からスコアが増加。
- 「自分の能力や資格を活かせる」「グローバルに事業展開をしている」はスコアの減少傾向が続く。

- 性別にみると、男性は女性よりも「給与の高い」「規模の大きい」が高い。一方、女性は「福利厚生が充実している」「男女の待遇に差のない」が高い。
- 学部系統別にみると、「法律・政治・社会系」では「福利厚生が充実している」、「理・工・農系」では「給与の高い」、「スポーツ・体育系」「医・歯・薬・看護系」では「給与の高い」「自分の能力や資格を活かせる」、「教養・芸術・学際その他」では「自分の能力や資格を活かせる」が他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、「1年」は「給与の高い」が他の学年に比べて高い。
- 入試方法別にみると、「大学入学共通テスト（センター試験）のみ」では「給与の高い」が他の入試方法に比べて高い。

■就職希望の民間企業・団体（民間企業・団体志望者／複数回答）

Q５８　どのような民間企業・団体に就職したいと思いますか。（２つまで）



			安定している	給与の高い	福利厚生が充実している	自分の時間が確保できる	自分の能力や資格を活かせる	大学で学んだことを活かせる	規模の大きい	イメージがよい	グローバルな事業展開をしている	社会貢献に熱心な	地域に根差した	男女の待遇に差のない	外資系	能力主義の徹底した	全国展開している	ベンチャービジネス	その他	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 3,985)	53.5	24.1	15.1	—	30.0	9.1	6.2	7.6	10.8	5.6	7.2	4.3	3.0	1.6	1.6	1.4	4.0	1.2
	全体【2017】	(n= 6,840)	57.5	30.5	21.1	—	23.5	6.5	7.1	7.0	8.2	5.0	3.9	5.6	3.4	2.3	1.0	1.3	3.3	—
	全体【2021】	(n=12,237)	52.3	27.1	22.2	19.9	18.1	6.4	7.2	6.5	5.8	6.1	3.8	6.4	2.2	1.5	0.8	1.3	2.6	—
	全体【2025】	(n= 3,796)	52.5	33.8	21.4	20.8	16.2	7.4	7.0	5.5	5.3	4.7	3.5	3.2	2.6	1.2	0.9	0.8	2.2	—
全体【2025】		(n= 3,796)	52.5	33.8	21.4	20.8	16.2	7.4	7.0	5.5	5.3	4.7	3.5	3.2	2.6	1.2	0.9	0.8	2.2	—
性別	男性	(n= 1,563)	52.9	39.5	16.7	19.4	17.8	7.0	9.7	5.2	3.6	3.5	3.8	0.4	2.0	1.5	1.2	0.6	2.6	—
	女性	(n= 2,172)	52.4	30.1	24.9	21.4	15.0	7.6	5.2	5.6	6.5	5.6	3.2	5.2	3.0	1.0	0.6	0.9	1.7	—
学部系統別	人文科学系	(n= 975)	53.3	25.2	24.5	25.4	14.6	5.3	4.9	5.8	7.6	6.1	3.9	4.6	3.4	1.2	1.1	0.2	1.9	—
	法律・政治・社会系	(n= 645)	54.6	32.1	27.6	20.3	13.0	6.5	8.4	4.7	4.7	7.6	2.9	2.8	1.7	1.4	1.6	0.6	0.9	—
	商・経済・経営系	(n= 827)	56.8	37.1	19.1	19.0	13.2	4.2	8.1	5.6	4.6	3.1	4.8	1.9	2.8	1.7	0.5	0.8	3.0	—
	理・工・農系	(n= 708)	50.0	45.8	16.9	18.1	17.9	11.9	7.3	5.6	2.8	3.5	1.6	2.1	1.3	0.8	0.8	0.8	3.0	—
	スポーツ・体育系	(n= 92)	42.4	39.1	20.7	17.4	29.3	12.0	8.7	5.4	3.3	4.3	4.3	1.1	—	2.2	—	—	—	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 77)	46.8	44.2	15.6	9.1	24.7	10.4	5.2	2.6	5.2	3.9	1.3	5.2	—	1.3	1.3	1.3	1.3	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 472)	47.2	27.5	18.2	21.6	22.5	10.2	6.6	5.7	6.8	3.0	3.8	4.9	4.9	0.4	0.2	1.9	2.1	—
学年別	1年	(n= 1,036)	50.1	41.1	17.1	21.1	17.3	8.1	6.9	4.3	6.2	3.9	2.6	3.0	4.2	1.0	1.4	0.8	1.4	—
	2年	(n= 961)	55.3	32.0	22.8	22.0	16.0	8.3	5.2	5.2	5.5	3.1	2.6	3.3	3.6	1.5	0.4	0.6	1.9	—
	3年	(n= 857)	53.4	33.0	24.9	18.6	13.8	6.2	8.3	7.2	4.2	6.1	4.0	3.2	0.9	0.9	0.9	0.8	1.9	—
	4年	(n= 880)	52.6	28.0	21.7	21.3	17.0	6.7	7.3	5.3	4.9	6.4	4.9	3.4	1.4	1.4	0.8	0.9	3.3	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,585)	51.2	34.1	22.8	21.8	15.9	6.7	8.2	4.8	5.7	5.3	2.8	3.2	2.4	1.2	0.8	0.6	2.5	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 274)	49.3	39.8	14.2	24.5	19.0	6.6	5.8	5.5	4.7	3.6	2.9	4.7	3.3	1.8	1.5	1.1	1.8	—
	AO・自己推薦入試	(n= 364)	44.5	31.6	18.4	20.1	20.1	9.9	5.2	7.1	5.8	4.4	4.7	6.0	2.5	2.7	1.6	1.1	2.2	—
	推薦入試	(n= 1,483)	56.7	32.9	22.0	19.8	14.4	7.9	6.1	5.8	4.7	4.5	4.0	2.2	2.3	0.7	0.7	0.7	2.0	—
	その他	(n= 90)	48.9	34.4	18.9	11.1	26.7	3.3	10.0	4.4	6.7	4.4	2.2	4.4	10.0	2.2	1.1	2.2	—	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

※選択肢語尾の「～ところ」を2025年より削除
※「自分の時間が確保できるところ」は2021年追加
※「自分の能力や資格を活かせるところ」は2021年文言変更、2017年までは「自分の能力を活かせるところ」

Q58_01

就職活動と学業の両立状況

◆就職活動と学業の両立ができていると回答したのは46.9%。

- 全体では、『両立・計』が46.9%。「どちらともいえない」が45.3%。

- 性別にみると、男性（43.5%）は女性（49.7%）より『両立・計』が低い。
- 学部系統別にみると、「医・歯・薬・看護系」では「両立できている」が32.0%で他の学部系統に比べて高い。
- 学年別にみると、学年が上がるほど「両立できている」のスコアが高くなっており、「4年」は37.5%。

■就職活動と学業の両立状況（直近1年に就職活動をした者／単一回答）

*2025年 新規質問

Q５９ 就職活動と学業は両立できていますか。（１つだけ）

			両立できている	まあ両立できている	どちらともいえない	少し学業がおろそかになっている	学業に深刻な影響が出ている	両立・計
		●凡例						
全体【2025】		(n= 4,452)	23.3	23.7	45.3	5.9	1.8	46.9
性別	男性	(n= 1,859)	21.2	22.3	48.3	5.9	2.3	43.5
	女性	(n= 2,506)	24.8	24.9	42.9	6.0	1.5	49.7
学部系統別	人文科学系	(n= 1,032)	24.6	25.3	41.5	6.5	2.1	49.9
	法律・政治・社会系	(n= 663)	22.6	27.1	42.2	5.7	2.3	49.8
	商・経済・経営系	(n= 810)	24.4	24.0	43.6	6.2	1.9	48.4
	理・工・農系	(n= 742)	18.9	24.1	47.8	6.6	2.6	43.0
	スポーツ・体育系	(n= 163)	21.5	16.0	60.1	2.5	—	**37.4**
	医・歯・薬・看護系	(n= 431)	32.0	20.2	43.4	3.2	1.2	52.2
	教養・芸術・学際その他	(n= 611)	20.0	20.6	51.9	6.5	1.0	**40.6**
学年別	1年	(n= 924)	12.8	11.0	72.9	2.5	0.8	**23.8**
	2年	(n= 860)	12.7	15.0	67.8	3.4	1.2	**27.7**
	3年	(n= 1,173)	22.1	32.9	36.3	7.1	1.6	55.0
	4年	(n= 1,323)	37.5	30.0	21.2	8.8	2.4	**67.5**
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 1,744)	24.0	24.5	42.9	6.5	2.1	48.5
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 287)	21.3	22.3	49.5	5.2	1.7	43.6
	AO・自己推薦入試	(n= 447)	19.7	23.3	51.2	4.3	1.6	43.0
	推薦入試	(n= 1,806)	23.7	23.4	45.5	6.0	1.4	47.1
	その他	(n= 168)	25.0	20.8	45.8	3.6	4.8	45.8

『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け：**+10**
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け：+5
『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け：**-5**

Q59_01

8章：身についたこと

- **大学生活で身についた力**

  ［身についたと実感できる力］のスコアは、「視野を広げ、ものごとを幅広く考える力」が最も高く、「パソコンやインターネットを使いこなす力」が続く。

  「パソコンやインターネットを使いこなす力」が前回から減少した一方、「専門的知識をもとに論理的に考える力」が増加。

- **大学生活で身につけたい力**

  「自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力」がトップ。全般的にスコアが減少傾向。

コメント

大学生活でこれまでに身についたと実感できる力について、「視野を広げ、物事を幅広く考える力」が最も高く、「パソコンやインターネットを使いこなす力」が続く。

ただし、「パソコンやインターネットを使いこなす力」は前回から減少。「専門的知識をもとに論理的に考える力」の増加が目立つ。

大学生活で身についた力

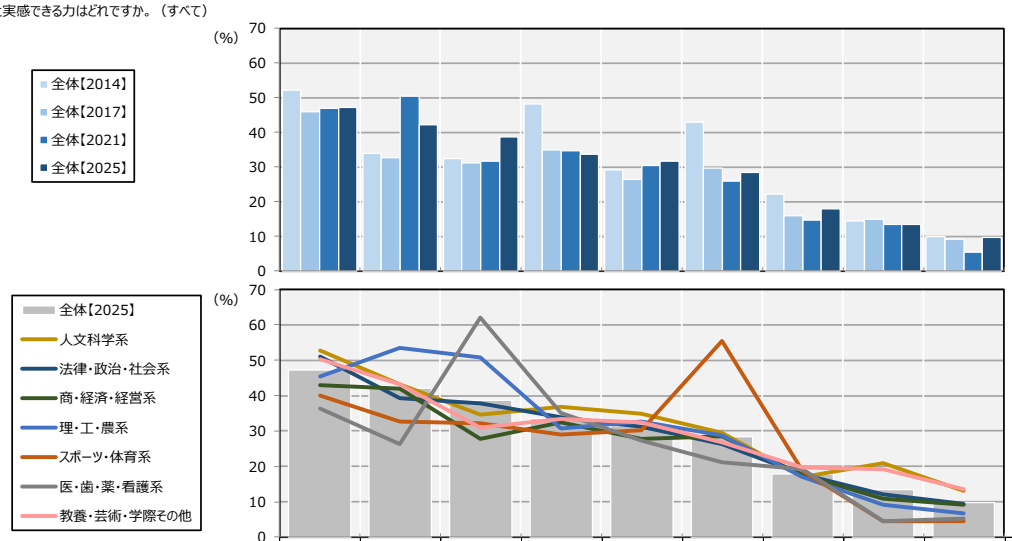
◆ ［身についたと実感できる力］のスコアは、「視野を広げ、ものごとを幅広く考える力」が最も高く、「パソコンやインターネットを使いこなす力」が続く。

- 全体では、「パソコンやインターネットを使いこなす力」が前回から減少した一方、「専門的知識をもとに論理的に考える力」が増加。
- 「4年」の回答を前回と比較すると、「専門的知識をもとに論理的に考える力」が増加。

- 性別にみると、男性は「専門的知識をもとに論理的に考える力」「趣味やスポーツ等によって生活を楽しむ力」が女性よりも高い。
- 学部系統別にみると、「人文科学系」では「視野を広げ、ものごとを幅広く考える力」「外国語の本を読んだり、外国語で話をする力」、「理・工・農系」では「パソコンやインターネットを使いこなす力」「専門的知識をもとに論理的に考える力」、「スポーツ・体育系」では「趣味やスポーツ等によって生活を楽しむ力」が、「医・歯・薬・看護」では「専門的知識をもとに論理的に考える力」がそれぞれ他の学部系統に比べて高い。

■大学生活で身についた力（全体／複数回答）

Ｑ６０　大学生活で身についたと実感できる力はどれですか。（すべて）



			視野を広げ、ものごとを幅広く考える力	パソコンやインターネットを使いこなす力	専門的知識をもとに論理的に考える力	相手の状況や考え方を考慮して話をしたり、対応する力	自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力	趣味やスポーツ等によって生活を楽しむ力	計画を立て、目標に向かってリーダーシップをとる力	外国語の本を読んだり、外国語で話をする力	留学体験や留学生との交流等による異文化理解力	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	52.3	34.0	32.4	48.1	29.2	42.9	22.3	14.5	10.1	2.7
	全体【2017】	(n=12,369)	46.0	32.7	31.3	35.0	26.5	29.7	16.1	14.9	9.2	—
	全体【2021】	(n=20,205)	46.9	50.4	31.8	34.8	30.5	26.0	14.8	13.5	5.6	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	47.2	42.2	38.6	33.6	31.6	28.5	17.9	13.5	9.8	—
学年別 時系列	4年【2014】	(n= 1,365)	64.5	36.6	39.8	60.6	37.9	48.8	30.2	14.2	11.9	1.2
	4年【2017】	(n= 2,186)	54.6	30.6	37.2	46.2	33.8	32.1	23.1	11.5	9.5	—
	4年【2021】	(n= 3,960)	56.2	41.3	37.8	48.9	35.8	33.5	21.9	14.3	10.4	—
	4年【2025】	(n= 1,465)	54.4	42.9	44.4	44.4	37.2	31.1	23.9	13.1	11.4	—
全体【2025】		(n= 6,732)	47.2	42.2	38.6	33.6	31.6	28.5	17.9	13.5	9.8	—
性別	男性	(n= 2,707)	47.0	43.1	42.6	32.0	33.5	31.4	18.3	12.8	6.8	—
	女性	(n= 3,893)	47.6	41.8	36.0	34.9	30.4	26.6	17.9	14.0	12.0	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	52.8	43.2	34.7	36.8	34.9	29.6	17.1	21.0	13.1	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	51.0	39.3	37.8	33.8	31.3	26.3	17.8	12.1	9.4	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	42.9	42.0	27.8	32.4	27.8	28.6	17.6	10.8	9.2	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	45.3	53.4	50.9	30.6	32.7	28.8	17.1	9.2	6.6	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	40.1	32.6	32.2	28.9	30.2	55.4	18.6	4.5	4.5	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	36.4	26.3	62.0	35.1	27.3	21.1	19.2	4.4	5.2	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	50.3	43.1	31.0	33.4	32.5	26.7	19.7	19.2	13.6	—
学年別	1年	(n= 2,000)	40.8	42.8	31.0	25.1	27.3	27.9	12.9	13.1	7.2	—
	2年	(n= 1,689)	44.7	41.1	36.2	30.2	29.8	28.2	15.9	13.9	10.1	—
	3年	(n= 1,388)	52.6	43.4	43.8	39.0	34.4	28.0	21.1	14.1	11.0	—
	4年	(n= 1,465)	54.4	42.9	44.4	44.4	37.2	31.1	23.9	13.1	11.4	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	47.2	43.2	41.6	34.6	32.1	28.2	17.5	14.4	8.9	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	46.5	45.4	40.0	32.3	34.1	26.2	19.0	16.8	9.6	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	49.6	41.2	35.0	32.4	33.1	28.5	20.1	12.9	11.0	—
	推薦入試	(n= 2,688)	46.1	41.7	35.6	33.4	29.8	29.7	16.7	11.0	9.5	—
	その他	(n= 216)	55.1	31.0	47.7	31.0	36.1	23.1	28.2	28.7	21.8	—
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	53.0	45.6	47.9	36.3	37.9	28.3	24.1	18.1	13.6	—
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	46.7	41.6	35.9	33.5	29.8	28.2	16.3	12.4	9.2	—
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	39.5	38.0	30.5	29.6	25.7	29.7	11.8	9.1	5.3	—

※「全体【2025】」で降順ソート
※2025年質問文変更、2021年までは「大学生活でこれまでに身についたと実感できる力はどのようなことですか。」

+10 :『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 :『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 :『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q60_01

大学生活で身につけたい力

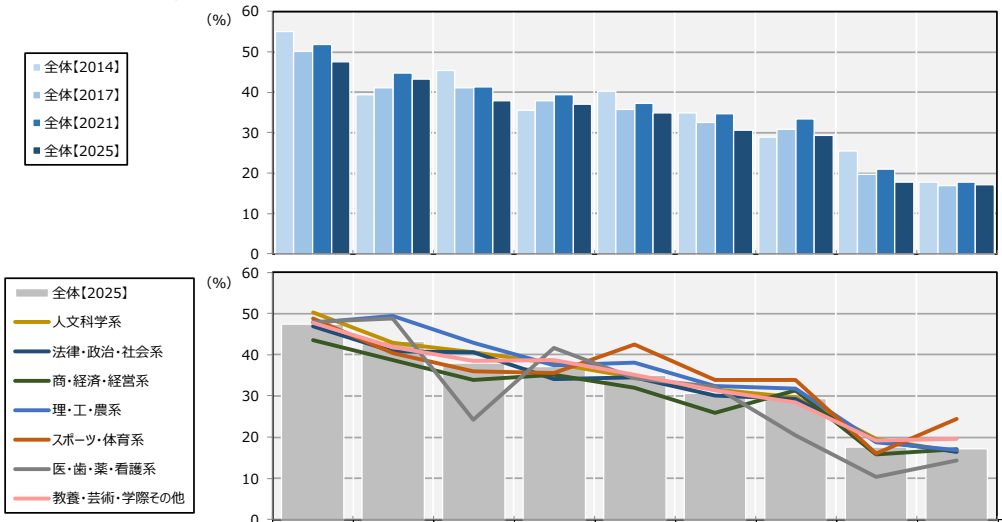
◆「自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力」がトップ。全般的にスコアが減少傾向。

- ほとんどの項目において、「1年」のスコアが他の学年よりも高い。「1年」に絞ってみるといずれの項目も前回から減少。

- 学部系統別にみると、「理・工・農系」では「専門的知識をもとに論理的に考える力」「外国語の本を読んだり、外国語で話をする力」、「スポーツ・体育系」では「計画を立て、目標に向かってリーダーシップをとる力」「趣味やスポーツ等によって生活を楽しむ力」、「医・歯・薬・看護系」では「専門的知識をもとに論理的に考える力」が他の学部系統に比べて高いという特徴があり、身についた力と概ね一致する。

■大学生活で身につけたい力（全体／複数回答）

Q６１　今後、大学生活で身につけたい力はどれですか。（すべて）



			自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力	専門的知識をもとに論理的に考える力	外国語の本を読んだり、外国語で話をする力	視野を広げ、ものごとを幅広く考える力	計画を立て、目標に向かってリーダーシップをとる力	相手の状況や考え方を考慮して話をしたり、対応する力	パソコンやインターネットを使いこなす力	留学体験や留学生との交流等による異文化理解力	趣味やスポーツ等によって生活を楽しむ力	無回答
全体 時系列	全体【2014】	(n= 6,791)	55.0	39.4	45.5	35.5	40.2	34.8	28.9	25.4	17.8	1.6
	全体【2017】	(n=12,369)	50.2	41.2	41.2	37.8	35.8	32.5	30.9	19.6	16.9	—
	全体【2021】	(n=20,205)	51.8	44.7	41.4	39.4	37.3	34.6	33.3	21.0	17.7	—
	全体【2025】	(n= 6,732)	47.5	43.3	37.9	37.1	35.0	30.6	29.4	17.7	17.1	—
学年別 時系列	1年【2014】	(n= 1,574)	59.7	45.0	51.6	43.0	44.8	42.3	33.9	32.8	20.1	1.3
	1年【2017】	(n= 3,963)	54.1	45.9	49.4	44.7	38.5	37.5	36.8	27.0	20.7	—
	1年【2021】	(n= 6,056)	56.8	51.0	51.2	47.3	42.1	41.3	40.2	29.8	22.1	—
	1年【2025】	(n= 2,000)	50.6	48.3	44.5	44.5	38.2	35.5	34.9	23.8	20.7	—
全体【2025】		(n= 6,732)	47.5	43.3	37.9	37.1	35.0	30.6	29.4	17.7	17.1	—
性別	男性	(n= 2,707)	45.3	43.1	37.4	36.1	35.7	31.3	30.0	16.3	19.4	—
	女性	(n= 3,893)	49.0	43.4	38.5	37.8	34.4	30.1	29.1	18.8	15.7	—
学部系統別	人文科学系	(n= 1,631)	50.2	43.0	40.7	37.8	34.6	31.5	29.6	19.6	16.4	—
	法律・政治・社会系	(n= 1,029)	46.9	40.9	40.7	34.2	34.5	30.0	29.3	19.1	16.4	—
	商・経済・経営系	(n= 1,168)	43.5	38.7	33.8	35.1	32.0	26.0	31.3	15.8	17.1	—
	理・工・農系	(n= 1,131)	47.7	49.5	42.9	37.4	38.0	32.4	31.7	18.7	16.8	—
	スポーツ・体育系	(n= 242)	48.8	40.5	36.0	35.5	42.6	33.9	33.9	16.1	24.4	—
	医・歯・薬・看護系	(n= 616)	47.9	48.9	24.2	41.7	34.3	32.3	20.5	10.4	14.3	—
	教養・芸術・学際その他	(n= 915)	47.7	41.9	38.5	38.8	35.1	31.3	28.4	19.2	19.7	—
学年別	1年	(n= 2,000)	50.6	48.3	44.5	44.5	38.2	35.5	34.9	23.8	20.7	—
	2年	(n= 1,689)	50.0	44.5	39.0	38.6	36.6	32.0	29.1	18.5	16.0	—
	3年	(n= 1,388)	45.7	41.5	33.9	33.6	36.1	27.9	26.9	13.8	14.0	—
	4年	(n= 1,465)	42.8	37.1	32.6	29.6	28.8	25.5	25.9	12.4	16.9	—
入試方法別	一般入試・大学入学共通テスト（センター試験）併用	(n= 2,690)	48.6	43.2	39.2	37.7	36.2	31.0	29.9	17.8	16.5	—
	大学入学共通テスト（センター試験）のみ	(n= 458)	43.2	46.1	43.9	36.7	37.6	32.8	30.8	19.4	19.7	—
	AO・自己推薦入試	(n= 680)	48.2	42.8	37.8	39.0	32.1	32.8	29.7	18.4	14.7	—
	推薦入試	(n= 2,688)	46.9	43.0	36.4	36.2	34.3	29.0	29.2	17.2	18.1	—
	その他	(n= 216)	48.1	44.9	27.3	38.0	33.3	34.3	21.3	16.7	15.3	—
成績自己評価別	成績自己評価上位	(n= 2,130)	48.3	44.6	39.6	38.4	36.8	33.1	29.4	20.4	18.5	—
	成績自己評価中位	(n= 3,256)	48.2	42.7	38.3	36.7	35.0	29.3	29.2	16.5	16.6	—
	成績自己評価下位	(n= 1,346)	44.6	42.9	34.3	36.3	32.3	29.7	29.6	16.3	16.2	—

※「全体【2025】」で降順ソート

+10 ：『全体【2025】』より10ポイント以上高い数値に網掛け
+5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
-5 ：『全体【2025】』より5ポイント以上低い数値に網掛け

Q61_01

私大連創立75周年　巻末特別企画
第1回学生生活実態調査から現在へ　～学生生活の変化を辿る～

令和８年（2026年）、私大連は創立75周年を迎える。その長い歴史の中でも「学生生活実態調査（以下、実態調査）」は、昭和42年（1967年）の初回実施（報告書刊行1968年）から継続して実施されてきた、学生支援の調査研究における中核事業のひとつである。

この節目の年に、最新の第17回実態調査の結果をもとに「学生生活白書2026（以下、白書）」を刊行する運びとなったことに合わせ、巻末特別企画として初回調査実施当時から現在に至るまで、社会と学生生活はどのような変化を辿ってきたのかを振り返る。

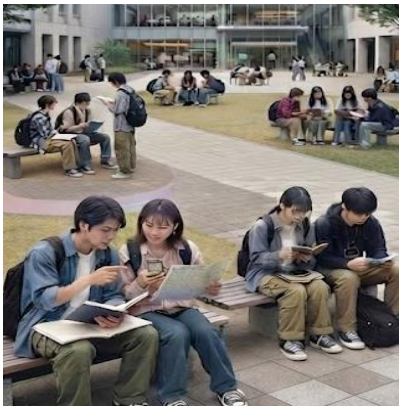
日本社会の変容と私立大学のあり方の変遷（1960年代～現在）

◆大学教育の大衆化に伴う深刻な学生問題の顕在化（1960年代～1980年代後半）

1960年代の高度経済成長期を経て、私立大学の学生数は爆発的に増加し「大学教育の大衆化」が進んだ。しかし、施設や教員数の拡充はそれに追いつかず、大教室に学生を詰め込む「マスプロ（大量生産）教育」が常態化していた。加えて、当時の私立大学は国からの経常費補助が十分に確立されておらず、脆弱な財務基盤を補うために毎年のように学費値上げに踏み切った。このような大学の姿勢に対する学生の不満は、1968年頃を頂点とする全国的なストライキや校舎封鎖といった大学紛争の激化へと繋がった（この事態を受け、1970年に私立学校振興助成法が成立）。

その後、70年代半ばを過ぎると熱狂的ともいえる社会への反逆は急速に冷え込み、学生の関心はレジャーを謳歌する消費文化へと移行する。大学生活は、社会に出る前の「4年間のモラトリアム（執行猶予）」と呼ばれるほど、華やかで気楽さに包まれる時代となった。

◆社会の不確実性の高まりと「個の世界」への分散（1990年代初頭～2000年代末）



1991年の大学設置基準の大綱化（規制緩和）と、翌1992年の18歳人口ピーク到達を契機に、私立大学は大きな転換期を迎える。時を同じくしてバブル経済が崩壊し、社会は深刻な「就職氷河期」へと突入した。学生たちは厳しい社会で生き残るためのサバイバルを強いられ、生活維持のためのアルバイトや、奨学金への依存度が高まるようになった。

同時に、学生の通信環境が劇的に進化したのもこの時期である。特に、いつでも特定の相手とだけ連絡が取れる携帯電話（いわゆる「ガラケー」）の普及により、大集団で群れる文化は薄まった。学生の関心は、インターネット空間や趣味の合う限られた友人といった「個の世界」へと分散していく。大学に入っても就職に結びつきにくい、先行きの見えない不透明な日本社会から心理的な距離を置こうとする防衛反応の表れでもあった。

◆加速する実利主義志向と「常時接続型社会」の完成（2010年代初頭～）

少子高齢化による「大学全入時代」の本格化や長引く経済低迷により、リスクを極力排除し「失敗のない正解」を最短距離で求める学生の実利志向が加速した。スマートフォンとSNSの台頭により、24時間誰かとつながっているのが当たり前となる一方で、膨大な情報やタスクをいかに効率的に処理するかという「タイムパフォーマンス（タイパ）」が現代の大学生の至上命題となっている。

さらに、2020年からのコロナ禍によるオンライン授業の普及は、キャンパスへの帰属意識を希薄化させ、学習の個別化と効率化を一層推し進めた。大学入学直後からインターンシップやキャリア形成系の課外活動へ参加する学生が増加するなど、「とりあえず遊ぶ」というかつてのモラトリアム意識は完全に薄れ、大学生活は「卒業後の生存戦略」に向けた助走期間へと変貌を遂げている。

これらに共通して言えるのは、「その時々の社会の矛盾や不安」を敏感に感じ取り、適応してきたのは学生であるということだろう。学生は大学に何を求め、どのような生活を送り、それに満足しているのか、すなわち、

①価値意識　②生活実態　③大学評価

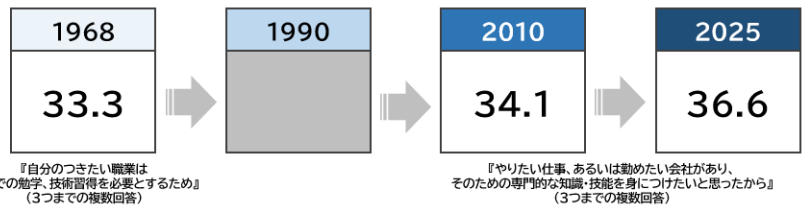
の変化に焦点を当て、半世紀以上に渡る学生生活実態の定点観測である当連盟の実態調査及び白書から、主要データの経年変化を紐解きながら考察することとしたい。

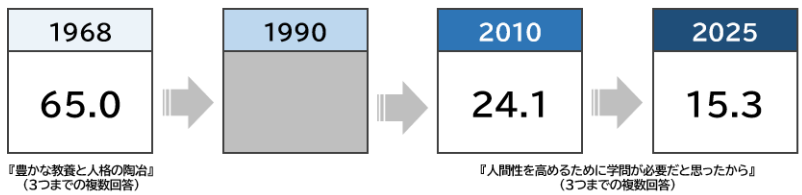
◆【期待】

- **『人格の陶冶・豊かな教養』、『友人との交友関係』が下がる一方で、『就職』が増加。**
  - はじめに、大学進学の目的や入学した大学の選択理由、大学生活で大事だと思っていることなどの選択肢をいくつかピックアップする。大学に対する期待の移り変わりが如実に表れている。
  - 「大学進学の目的」に関する2項目からは、『人格の陶冶・豊かな教養』が減少し続ける一方で、『必要な知識・技術を身につける』という明快な目的志向が維持されていることがわかる。同様に、明快な目的志向を示していると思われる「就職（率、質）の良さ」（「現在の大学の選択理由」に関する項目）は、ジリジリと比率を上げてきている。その一方で、「交友関係」を大事だと思う者は減少しているようだ。
  - 一言でいえば、**人間性や人間関係に対する期待が薄れ、明快で短期に結果のみえる成果を求める**学生が増えているといえよう。

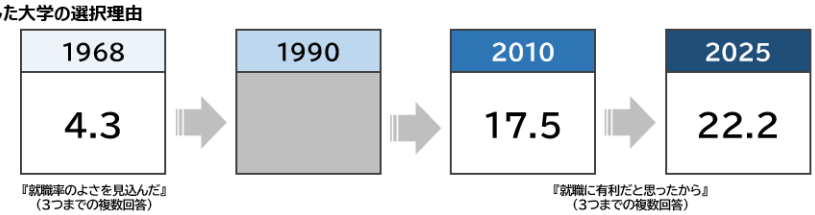
  - 社会学者マーティン・トロウによれば、進学率が15%以下の時代は一部の優秀な者だけが進学する「エリート段階」と称されるが、1970年前後は、その次の「マス段階」に突入し始めていた時期に該当する。それでも、大学選択理由としての『就職率のよさを見込んだ』の比率の低さは注目されよう。就職に関しての心配が現在よりも低くてすむほどには、大学生の社会的な位置づけがまだ"エリート"寄りだったのだろう。
    - 1968年の『大学進学の目的』には「社会の指導者となるため」という項目が設定されており、約10%の回答率がある。

■大学進学の目的

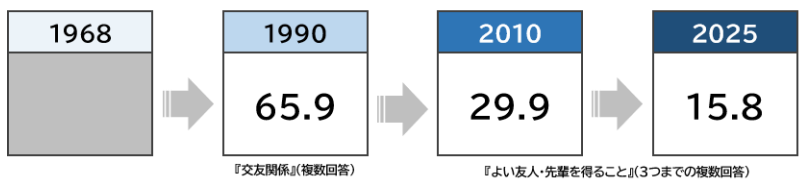




■入学した大学の選択理由



■大学生活で大事だと思っていること



◆【実態＜時間＞】

- 1968年の学生生活白書は、学生の生活時間や授業への出席状況、実家からの仕送りの状況を踏まえつつ、比較的家計に恵まれた学生が、親からの仕送りに依存しつつ、思いのほか真面目に授業に出席している様子を描き出している。1980年代末には大学を"レジャーランド"とも揶揄する向きもあったが、その時期を挟んで大学生の実態の推移をみる。

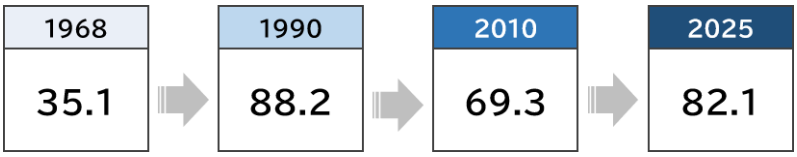
- **授業、自習の時間は、近年また伸びている。**
  - 「案外、真面目」と評価された1968年の私立大学生の、授業や図書館、自宅での自習時間の平均は7.0時間。これが、1990年に4.90時間、2010年に4.57時間と減少した後、2025年にかけて反転上昇し、同5.58時間まで伸びている。

- **「クラブ・サークル活動」、「アルバイト」、「睡眠」の時間が減少し、（上記でみた通り）「勉強」、「スマホ」の増加時間が伸びている。**
  - 厳密には比較できないためデータ掲載はしないが、少なくともこの10～15年で伸びているのは、「勉強（講義や正課外学習、予復習などの自習）」と「授業や講座以外のスマホやPC、ゲーム等の使用時間（メールやSNS含む）」である。「クラブ・サークル活動」や「アルバイト」は、そもそもの実施率が下がりつつある。

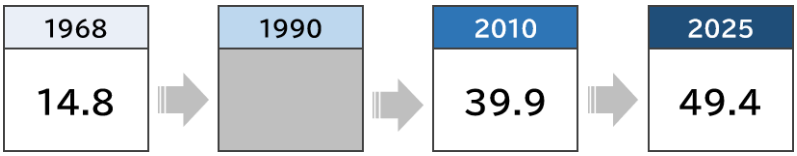
- **そうした変化の背景にあるのは、"ひとまず授業などのやるべきことをきちんとやる"というスタンス？**
  - 「真面目に勉強する」学生の比率が高くなっていること自体は喜ばしいことだが、当然ながら1968年当時とは異なる心性が働いているようだ。『大学で大切なこと』の各項目のうち、勉学の内容や人格の陶冶、人間関係に関する項目の比率が減少、もしくは目立った上昇をみせない中、「講義・ゼミ・研究会などにきちんと出席すること」や「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」が伸びていることをみれば、大学・短期大学の進学率が20%弱にとどまり、エリート意識が微かにでも残っていた時代とは大学に対するスタンスが異なっていることが容易に想像できる。「大学はクリアすべきひとつのハードルに過ぎず、そのために授業には真面目に出る」といえば言い過ぎだろうか。

◆【実態＜お金＞】

- **アルバイト就労状況**
  - 何らかのアルバイトを行っている学生は、1968年に1/3強だったものが、1990年には9割近くまで伸びた。その後2000年前後まで減少するが、特に2010年代に入ってから増加基調にあり、2025年には8割を超える水準に達した。

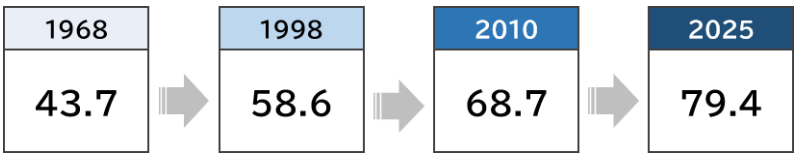


- **奨学金受給状況**
  - では奨学金の需給状況はどうだろうか。下記データは、全体値から奨学金を受給していない学生の割合を引いた数値であるが、1968年時点では、15%程度に過ぎなかったものが、2010年には約4割、2025年に約5割にまで上昇している。
    - この10年間で、奨学金受給率が大きく伸び、「家計の負担感」も2025年には減少に転じた。きめ細かな奨学金制度の改善が一定の効果をもたらしたであろうことは、巻頭のテーマ別分析でも触れている。

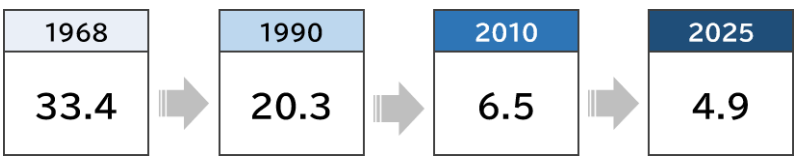


◆【評価】

- **入学満足度は順調に伸び続けている。いまや満足していない学生が少数派に**
  - 実は、学生生活白書が入学満足度を本格的に分析し始めたのは、1990年前後からである。学生を顧客して考える視点が、ちょうどその頃から始まったとも考えられよう。「学生は顧客ではない」という立場からの根本的な批判もあるが、「学生は顧客でもある」という視点から、私立大学は学生に寄り添ってきた。
  - 大綱化以降のほぼ10年間をかけて、本学生生活白書のベースとなる「学生生活実態調査」の調査項目、実査方法を抜本的に見直す中で、入学満足度は主要指標のひとつとなっていくが、議論において都度繰り返されたのは、「大学改革のための大学改革になっていないか」という関係者の声だった。
  - 調査開始以降、微増トレンドに留まっていた入学満足度は、2000年代中盤から大きく伸び始め、大綱化から35年を経て約20ポイント上昇し、ついに約8割の比率を得るようになった。学生が求めること（「授業をわかりやすく」、「環境面も重要」など）に、可能な範囲で細やかに対応してきたひとつの成果と考えられよう。



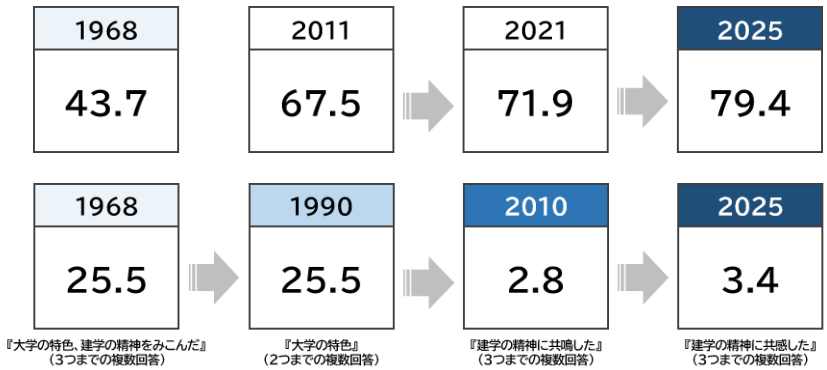
- **大学生活充実度（数値は「充実していない・計」）も大きく改善**
  - 入学満足度が主要指標となる以前から、重要指標とみなされていたのが大学生活充実度である。
    - この指標は1994年に選択肢を大きく変更したため、時系列比較はできないが、「あまり充実していない」と「充実していない」のネガ2段階はほぼ同じであるため、この数値をみる。
  - 1972年の「充実していない・計」は約1/3を占めていたが、徐々に減少し、1990年には約20%となった。さらに2000年以降大きく減少し、コロナ禍の期間を除けば、1ケタの比率となった。いまや「何だか充実していない」と感じる学生が少数派、という状態となっている。

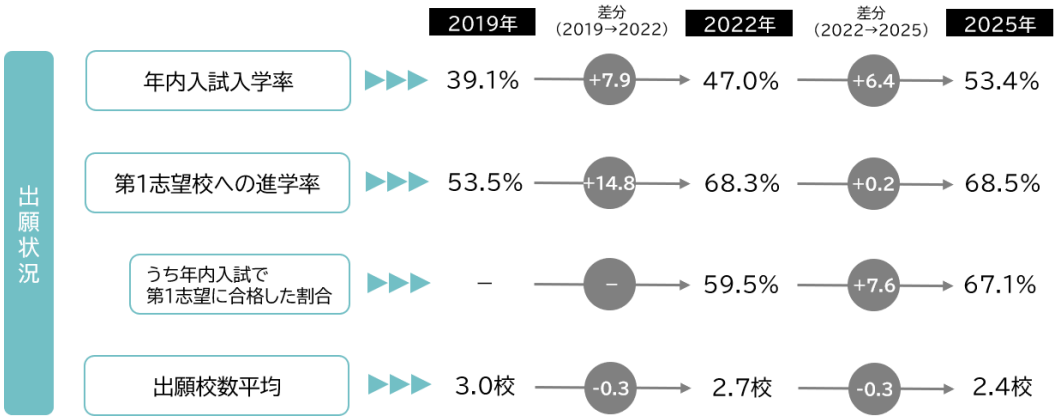


◆【考察】

- **入学満足度などの総合指標は確かに向上した。だが。**
  - 入学満足度、大学生活充実度などの総合指標が、この60年近くの間に大きく改善されてきたことはみた通りであるが、少し異なる視点から再考したい。
  - 実は、入学満足度はこの10～15年間で大きく伸びている。大学の入学者募集という点からみれば、18歳人口が大幅に減少する局面に入ったことに加え、入試の多様化および早期化が明確になった時期でもある（※最下部データ参照）。広く知られる通り、第1志望の学生の入学満足度もしくは在籍満足度は、そうでない学生に比べて高い傾向を示す。つまり、満足度指標が伸びている原因を、すべて大学、特に建学の精神を核とする私立大学の努力にのみに帰するのには無理があるのではないだろうか。
  - もうひとつ興味深いデータを掲載する。「入学した大学の選択理由」における「建学の精神にひかれて」の比率の推移である。第1回調査では「大学の特色、建学の精神をみこんだ」が25%程度あったものが、2010年以降では（表現は異なるが）3%前後にまで落ち込んでいるのである。
  - 先にみた通り、「大学進学の目的」のうち、「人格の陶冶」、「豊かな教養」などの個人の豊饒化とでもいうべき項目が後景化しつつあるが、そこに加えて個別の私立大学の特色もまた、その魅力を失いつつあるようにみえる。つまり、良くも悪くも、明確なベネフィットを早期に確定したい高校生側と、早期に獲得したい大学の思いが一致した結果に、我々は直面しているのかもしれない。

  - 「大学生や大学進学志望者に求められるのは学力だけではない」ことに疑いはないし、高校側もまたその点に向けて不断の努力を続けていることに疑いはない。そうであればあるほど、「学力だけではない」領域でのすり合わせプロセスを実り多いものにしていくことが、社会的な効用を高めるだけでなく、個別大学の競争力の源泉にもなり得る可能性をみたい。
  - 私立大学は、「高校生の期待を喚起・担保できる水準で、自らの独自性や魅力を伝えられたか」、「高校生の判断に資する水準で自らの独自性や魅力を体験してもらうことができたか」という厳しい物差しを、いま一度当ててみる必要があるのではないだろうか





※出典：【進学センサス2025】（株式会社リクルート リクルート進学総研）

学生委員会委員

担当理事	稲積宏誠	青山学院大学	大学長
委員長	志村　正	慶應義塾大学	学生総合センター長・法学部准教授
委　員	尹　志煌	青山学院大大学	学生生活センター長・経営学部教授
	鳴子博子	中央大学	副学長(学生総合支援担当) ・学生部長・経済学部教授
	飯田　健	同志社大学	学生支援センター所長・法学部政治学科教授
	築山泰典	福岡大学	学生部長・スポーツ科学部教授
	永野仁美	上智大学	学生センター長・法学部教授
	石井　光	関西大学	学生センター所長・経済学部教授
	野田　崇	関西学院大学	学生支援機構副機構長(学生部長)、法学部教授
	山本　勲	慶應義塾大学	就職部長・商学部教授
	石津寿恵	明治大学	副学長(学務担当)・学生部長・経営学部教授
	北條英勝	武蔵野大学	副学長・人間科学部教授
	三輪まどか	南山大学	学生部長・総合政策学部教授
	荒川章義	立教大学	学生支援機構長・経済学部教授
	小沢道紀	立命館大学	学生部長・食マネジメント学部教授
	矢内義顯	早稲田大学	学生部長・商学学術院教授

(令和8年8月現在)

学生委員会学生生活実態調査分科会委員

分科会長	北條英勝	武蔵野大学	副学長・人間科学部教授
委　員	鳴川義雄	中京大学	学生支援部 部長
	谷本奈穂	関西大学	総合情報学部教授
	服部宏充	立命館大学	情報理工学部教授
	佐竹弘靖	専修大学	学生部長、ネットワーク情報学部教授
	米山真子	東洋大学	学生部事務部長

(令和8年8月現在)

担当事務局　教学支援課

課　長　中島　薫
課　員　冨永和弥
　　井村俊介
　　伊藤友衣子
(南山学園より出向)

一般社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覧

（大学名アルファベット順）

（115大学 令和8年4月現在）

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
筑紫女学園大学
中京大学
中央大学
大東文化大学
獨協大学
獨協医科大学
同志社大学
同志社女子大学
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡女学院大学
福岡女学院看護大学
学習院大学
白鷗大学
阪南大学
姫路獨協大学
広島修道大学
法政大学
石巻専修大学
実践女子大学
上智大学
城西大学
城西国際大学
順天堂大学
金沢星稜大学
関西大学
関西学院大学
関東学園大学
関東学院大学
慶應義塾大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
皇學館大学
國學院大學
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学
甲南大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
九州産業大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学
武蔵大学
武蔵野大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学
南山大学
日本大学
日本女子大学
ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科薬科大学
大阪女学院大学
大阪経済大学
大谷大学
追手門学院大学
立教大学
立正大学
立命館大学
立命館アジア太平洋大学
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
聖路加国際大学
聖心女子大学
仙台白百合女子大学
専修大学
芝浦工業大学
白百合女子大学
昭和女子大学
創価大学
大正大学
拓殖大学
天理大学
東邦大学
東北学院大学
東海大学
常磐大学
東京情報大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京国際大学
東京農業大学
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
和光大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学
四日市看護医療大学

※令和8年4月1日をもって退会の東北公益文化大学、広島女学院大学、園田学園大学にも調査協力をいただいた。

私立大学 学生生活白書 2026

［発　行］令和８年８月
［編集者］学生委員会学生生活実態調査分科会 分科会長 北條英勝
［発行者］一般社団法人日本私立大学連盟
　　学生委員会　担当理事 稲積宏誠
　　委 員 長 志村　正
〒102-0073 東京都千代田区九段北４-２-25 私学会館別館７階
TEL 03-3262-3603（教学支援課）
URL https://www.shidairen.or.jp/
［企画・制作協力・印刷］株式会社ディ・プラス
〒102-0083 東京都千代田区麹町４-８-1 THE MOCK-UP303
TEL 03-6261-0165
URL https://dplusd.co.jp/company/
© 無断転載はご遠慮ください。